

静岡県立美術館評価業務
報 告 書

平成 26 年 3 月
静岡県立美術館

平成 25 年度静岡県立美術館評価業務報告書

目 次

1	調査概要	1
	（１） 調査目的	1
	（２） 実施概要	1
	（３） 報告書内のデータ記述について	1
2	調査結果概要	2
	（１） 結果概要	2
	（２） 提言	2
3	美術館評価指標の現状値	3
4	展覧会アンケート結果	4
	（１） 回収状況	4
	（２） 観覧者の属性	6
	（３） 観覧者の行動	12
	（４） 展覧会の評価	22
5	レストランアンケート結果	42
	（１） 実施数（回答数）	42
	（２） アンケート結果	42
6	カフェアンケート結果	49
	（１） 実施数（回答数）	49
	（２） アンケート結果	49
7	ミュージアム・ショップアンケート結果	56
	（１） 実施数（回答数）	56
	（２） アンケート結果	56
8	美術館ホームページアンケート結果	59
	（１） 実施数（回答数）	59
	（２） アンケート結果	59
9	自由意見	61
	（１） 生活において「美術館」の存在・位置付け	61
	（２） 展覧会または当美術館についてのご指摘やご意見	72
10	佐々木先生のレクチャー「評価アンケートの設問設定とデータ活用の方法」	81

1 調査概要

(1) 調査目的

静岡県立美術館では、評価委員会提言「評価と経営の確立に向けて」（平成 17 年 3 月）を踏まえ、館長公約を柱とする自己評価システムの体系を構築している。

今般、館の全体像を把握する評価指標を整理するためアンケートを実施した。

(2) 実施概要

	富士山の絵画		二見彰一展		グループ「幻触」と 石子順造 1966-1971	
会 期	平成 25 年 9 月 7 日 ～10 月 20 日		平成 25 年 11 月 22 日 ～平成 26 年 1 月 19 日		平成 26 年 2 月 1 日 ～3 月 23 日	
開催日数	38 日		47 日		44 日	
観覧者数	17,781 人		7,577 人		7,033 人	
1 日あたり平均観覧者数	467.9 人／日		161.2 人／日		159.8 人／日	
アンケート実施日	9/14（土）	68 件	11/23(土)	63 件	2/7(金)	26 件
	9/15（日）	87 件	11/29(金)	21 件	2/8(土)	59 件
	9/18（水）	44 件	11/30(土)	64 件	2/15(土)	68 件
	9/25（水）	36 件	12/8(日)	72 件	2/18(火)	28 件
	10/1（火）	37 件	12/10(火)	20 件	2/19(水)	36 件
	10/5（土）	49 件	12/17(火)	21 件	2/23(日)	77 件
アンケート実施数	321 件		261 件		294 件	
アンケート実施数（回収率） ※観覧者数に占める実施の割合	1.81%		3.44%		4.18%	

(3) 報告書内のデータ記述について

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのために、比率の合計が 100% にならないことがある。
- ・基数とすべき実数は、表中に「件数」として記載した。比率はこの基数を 100%として算出している。
- ・質問の選択肢から複数回答を認めている場合、比率の合計は通常 100%を超える。

2 調査結果概要

(1) 結果概要

	富士山の絵画		二見彰一展		グループ「幻触」と 石子順造 1966-1971
①展覧会満足度（展覧会別）	93.3%		91.0%		88.2%
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
②展覧会満足度（経年）	86.8%	90.8%	90.8%	93.3%	90.9%
③レストラン満足度	68.8%	53.8%	71.3%	82.2%	78.8%
④ミュージアム・ショップ満足度	84.4%	85.6%	86.8%	82.8%	86.1%
⑤ホームページ満足度	71.9%	74.3%	71.7%	71.6%	73.9%

(2) 提言

満足度と評価の相関係数

問	B (1)	B (2)	B (3)	B (4)	B (5)	B (6)
評 価	作品やテーマについての興味・関心	展覧会会場の心地よさ	美術館のスタッフの対応	展覧会のことを誰かに伝え、来館を勧めたいか	当美術館に関する情報入手のしやすさ	交通機関の利用のスムーズさ
富士山の絵画	0.477	0.462	0.421	0.420	0.321	0.191
二見彰一展	0.626	0.520	0.358	0.518	0.350	0.223
グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	0.503	0.453	0.403	0.521	0.310	0.175
全 体	0.535	0.476	0.390	0.488	0.329	0.196

※算出方法：展覧会の評価【B（1）～（7）】の5段階評価を1点～5点に置き換えて相関係数を算出した。ただし無回答については「どちらともいえない（3点）」と換算した。

※相関係数：－1～1をとる係数で、0に近いほど相関は薄い。1に近づくほど正の相関が、－1に近づくほど負の相関がある。（0.0～±0.2…ほとんど相関がない／±0.2～±0.4…やや相関がある／±0.4～±0.7…相関がある／±0.7～±0.9…強い相関がある／±0.9～±1.0…極めて強い相関がある）

相関係数をみると、評価が高いほど満足度も高い傾向にある項目は、下表のとおり。

富士山の絵画	1 位	B（1）作品やテーマについての興味・関心	[0.477]
	2 位	B（2）展覧会会場の心地よさ	[0.462]
	3 位	B（3）美術館のスタッフの対応	[0.421]
二見彰一展	1 位	B（1）作品やテーマについての興味・関心	[0.626]
	2 位	B（2）展覧会会場の心地よさ	[0.520]
	3 位	B（4）展覧会のことを誰かに伝え、来館を勧めたいか	[0.518]
グループ「幻触」と 石子順造 1966-1971	1 位	B（4）展覧会のことを誰かに伝え、来館を勧めたいか	[0.521]
	2 位	B（1）作品やテーマについての興味・関心	[0.503]
	3 位	B（2）展覧会会場の心地よさ	[0.453]
全 体	1 位	B（1）作品やテーマについての興味・関心	[0.535]
	2 位	B（4）展覧会のことを誰かに伝え、来館を勧めたいか	[0.488]
	3 位	B（2）展覧会会場の心地よさ	[0.476]

3 美術館評価指標の現状値

			H24 実績	H25 実績	展覧会		
					A※	B※	C※
A	2	展覧会リピート率	80.4%	74.3%	75.0%	76.0%	72.0%
	3	展覧会満足度	93.3%	91.0%	93.3%	91.0%	88.2%
	8	鑑賞環境満足度	92.5%	90.9%	92.2%	91.1%	89.4%
B	23	風景美術館認知度	22.7%	66.8%	67.6%	68.2%	64.7%
C	25	情報が「入手しやすい」	71.6%	68.0%	73.1%	62.5%	67.4%
	26	公共交通機関アクセス満足度	80.0%	75.5%	81.4%	74.6%	71.8%
	27	自家用車アクセス満足度	83.1%	85.0%	86.5%	81.8%	86.1%
	29	スタッフ対応満足度	88.7%	84.8%	82.7%	84.5%	87.3%
	34	レストラン満足度	80.8%	78.8%			
	36	ミュージアム・ショップ満足度	82.8%	86.1%			
D	46	ホームページ満足度	71.6%	73.9%			
	51	展覧会での新規観覧者の割合	19.5%	25.7%	25.0%	24.0%	28.0%
	52	展覧会での新規観覧者満足度	93.0%	91.7%	92.1%	88.6%	93.9%
	53	地域別利用者割合 東部	15.6%	17.9%	17.8%	16.1%	19.7%
		中部	58.0%	52.0%	50.8%	51.3%	53.8%
		西部	16.1%	11.1%	10.6%	13.8%	9.2%
		県外	10.4%	19.1%	20.9%	18.8%	17.3%
	54	2・3世代観覧割合	31.6%	28.8%	25.9%	31.6%	30.0%

※) 展覧会 A・・・・・・富士山の絵画

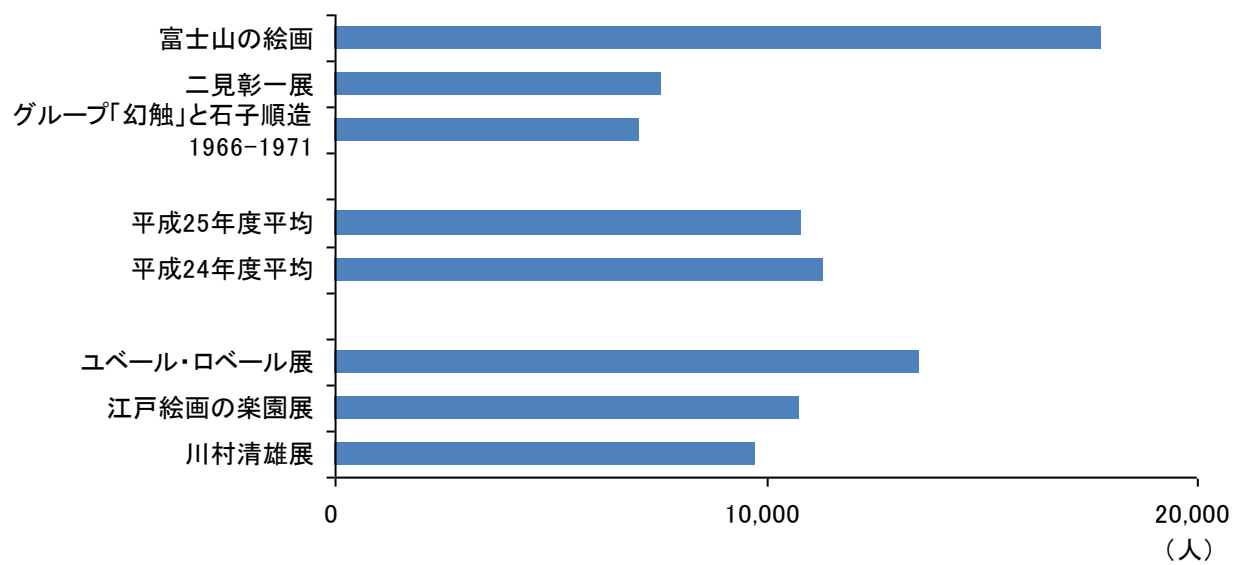
展覧会 B・・・・・・二見彰一展

展覧会 C・・・・・・グループ「幻触」と石子順造 1966-1971

4 展覧会アンケート結果

(1) 回収状況

		観覧者数 (人)	回収数 (件)	回収率 (%)
平成 25 年度	富士山の絵画	17,781	321	1.8
	二見彰一展	7,577	261	3.4
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	7,033	294	4.2
経 年	平成 25 年度平均	10,797	292	2.7
	平成 24 年度平均	11,340	277	2.5
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	13,541	277	2.1
	江戸絵画の楽園展	10,758	278	2.6
	川村清雄展	9,722	276	2.8



(2) 観覧者の属性

① 性別

全体

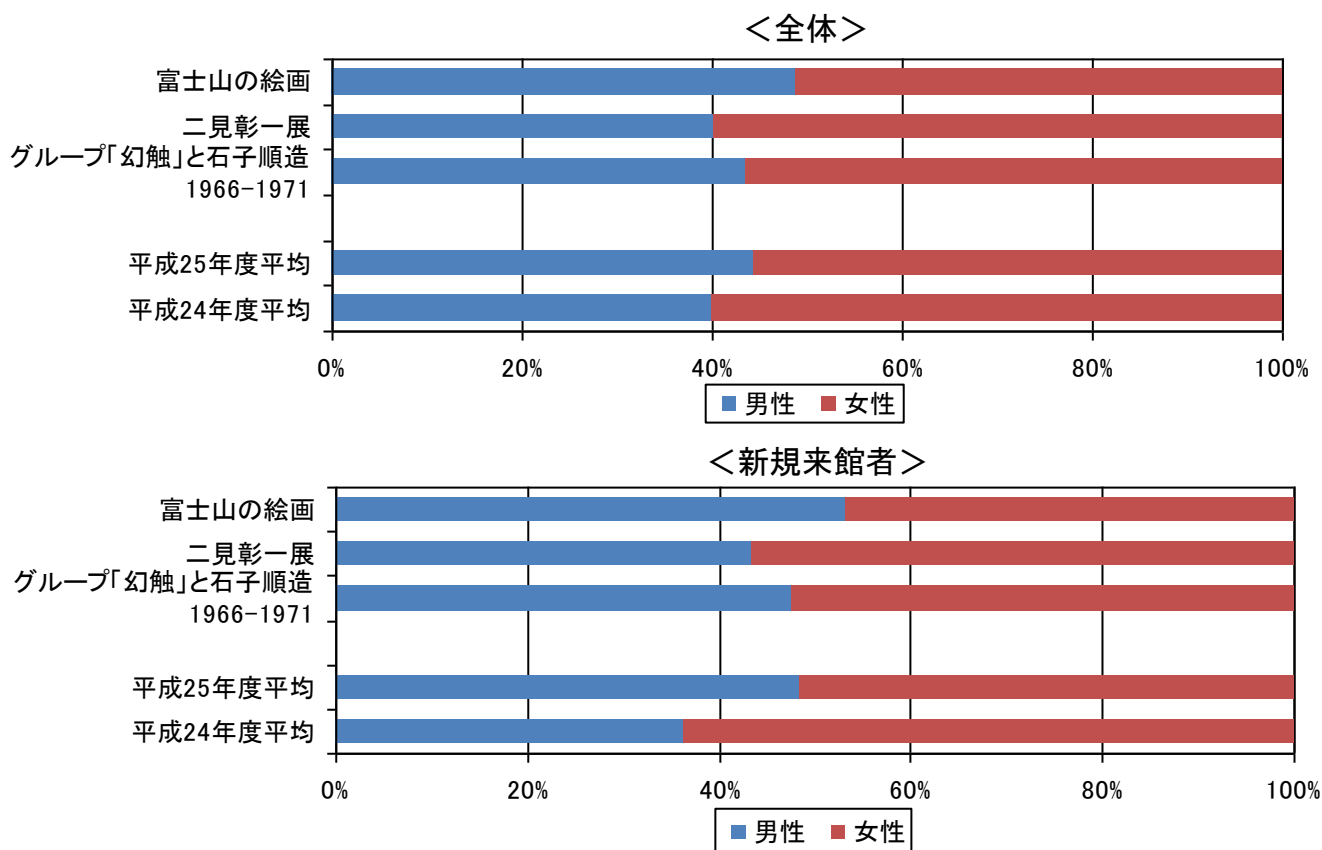
		件数 (件)	男性	女性
平成 25 年度	富士山の絵画	321	48.9	51.1
	二見彰一展	261	40.2	59.8
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	294	43.5	56.5
経 年	平成 25 年度全体		44.5	55.5
	平成 24 年度全体		40.0	60.0
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	276	39.1	60.9
	江戸絵画の楽園展	278	42.1	57.9
	川村清雄展	276	38.8	61.2

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	男性	女性
平成 25 年度	富士山の絵画	79	53.2	46.8
	二見彰一展	62	43.5	56.5
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	82	47.6	52.4
経 年	平成 25 年度全体		48.4	51.6
	平成 24 年度全体		36.4	63.6
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	70	38.6	61.4
	江戸絵画の楽園展	44	36.4	63.6
	川村清雄展	48	33.3	66.7

単位：％



性別について〈全体〉は、平成 25 年度全体は、「男性」が 44.5%、「女性」が 55.5%と、平成 24 年度全体より「男性」が 4.5 ポイント高くなり、「女性」が 4.5 ポイント低くなっている。『富士山の絵画』『二見彰一展』『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』の 3 つの展覧会の中で「男性」が最も高いのは、『富士山の絵画』48.9%、「女性」が最も高いのは、『二見彰一展』59.8%となっている。

〈新規来館者〉は、平成 25 年度全体は、「男性」が 48.4%、「女性」が 51.6%と、平成 24 年度全体より「男性」が 12.0 ポイント高くなっている。3 つの展覧会の中で「男性」が最も高いのは、『富士山の絵画』53.2%、「女性」が最も高いのは、『二見彰一展』56.5%となっている。

② 年齢層

全体

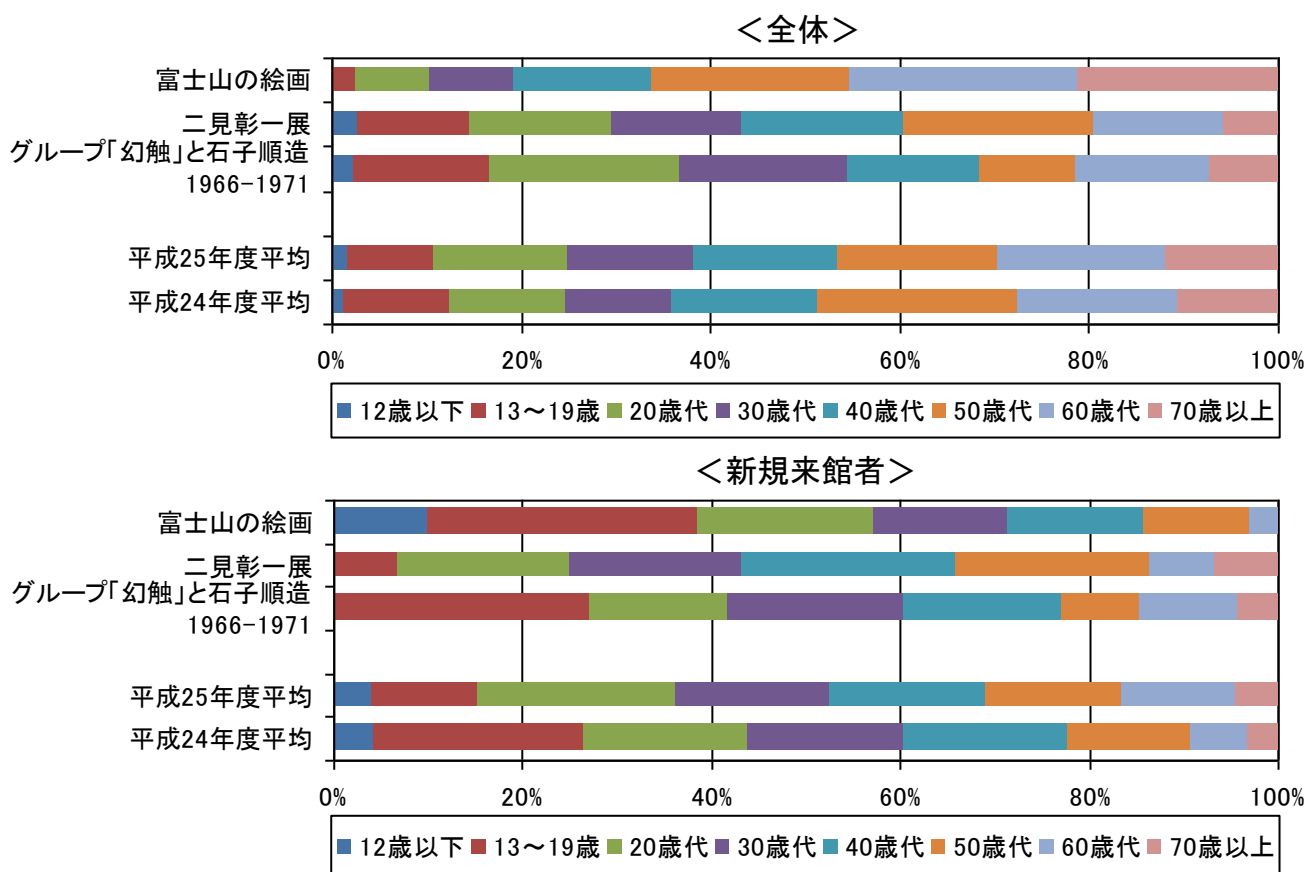
		件数 (件)	12歳以下	13 ～ 19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
平成 25 年度	富士山の絵画	321	0.0	2.5	7.8	9.0	14.6	20.9	24.0	21.2
	二見彰一展	261	2.7	11.9	14.9	13.8	17.2	19.9	13.8	5.7
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	294	2.4	14.3	20.1	17.7	13.9	10.2	14.3	7.1
経 年	平成 25 年度全体		1.6	9.2	14.0	13.4	15.2	17.0	17.7	11.9
	平成 24 年度全体		1.3	11.1	12.4	11.1	15.5	21.2	16.9	10.5
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	276	4.0	19.2	18.5	11.2	14.5	17.4	10.5	4.7
	江戸絵画の楽園展	278	0.0	4.7	10.4	11.9	16.5	24.1	18.3	14.0
	川村清雄展	276	0.0	9.4	8.3	10.1	15.6	22.1	21.7	12.7

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	12歳以下	13 ～ 19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
平成 25 年度	富士山の絵画	79	0.0	0.0	19.0	8.9	22.8	24.1	16.5	8.9
	二見彰一展	62	6.5	9.7	21.0	19.4	14.5	9.7	14.5	4.8
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	82	6.1	23.2	23.2	20.7	12.2	8.5	6.1	0.0
経 年	平成 25 年度全体		4.0	11.2	21.1	16.1	16.6	14.3	12.1	4.5
	平成 24 年度全体		4.3	22.2	17.3	16.7	17.3	13.0	6.2	3.1
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	70	10.0	28.6	18.6	14.3	14.3	11.4	2.9	0.0
	江戸絵画の楽園展	44	0.0	6.8	18.2	18.2	22.7	20.5	6.8	6.8
	川村清雄展	48	0.0	27.1	14.6	18.8	16.7	8.3	10.4	4.2

単位：％



年齢層について〈全体〉は、平成 25 年度で多い年代は「60 歳代」17.7%、「50 歳代」17.0%、「40 歳代」15.2%の順となっている。『富士山の絵画』は他の展覧会と比べて「60 歳代」24.0%と多く、また『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』は「13～19 歳」14.3%と多くなっている。

〈新規来館者〉は、平成 25 年度で多い年代は「20 歳代」21.1%、「40 歳代」16.6%、「30 歳代」16.1%の順となっている。展覧会別でみると、特に『富士山の絵画』では「50 歳代」24.1%が多く、『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』では「13～19 歳」「20 歳代」23.2%と新規来館者が多くなっている。

③ 居住地

全体

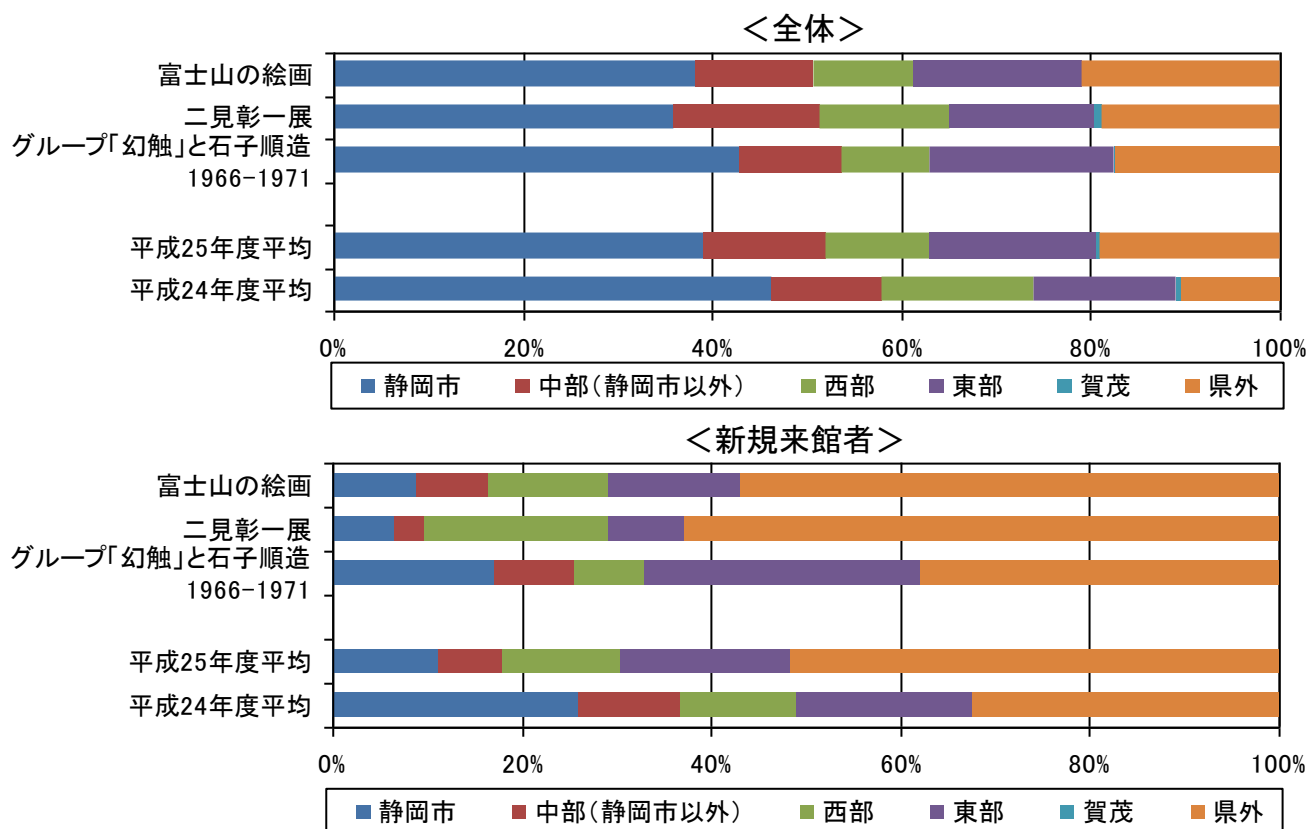
		件数 (件)	静岡 市	中部 (静岡 市以外)	西部	東部	賀茂	県外
平成 25 年度	富士山の絵画	321	38.3	12.5	10.6	17.8	0.0	20.9
	二見彰一展	261	36.0	15.3	13.8	15.3	0.8	18.8
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	294	42.9	10.9	9.2	19.4	0.3	17.3
経 年	平成 25 年度全体		39.2	12.8	11.1	17.6	0.3	19.1
	平成 24 年度全体		46.4	11.6	16.1	15.0	0.6	10.4
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	271	45.8	8.1	18.1	16.2	0.0	11.8
	江戸絵画の楽園展	274	47.4	11.7	13.9	13.9	1.1	12.0
	川村清雄展	276	46.0	14.9	16.3	14.9	0.7	7.2

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	静岡 市	中部 (静岡 市以外)	西部	東部	賀茂	県外
平成 25 年度	富士山の絵画	79	8.9	7.6	12.7	13.9	0.0	57.0
	二見彰一展	62	6.5	3.2	19.4	8.1	0.0	62.9
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	82	17.1	8.5	7.3	29.3	0.0	37.8
経 年	平成 25 年度全体		11.2	6.7	12.6	17.9	0.0	51.6
	平成 24 年度全体		26.1	10.6	12.4	18.6	0.0	32.3
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	69	23.2	4.3	15.9	18.8	0.0	37.7
	江戸絵画の楽園展	44	29.5	11.4	11.4	11.4	0.0	36.4
	川村清雄展	48	27.1	18.8	8.3	25.0	0.0	20.8

単位：％



居住地について〈全体〉は、「静岡市」が 39.2%と最も高く、「県外」19.1%、「東部」17.6%の順となっている。どの展覧会でも「静岡市」と「中部（静岡市以外）」を合わせた「中部」が半数を超えている。『富士山の絵画』では「県外」20.9%となっている。

〈新規来館者〉は、〈全体〉に比べて「県外」来館者が多い傾向にあり、『二見彰一展』62.9%、『富士山の絵画』57.0%となっている。「県外」は平成25年度全体51.6%は、平成24年度全体32.3%より19.3ポイント高くなっている。

美術館カルテ 53

地域別の利用者の割合

		中部	西部	東部
平成25年度	富士山の絵画	50.8	10.6	17.8
	二見彰一展	51.3	13.8	16.1
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	53.8	9.2	19.7
経年	平成25年度全体	52.0	11.1	17.9
	平成24年度全体	58.0	16.1	15.6
平成24年度	ユベール・ロベール展	53.9	18.1	16.2
	江戸絵画の楽園展	59.1	13.9	15.0
	川村清雄展	60.9	16.3	15.6

単位：%

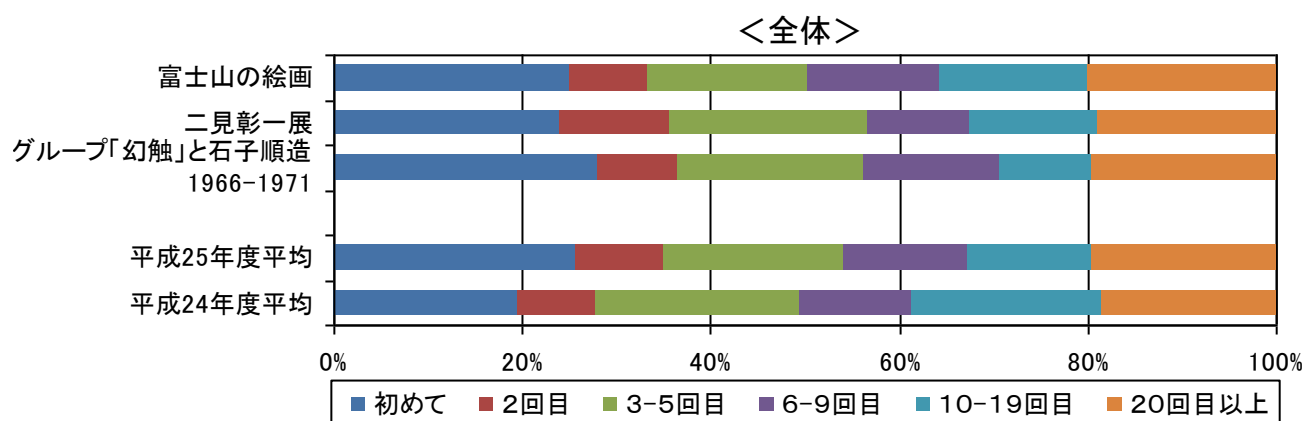
(3) 観覧者の行動

① 来館回数

全体

		件数 (件)	初めて	2 回目	3 - 5 回目	6 - 9 回目	10 - 19 回目	20 回目 以上
平成 25 年度	富士山の絵画	316	25.0	8.2	17.1	13.9	15.8	19.9
	二見彰一展	258	24.0	11.6	20.9	10.9	13.6	19.0
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	293	28.0	8.5	19.8	14.3	9.9	19.5
経 年	平成 25 年度全体		25.7	9.3	19.1	13.1	13.1	19.5
	平成 24 年度全体		19.5	8.2	21.7	11.9	20.1	18.5
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	277	25.3	10.8	24.9	11.9	15.2	11.9
	江戸絵画の楽園展	276	15.9	7.2	18.8	12.3	20.7	25.0
	川村清雄展	276	17.4	6.5	21.4	11.6	24.6	18.5

単位：％



来館回数について〈全体〉は、平成25年度の「初めて」は25.7%と平成24年度より6.2ポイント高くなっている。また、「20回目以上」は19.5%と前年度より1.0ポイント高くなっている。展覧会別にみると、「初めて」が最も高いのは『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』の28.0%、次いで『富士山の絵画』25.0%、『二見彰一展』24.0%の順となっている。

評価指標 4

新規来館者の割合

美術館カルテ 2

リピート率

		新規来館者の割合	リピート率
平成25年度	富士山の絵画	25.0	75.0
	二見彰一展	24.0	76.0
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	28.0	72.0
経年	平成25年度全体	25.7	74.3
	平成24年度全体	19.5	80.4
平成24年度	ユベール・ロベール展	25.3	74.7
	江戸絵画の楽園展	15.9	84.0
	川村清雄展	17.4	82.6

単位：%

② 来館人数

全体

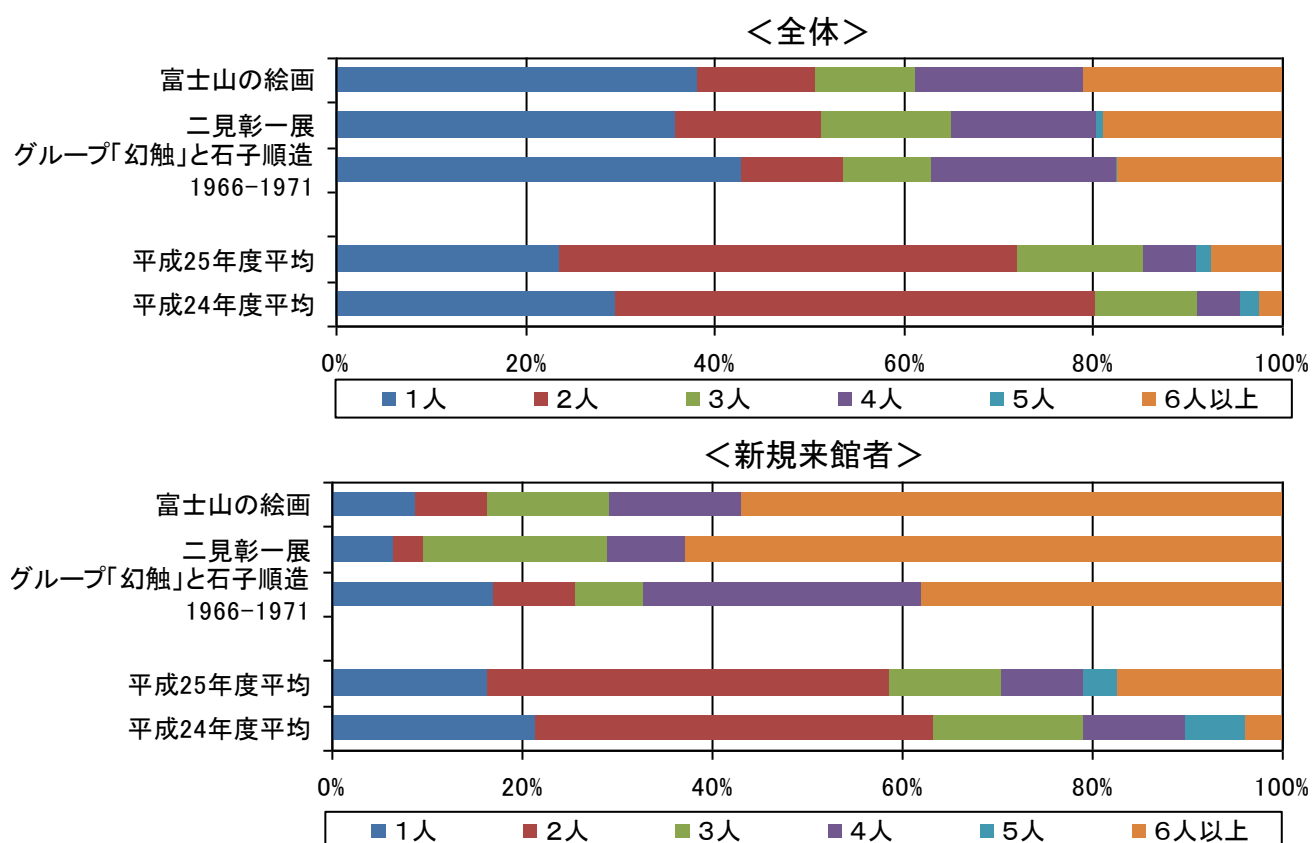
		件数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上
平成 25 年度	富士山の絵画	314	17.8	56.4	16.2	4.1	0.3	5.1
	二見彰一展	258	26.4	49.2	12.8	4.3	1.6	5.8
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	294	27.6	39.1	10.9	8.2	3.1	11.2
経 年	平成 25 年度全体		23.7	48.4	13.4	5.5	1.6	7.4
	平成 24 年度全体		29.5	50.9	10.7	4.4	2.2	2.3
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	274	25.2	46.4	15.3	6.6	3.3	3.3
	江戸絵画の楽園展	271	30.6	54.2	9.2	3.7	1.1	1.1
	川村清雄展	275	32.7	52.0	7.6	2.9	2.2	2.5

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上
平成 25 年度	富士山の絵画	78	17.9	52.6	16.7	1.3	0.0	11.5
	二見彰一展	60	13.3	48.3	10.0	10.0	3.3	15.0
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	82	17.1	28.0	8.5	14.6	7.3	24.4
経 年	平成 25 年度全体		16.4	42.3	11.8	8.6	3.6	17.3
	平成 24 年度全体		21.5	41.8	15.8	10.8	6.3	3.8
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	68	20.6	26.5	20.6	17.6	10.3	4.4
	江戸絵画の楽園展	43	25.6	48.8	16.3	2.3	7.0	0.0
	川村清雄展	47	19.1	57.4	8.5	8.5	0.0	6.4

単位：％



来館人数について〈全体〉は、平成 25 年度は「2 人」が 48.4%と最も高くなっている。次いで「1 人」23.7%、「3 人」13.4%の順となっている。また、「6 人以上」は 7.4%と平成 24 年度より 5.1 ポイント高くなっている。『富士山の絵画』では「2 人」56.4%と高い。『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』では「6 人以上」11.2%と高くなっている。

〈新規来館者〉でも、平成 25 年度は「2 人」が 42.3%と最も高くなっている。次いで「6 人以上」17.3%、「1 人」16.4%の順になっている。『富士山の絵画』、『二見彰一展』では「2 人」での来館が高くなっている。

③ 来館時の同伴者

全体

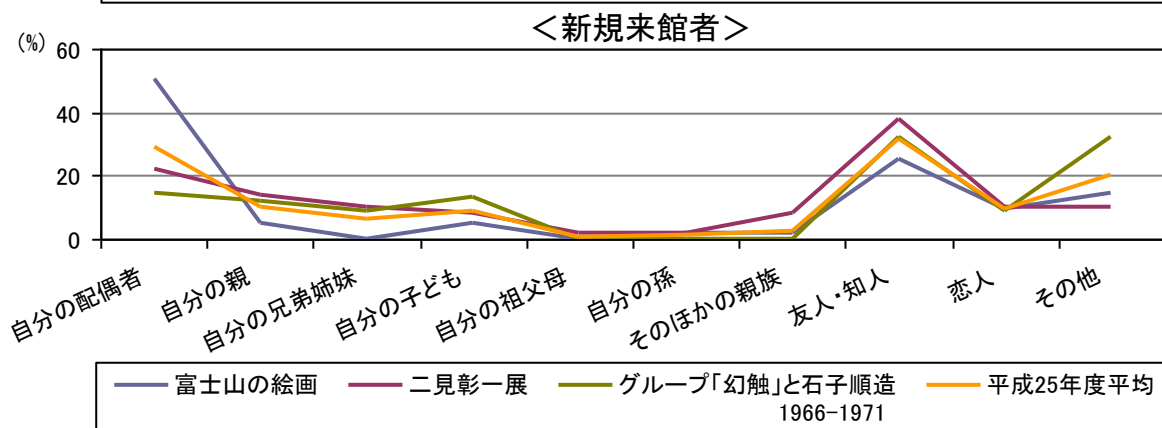
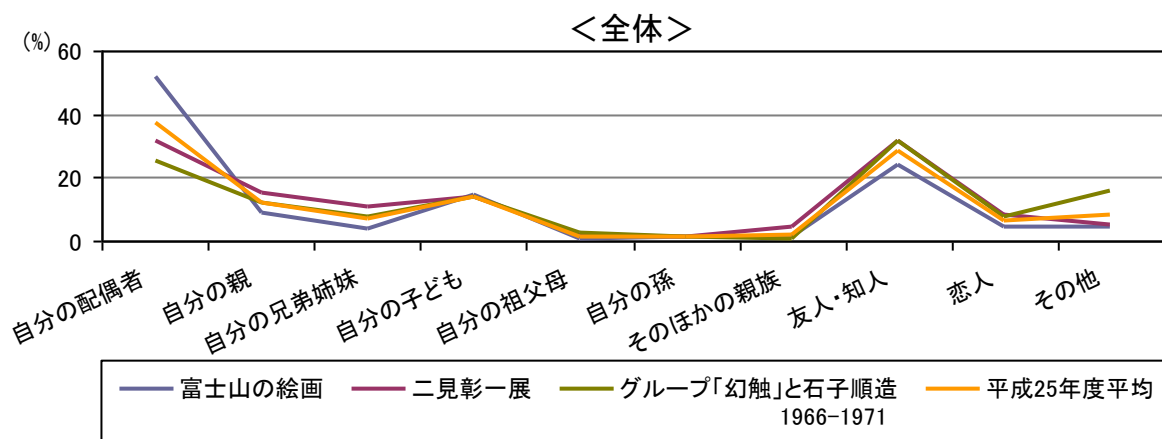
		件数 (件)	自分の 配偶者	自分の 親	姉妹 自分の 兄弟	自分の 子ども	自分の 祖父母	自分の 孫	親族 そのほか の	友人・ 知人	恋人	その他
平成 25 年度	富士山の絵画	256	52.0	9.0	3.5	14.5	0.8	1.6	1.6	23.8	4.7	4.7
	二見彰一展	187	31.6	15.0	10.7	13.9	1.6	1.1	4.3	31.6	8.0	5.3
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	213	25.4	12.2	7.5	14.1	2.3	1.4	0.5	31.5	7.5	16.0
経 年	平成 25 年度全体		37.5	11.7	6.9	14.2	1.5	1.4	2.0	28.5	6.6	8.5
	平成 24 年度全体		42.6	14.5	4.7	14.8	1.4	0.9	1.7	32.2		3.3
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	205	29.3	20.5	6.3	21.0	2.4	1.5	2.4	35.1		2.4
	江戸絵画の楽園展	192	54.2	10.9	2.6	12.5	0.0	0.5	1.0	28.6		3.6
	川村清雄展	183	45.4	11.5	4.9	10.4	1.6	0.5	1.6	32.8		3.8

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	自分の 配偶者	自分の 親	姉妹 自分の 兄弟	自分の 子ども	自分の 祖父母	自分の 孫	親族 そのほか の	友人・ 知人	恋人	その他
平成 25 年度	富士山の絵画	63	50.8	4.8	0.0	4.8	0.0	1.6	1.6	25.4	9.5	14.3
	二見彰一展	50	22.0	14.0	10.0	8.0	2.0	2.0	8.0	38.0	10.0	10.0
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	68	14.7	11.8	8.8	13.2	0.0	0.0	0.0	32.4	8.8	32.4
経 年	平成 25 年度全体		29.3	9.9	6.1	8.8	0.6	1.1	2.8	31.5	9.4	19.9
	平成 24 年度全体		33.6	21.6	10.4	18.4	3.2	2.4	4.0	32.0		6.4
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	54	18.5	27.8	16.7	18.5	5.6	3.7	7.4	40.7		5.6
	江戸絵画の楽園展	33	51.5	15.2	6.1	21.2	0.0	3.0	3.0	27.3		3.0
	川村清雄展	38	39.5	18.4	5.3	15.8	2.6	0.0	0.0	23.7		10.5

単位：％



※今年度は選択肢を増やしたため、平成 24 年度はグラフ化していない。

来館時の同伴者について〈全体〉は、平成 25 年度は「自分の配偶者」37.5%、次いで「友人・知人」28.5%、「自分の子ども」14.2%の順となっている。『富士山の絵画』では、「自分の配偶者」52.0%が他の展覧会と比較して高くなっている。

〈新規来館者〉は、「友人・知人」31.5%が最も高く、次いで「自分の配偶者」29.3%、「その他」19.9%の順となっている。

美術館カルテ 54

2・3世代で一緒に観覧に来ている割合

平成25年度	富士山の絵画	25.9
	二見彰一展	31.6
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	30.0
経年	平成 25 年度全体	28.8
	平成 24 年度全体	31.6
平成24年度	ユベール・ロベール展	45.4
	江戸絵画の楽園展	23.9
	川村清雄展	24.0

単位：％

④ 来館のきっかけ

全体

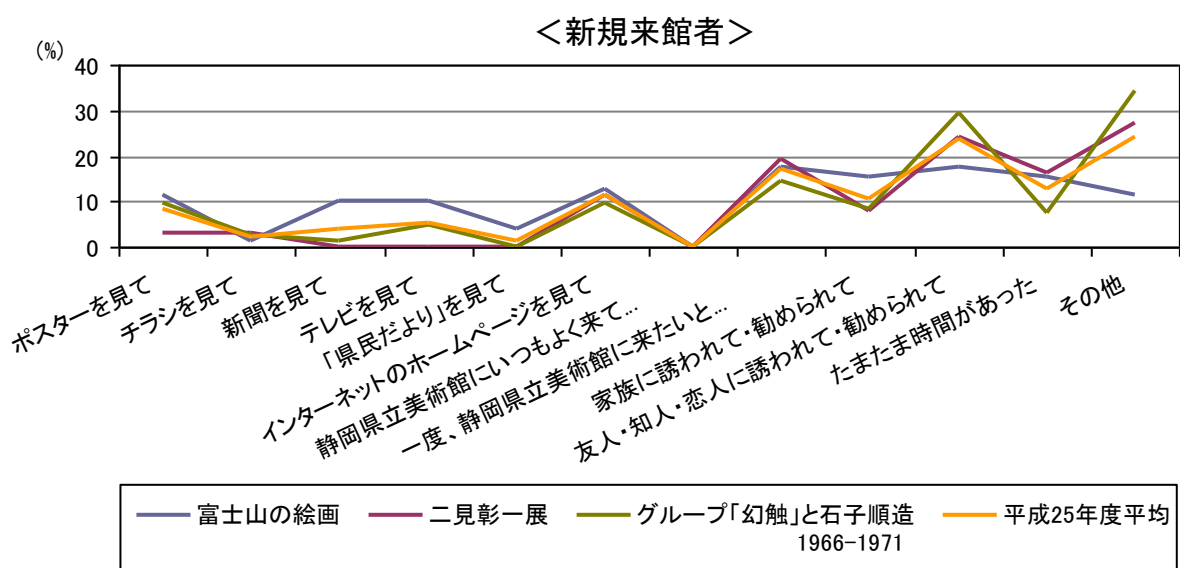
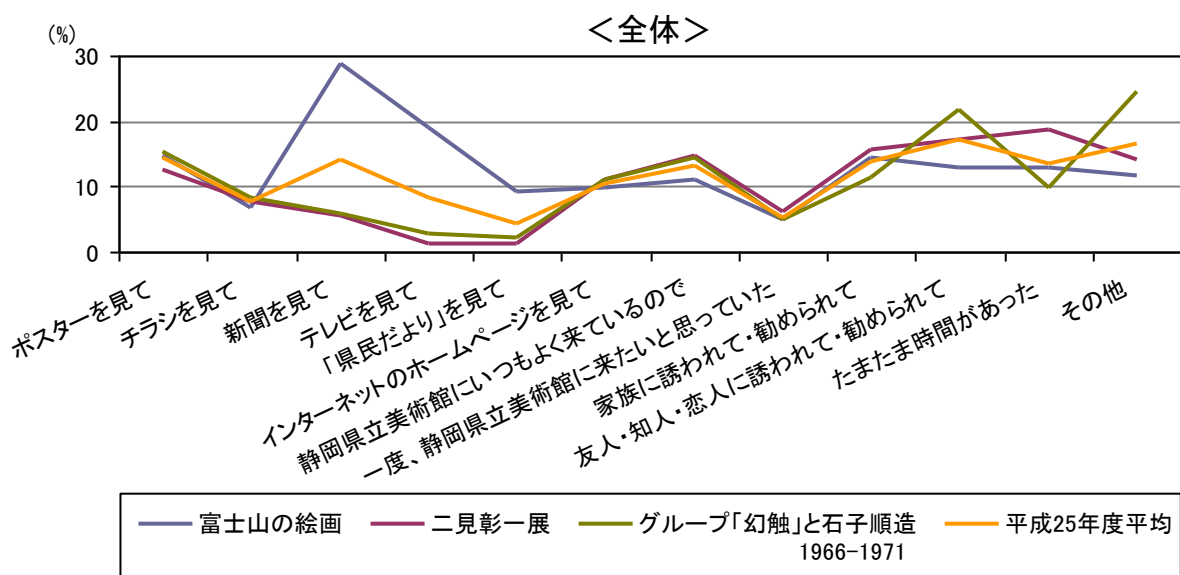
		件数 （件）	ポスターを見て	チラシを見て	新聞を見て	テレビを見て	「県民だより」を見て	インターネットの ホームページを見て	静岡県立美術館にいつ もよく来ているので	一度、静岡県立美術館 に来た、と思つて、いた	家族に誘われて・勧めら れて	友人・知人・恋人に誘わ れて・勧められて	たまたま時間があつた	その他
平成 25 年度	富士山の絵画	321	14.6	6.9	28.7	19.0	9.0	9.7	10.9	5.0	14.3	12.8	12.8	11.5
	二見彰一展	261	12.6	7.7	5.4	1.1	1.1	11.1	14.6	6.1	15.7	17.2	18.8	14.2
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	294	15.3	8.2	5.8	2.7	2.0	10.9	14.3	4.8	11.2	21.8	9.9	24.5
経 年	平成 25 年度全体		14.3	7.5	14.0	8.2	4.3	10.5	13.1	5.3	13.7	17.1	13.6	16.7
	平成 24 年度全体		16.2	7.3	14.2	12.8	1.5	13.9	16.1	5.1	20.1		12.3	13.2
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	277	18.4	5.8	12.3	10.5	1.1	14.1	10.1	5.1	21.7		11.9	19.1
	江戸絵画の楽園展	275	14.9	9.1	15.3	4.4	1.8	14.9	21.8	4.4	21.1		10.9	11.3
	川村清雄展	274	15.3	6.9	15.0	23.7	1.5	12.8	16.4	5.8	17.5		14.2	9.1

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	ポスターを見て	チラシを見て	新聞を見て	テレビを見て	「県民だより」を見て	ホームページを見て	インターネットのホームページを見て	一度、静岡県立美術館に来たいと思っていた静岡県立美術館にいつもよく来ているので	一度、静岡県立美術館に来て・勧められて・家族に誘われて・勧められて	友人・知人・恋人に誘われて・勧められて	たまたま時間があつた	その他
平成25年度	富士山の絵画	79	11.4	1.3	10.1	10.1	3.8	12.7	0.0	17.7	15.2	17.7	15.2	11.4
	二見彰一展	62	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	11.3	0.0	19.4	8.1	24.2	16.1	27.4
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	82	9.8	2.4	1.2	4.9	0.0	9.8	0.0	14.6	8.5	29.3	7.3	34.1
経年	平成 25 年度全体		8.5	2.2	4.0	5.4	1.3	11.2	0.0	17.0	10.8	23.8	12.6	24.2
	平成 24 年度全体		8.8	5.0	5.6	11.9	0.0	13.8	0.0	21.9	26.3		13.1	23.1
平成24年度	ユベール・ロベール展	70	7.1	4.3	2.9	7.1	0.0	14.3	0.0	15.7	28.6		12.9	30.0
	江戸絵画の楽園展	42	11.9	4.8	9.5	4.8	0.0	14.3	0.0	23.8	31.0		9.5	9.5
	川村清雄展	48	8.3	6.3	6.3	25.0	0.0	12.5	0.0	29.2	18.8		16.7	25.0

単位：％



※今年度は選択肢を増やしたため、平成 24 年度はグラフ化していない。

来館のきっかけについて〈全体〉は、平成 25 年度は「友人・知人・恋人に誘われて・勧められて」17.1%と最も高く、次いで「その他」16.7%、「ポスターを見て」14.3%、「新聞を見て」14.0%の順になっている。展覧会別にみると、『富士山の絵画』は「新聞を見て」28.7%と最も高く、『二見彰一展』は「たまたま時間があった」18.8%、『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』は「その他」24.5%となっている。特に、「新聞を見て」「テレビを見て」は展覧会により差が大きく、『富士山の絵画』47.7%、『二見彰一展』6.5%、『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』8.5%となっている。

〈新規来館者〉は、平成 25 年度は〈全体〉は、「その他」が 24.2%と最も高く、次いで「友人・知人・恋人に誘われて・勧められて」23.8%、「一度、静岡県立美術館に来たいと思っていた」17.0%の順になっている。展覧会別にみると、『富士山の絵画』は「一度、静岡県立美術館に来たいと思っていた」「友人・知人・恋人に誘われて・勧められて」17.7%と最も高く、『二見彰一展』は「その他」27.4%、『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』は「その他」34.1%となっている。『富士山の絵画』は、「新聞を見て」「テレビを見て」は 20.2%と他の展覧会と比較し高くなっている。

④ 来館を誘われた手段

全体

		件数 (件)	直接会 って	電話 で	SNS など	携 帯 メ ー ル	e メ ー ル (パ ソ コ ン)	そ の 他
平成 25 年 度	富士山の絵画	84	78.6	11.9	2.4	6.0	1.2	4.8
	二見彰一展	83	71.1	12.0	4.8	10.8	0.0	3.6
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	93	76.3	7.5	3.2	6.5	3.2	7.5
平成 25 年度全体			75.4	10.4	3.5	7.7	1.5	5.4

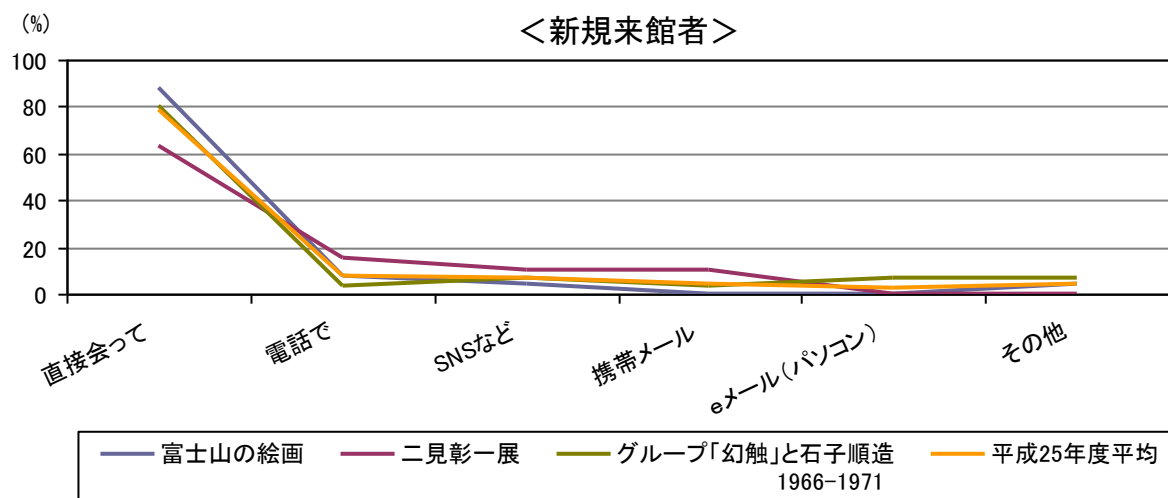
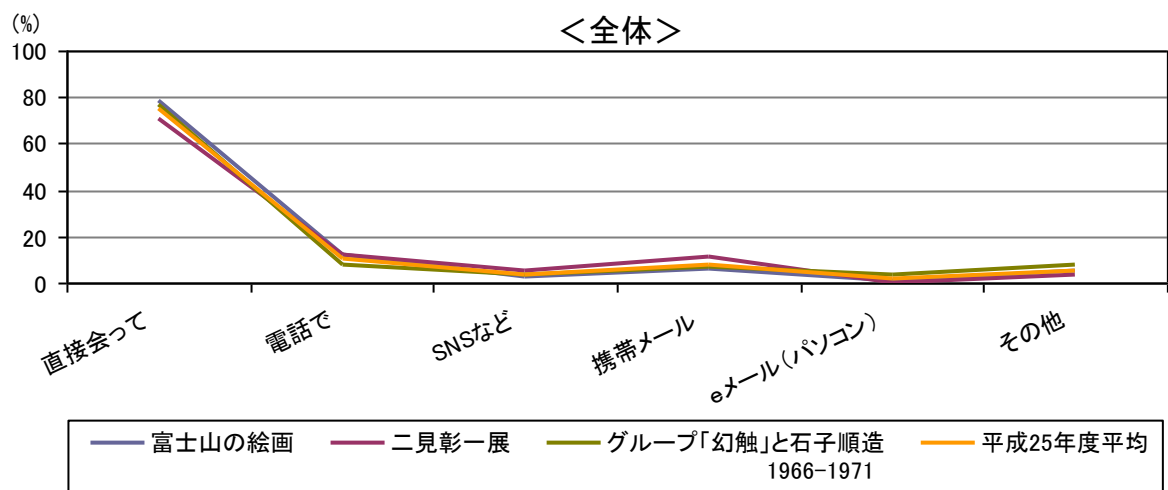
単位：％

新規来館者

		件数 (件)	直接会 って	電話 で	SNS など	携 帯 メ ー ル	e メ ー ル (パ ソ コ ン)	そ の 他
平成 25 年 度	富士山の絵画	25	88.0	8.0	4.0	0.0	0.0	4.0
	二見彰一展	19	63.2	15.8	10.5	10.5	0.0	0.0
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	30	80.0	3.3	6.7	3.3	6.7	6.7
平成 25 年度全体			78.4	8.1	6.8	4.1	2.7	4.1

単位：％

※SNS などは SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）LINE・facebook・twitter・mixi などを示す。



※今年度に新規の設問のため、平成 24 年度はグラフ化していない。

来館を誘われた手段について〈全体〉は、平成 25 年度は「直接会って」75.4%と最も高く、次いで「電話で」10.4%、「携帯メール」7.7%の順になっている。

〈新規来館者〉は、平成 25 年度は〈全体〉同様、「直接会って」78.4%と最も高く、次いで「電話で」8.1%、「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）LINE・facebook・twitter・mixi など」6.8%の順になっている。

(4) 展覧会の評価

① 作品やテーマについての興味・関心の深まり

全体

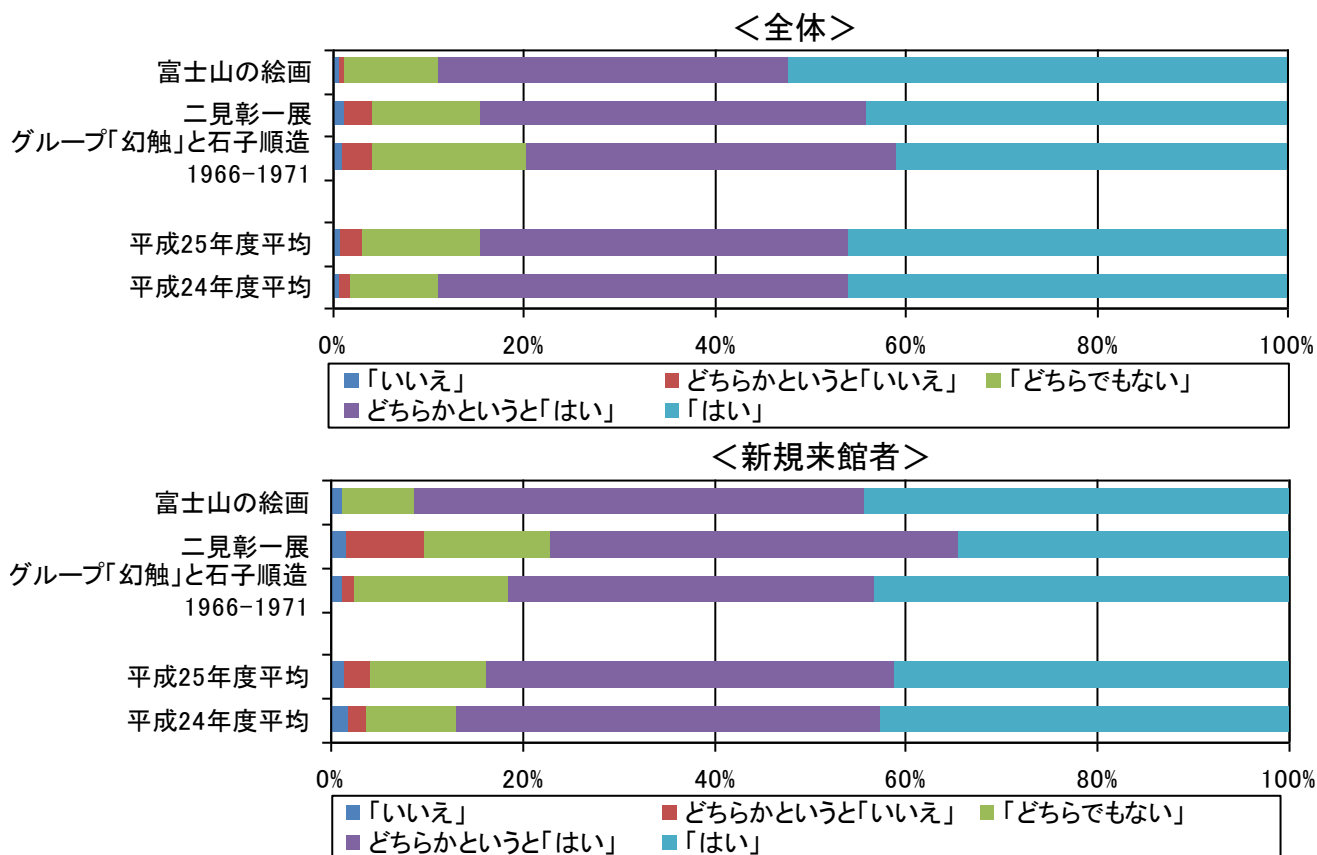
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	316	0.6	0.6	9.8	36.7	52.2
	二見彰一展	257	1.2	3.1	11.3	40.5	44.0
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	289	1.0	3.1	16.3	38.8	40.8
経 年	平成 25 年度全体		0.9	2.2	12.4	38.5	45.9
	平成 24 年度全体		0.6	1.3	9.3	42.9	45.8
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	276	0.4	1.4	11.2	47.1	39.9
	江戸絵画の楽園展	275	0.7	0.7	7.3	37.1	54.2
	川村清雄展	276	0.7	1.8	9.4	44.6	43.5

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	79	1.3	0.0	7.6	46.8	44.3
	二見彰一展	61	1.6	8.2	13.1	42.6	34.4
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	81	1.2	1.2	16.0	38.3	43.2
経 年	平成 25 年度全体		1.4	2.7	12.2	42.5	41.2
	平成 24 年度全体		1.9	1.9	9.3	44.4	42.6
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	70	1.4	1.4	8.6	48.6	40.0
	江戸絵画の楽園展	44	0.0	2.3	11.4	38.6	47.7
	川村清雄展	48	4.2	2.1	8.3	43.8	41.7

単位：％



作品やテーマについての興味・関心の深まりについて〈全体〉は、平成 25 年度は「どちらかという」と「はい」「はい」を合わせた肯定的評価が 84.4%となっている。肯定的評価は『富士山の絵画』88.9%、『二見彰一展』84.5%、『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』79.6%の順になっている。一方、「いいえ」「どちらかという」と「いいえ」を合わせた否定的評価は 3.1%となっている。

〈新規来館者〉は、平成 25 年度は肯定的評価が 83.7%となっている。肯定的評価は『富士山の絵画』91.1%、『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』81.5%、『二見彰一展』77.0%の順になっている。否定的評価は 4.1%となっている。

評価指標 3

作品やテーマに興味を持った人の割合

平成 25 年度	富士山の絵画	88.9
	二見彰一展	84.5
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	79.6
経 年	平成 25 年度全体	84.4
	平成 24 年度全体	88.7
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	87.0
	江戸絵画の楽園展	91.3
	川村清雄展	88.1

単位：％

② 展覧会の会場で心地よく観覧できたか

全体

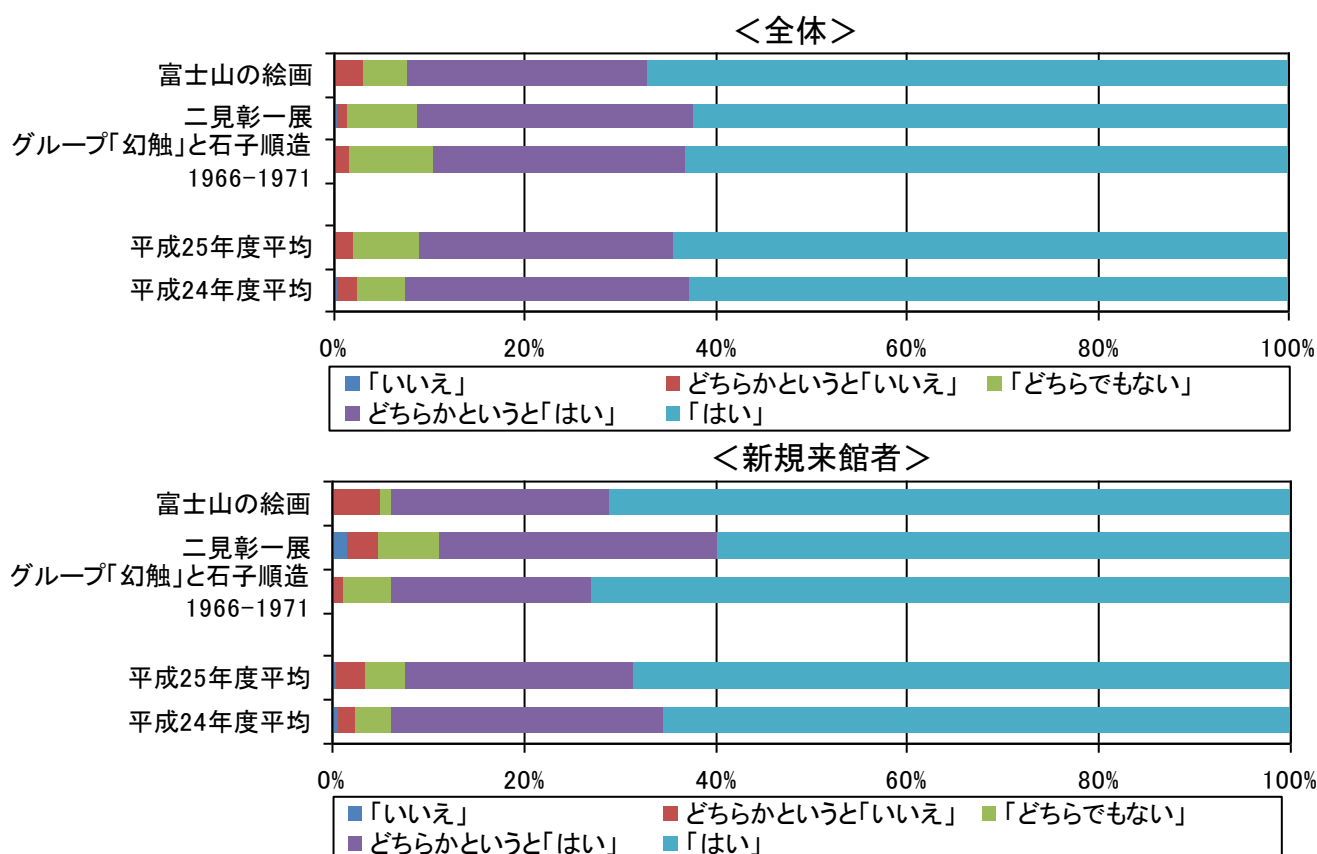
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	318	0.3	2.8	4.7	25.2	67.0
	二見彰一展	260	0.4	1.2	7.3	28.8	62.3
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	293	0.0	1.7	8.9	26.3	63.1
経 年	平成 25 年度全体		0.2	2.0	6.9	26.6	64.3
	平成 24 年度全体		0.5	2.1	5.0	29.8	62.7
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	276	0.4	2.9	3.6	31.2	62.0
	江戸絵画の楽園展	276	0.7	2.2	5.1	29.0	63.0
	川村清雄展	276	0.4	1.1	6.2	29.3	63.0

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	79	0.0	5.1	1.3	22.8	70.9
	二見彰一展	62	1.6	3.2	6.5	29.0	59.7
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	81	0.0	1.2	4.9	21.0	72.8
経 年	平成 25 年度全体		0.5	3.2	4.1	23.9	68.5
	平成 24 年度全体		0.6	1.9	3.7	28.4	65.4
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	70	0.0	2.9	1.4	25.7	70.0
	江戸絵画の楽園展	44	0.0	2.3	4.5	38.6	54.5
	川村清雄展	48	2.1	0.0	6.3	22.9	68.8

単位：％



展覧会の会場で心地よく観覧できたかについて〈全体〉は、平成 25 年度は「どちらかという と「はい」「はい」を合わせた肯定的評価が 90.9%となっている。肯定的評価は『富士山の絵画』92.2%、『二見彰一展』91.1%、『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』89.4%の順になっている。一方、「いいえ」「どちらかという と「いいえ」を合わせた否定的評価は 2.2%となっている。

〈新規来館者〉は、平成 25 年度は肯定的評価が 92.4%となっている。肯定的評価は『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』93.8%、『富士山の絵画』93.7%、『二見彰一展』88.7%の順になっている。否定的評価は 3.7%となっている。

美術館カルテ 32

鑑賞環境に対する満足度

平成 25 年度	富士山の絵画	92.2
	二見彰一展	91.1
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	89.4
経 年	平成 25 年度全体	90.9
	平成 24 年度全体	92.5
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	93.2
	江戸絵画の楽園展	92.0
	川村清雄展	92.3

単位：％

③ スタッフの対応は適切であったか

全体

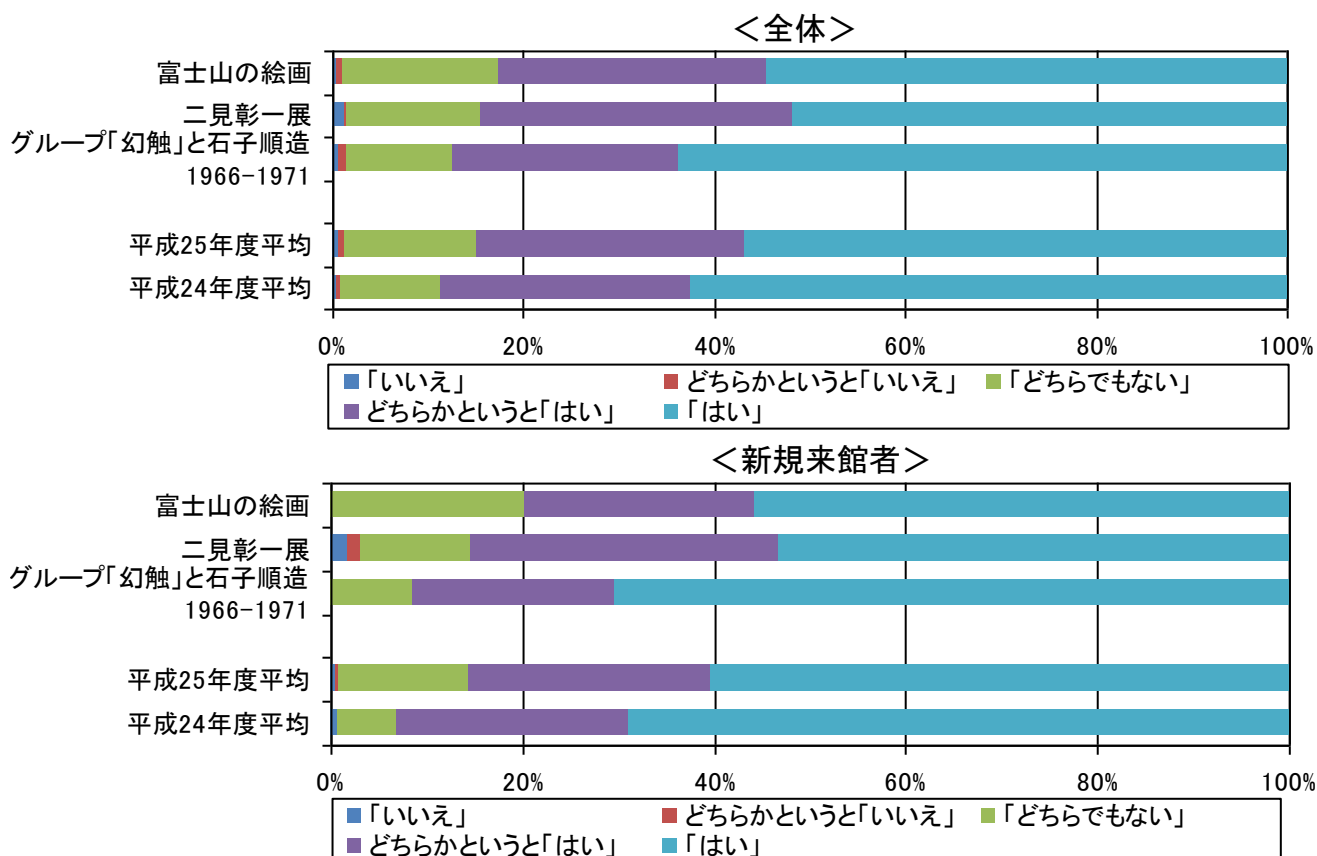
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	317	0.3	0.6	16.4	28.1	54.6
	二見彰一展	259	1.2	0.4	13.9	32.8	51.7
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	293	0.7	0.7	11.3	23.5	63.8
経 年	平成 25 年度全体		0.7	0.6	13.9	28.0	56.8
	平成 24 年度全体		0.4	0.5	10.5	26.2	62.5
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	274	0.7	0.7	9.9	23.7	65.0
	江戸絵画の楽園展	270	0.4	0.7	10.0	28.9	60.0
	川村清雄展	274	0.0	0.0	11.7	25.9	62.4

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	79	0.0	0.0	20.3	24.1	55.7
	二見彰一展	62	1.6	1.6	11.3	32.3	53.2
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	81	0.0	0.0	8.6	21.0	70.4
経 年	平成 25 年度全体		0.5	0.5	13.5	25.2	60.4
	平成 24 年度全体		0.6	0.0	6.2	24.2	68.9
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	70	1.4	0.0	4.3	22.9	71.4
	江戸絵画の楽園展	44	0.0	0.0	6.8	27.3	65.9
	川村清雄展	47	0.0	0.0	8.5	23.4	68.1

単位：％



スタッフの対応は適切であったかについて〈全体〉は、平成 25 年度は「どちらかというと「はい」」「はい」を合わせた肯定的評価が 84.8%となっている。肯定的評価は『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』87.3%、『二見彰一展』84.5%、『富士山の絵画』82.3%の順になっている。一方、「いいえ」「どちらかというと「いいえ」」を合わせた否定的評価は 1.3%となっている。

〈新規来館者〉は、平成 25 年度は肯定的評価が 85.6%となっている。肯定的評価は『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』91.4%、『二見彰一展』85.5%、『富士山の絵画』79.8%の順になっている。否定的評価は 1.0%となっている。

美術館カルテ 29

美術館スタッフの対応に満足した人の割合

平成 25 年度	富士山の絵画	82.7
	二見彰一展	84.5
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	87.3
経 年	平成 25 年度全体	84.8
	平成 24 年度全体	88.7
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	88.7
	江戸絵画の楽園展	88.9
	川村清雄展	88.3

単位：％

④ この展覧会のことを誰かに伝え、来館を勧めたいか

全体

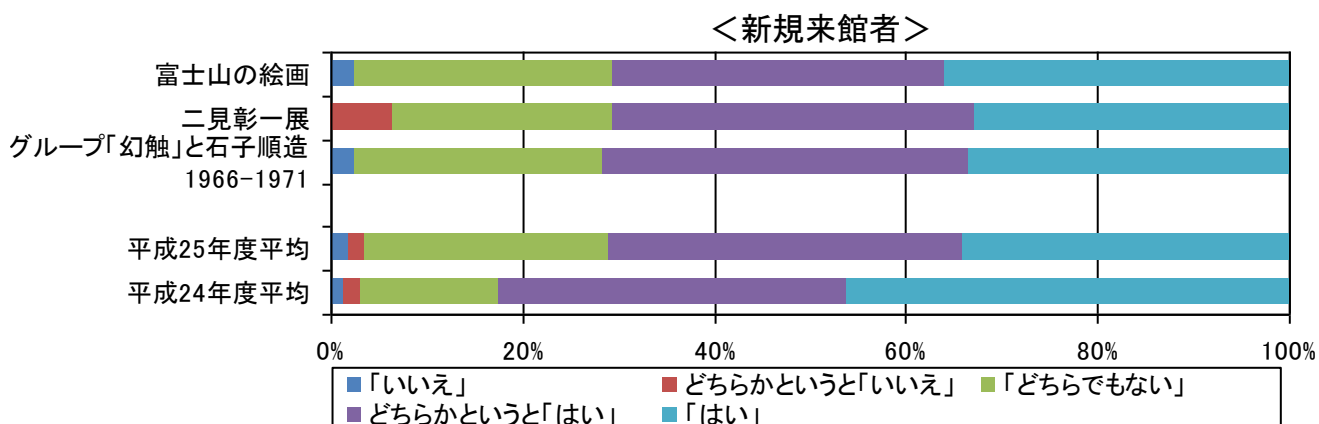
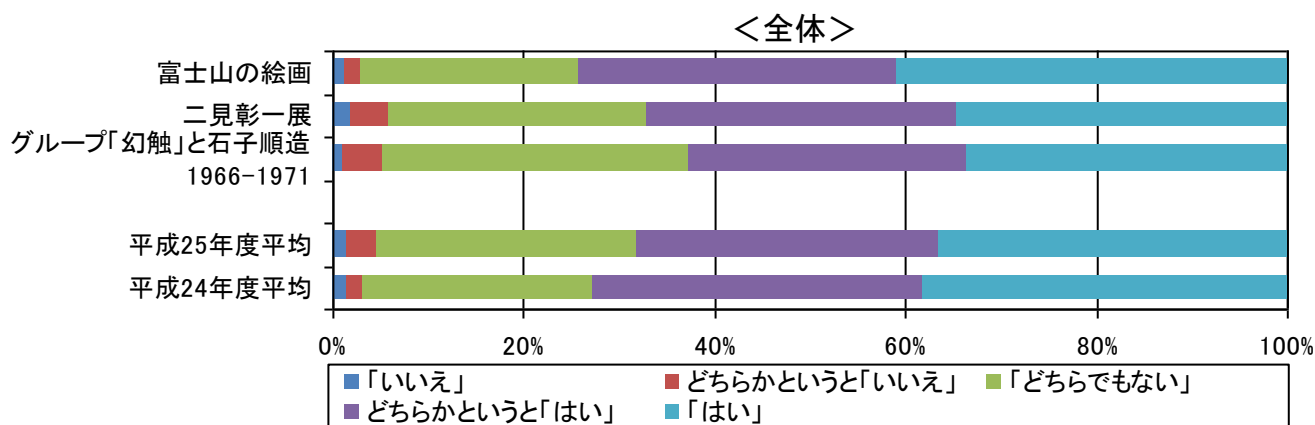
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	315	1.3	1.6	22.9	33.3	41.0
	二見彰一展	258	1.9	3.9	27.1	32.6	34.5
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	292	1.0	4.1	32.2	29.1	33.6
経 年	平成 25 年度全体		1.4	3.1	27.3	31.7	36.5
	平成 24 年度全体		1.5	1.6	24.1	34.6	38.2
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	273	1.1	2.6	23.4	36.3	36.6
	江戸絵画の楽園展	268	1.9	0.7	25.7	31.3	40.3
	川村清雄展	273	1.5	1.5	23.1	36.3	37.7

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	78	2.6	0.0	26.9	34.6	35.9
	二見彰一展	61	0.0	6.6	23.0	37.7	32.8
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	81	2.5	0.0	25.9	38.3	33.3
経 年	平成 25 年度全体		1.8	1.8	25.5	36.8	34.1
	平成 24 年度全体		1.3	1.9	14.4	36.3	46.3
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	70	2.9	1.4	17.1	31.4	47.1
	江戸絵画の楽園展	43	0.0	0.0	14.0	41.9	44.2
	川村清雄展	47	0.0	4.3	10.6	38.3	46.8

単位：％



この展覧会のことを誰かに伝え、来館を勧めたいかについて〈全体〉は、平成 25 年度は「どちらかという」と「はい」「はい」を合わせた肯定的評価が 68.2%となっている。肯定的評価は『富士山の絵画』74.3%、『二見彰一展』67.1%、『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』62.7%の順になっている。一方、「いいえ」「どちらかという」と「いいえ」を合わせた否定的評価は 4.5%となっている。

〈新規来館者〉は、平成 25 年度は肯定的評価が 70.9%となっている。肯定的評価は『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』71.6%、『富士山の絵画』『二見彰一展』70.5%の順になっている。否定的評価は 3.6%となっている。

⑤ 当美術館に関する情報は入手しやすいか

全体

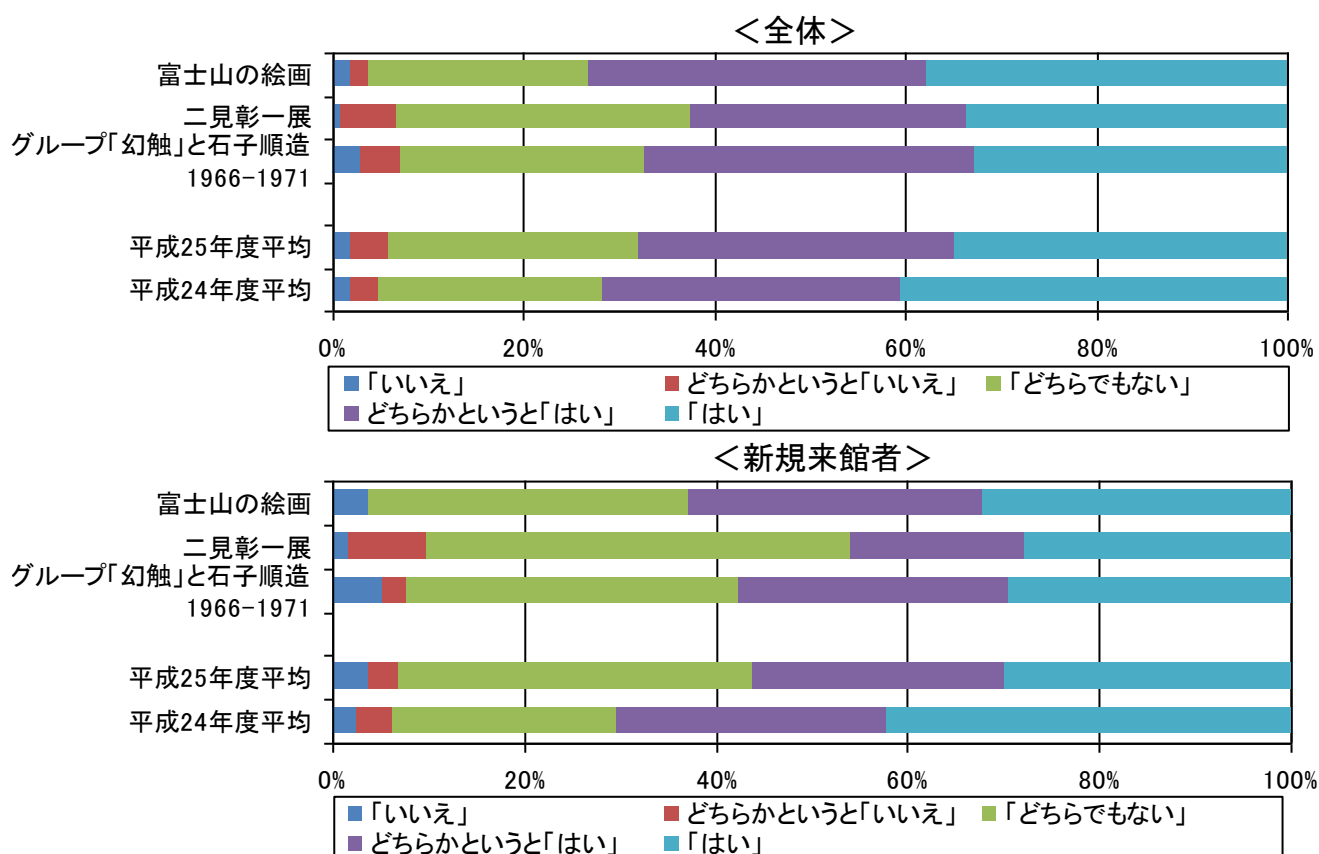
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	312	1.9	1.9	23.1	35.3	37.8
	二見彰一展	253	0.8	5.9	30.8	28.9	33.6
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	279	2.9	4.3	25.4	34.8	32.6
経 年	平成 25 年度全体		1.9	3.9	26.2	33.2	34.8
	平成 24 年度全体		1.9	3.0	23.5	31.1	40.5
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	269	2.6	2.6	23.4	30.5	40.9
	江戸絵画の楽園展	265	1.9	3.8	23.4	32.5	38.5
	川村清雄展	261	1.1	2.7	23.8	30.3	42.1

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	78	3.8	0.0	33.3	30.8	32.1
	二見彰一展	61	1.6	8.2	44.3	18.0	27.9
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	78	5.1	2.6	34.6	28.2	29.5
経 年	平成 25 年度全体		3.7	3.2	36.9	26.3	30.0
	平成 24 年度全体		2.5	3.8	23.3	28.3	42.1
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	69	2.9	1.4	23.2	27.5	44.9
	江戸絵画の楽園展	43	4.7	7.0	27.9	27.9	32.6
	川村清雄展	47	0.0	4.3	19.1	29.8	46.8

単位：％



当美術館に関する情報は入手しやすいかについて〈全体〉は、平成 25 年度は「どちらかというと「はい」「はい」を合わせた肯定的評価が 68.0%となっている。肯定的評価は『富士山の絵画』73.1%、『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』67.4%、『二見彰一展』62.5%の順になっている。一方、「いいえ」「どちらかというと「いいえ」を合わせた否定的評価は 5.8%となっている。

〈新規来館者〉は、平成 25 年度は肯定的評価が 56.3%となっている。肯定的評価は『富士山の絵画』62.9%、『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』57.7%、『二見彰一展』45.9%の順になっている。否定的評価は 6.9%となっている。

評価指標 24

当館に関する情報が入手しやすいとする人の割合

平成 25 年度	富士山の絵画	73.1
	二見彰一展	62.5
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	67.4
経 年	平成 25 年度全体	68.0
	平成 24 年度全体	71.6
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	71.4
	江戸絵画の楽園展	71.0
	川村清雄展	72.4

単位：％

⑥ー１ 利用交通機関

全体

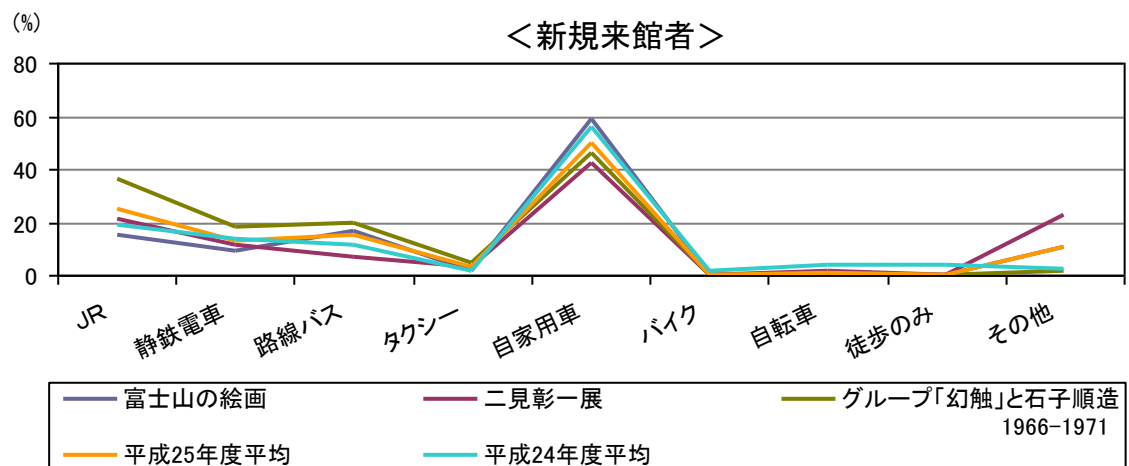
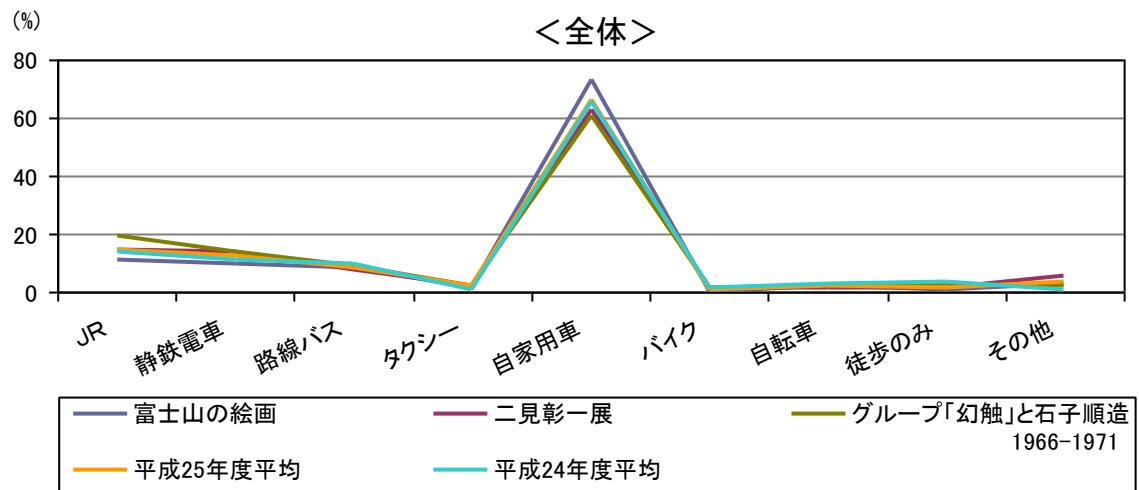
		件数 (件)	J R	静 鉄 電 車	路 線 バ ス	タ ク シ ー	自 家 用 車	バ イ ク	自 転 車	徒 歩 の み	そ の 他
平成 25 年度	富士山の絵画	318	10.7	9.4	8.2	1.6	73.3	0.3	2.2	0.9	2.8
	二見彰一展	260	14.2	13.5	7.7	1.9	63.1	1.2	1.2	1.5	5.8
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	294	19.4	13.9	9.2	2.0	60.5	1.4	2.0	2.7	2.0
経 年	平成 25 年度全体		14.7	12.2	8.4	1.8	65.9	0.9	1.8	1.7	3.4
	平成 24 年度全体		13.5	11.1	10.0	1.0	65.4	1.2	2.7	3.4	0.9
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	275	11.3	10.5	7.3	1.1	66.9	0.7	2.9	3.3	0.7
	江戸絵画の楽園展	265	13.2	12.5	10.6	1.1	62.6	1.9	3.8	4.2	1.5
	川村清雄展	273	16.1	10.3	12.1	0.7	66.7	1.1	1.5	2.9	0.4

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	J R	静 鉄 電 車	路 線 バ ス	タ ク シ ー	自 家 用 車	バ イ ク	自 転 車	徒 歩 の み	そ の 他
平成 25 年度	富士山の絵画	78	15.4	9.0	16.7	1.3	59.0	0.0	0.0	0.0	10.3
	二見彰一展	61	21.3	11.5	6.6	3.3	42.6	0.0	1.6	0.0	23.0
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	82	36.6	18.3	19.5	4.9	46.3	0.0	0.0	0.0	1.2
経 年	平成 25 年度全体		24.9	13.1	14.9	3.2	49.8	0.0	0.5	0.0	10.4
	平成 24 年度全体		19.1	13.4	11.5	1.3	56.1	1.3	3.8	3.8	1.9
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	70	12.9	10.0	5.7	1.4	62.9	1.4	2.9	2.9	2.9
	江戸絵画の楽園展	41	14.6	19.5	12.2	0.0	58.5	0.0	7.3	2.4	2.4
	川村清雄展	46	32.6	13.0	19.6	2.2	43.5	2.2	2.2	6.5	0.0

単位：％



利用交通機関について〈全体〉は、平成25年度は「自家用車」が65.9%と最も高く、次いで「JR」14.7%、「静鉄電車」12.2%の順になっている。

〈新規来館者〉は、平成24年度は「自家用車」が49.8%と最も高く、次いで「JR」24.9%、「路線バス」14.9%の順になっている。

⑥ー２ 公共交通機関の利用はスムーズであったか

全体

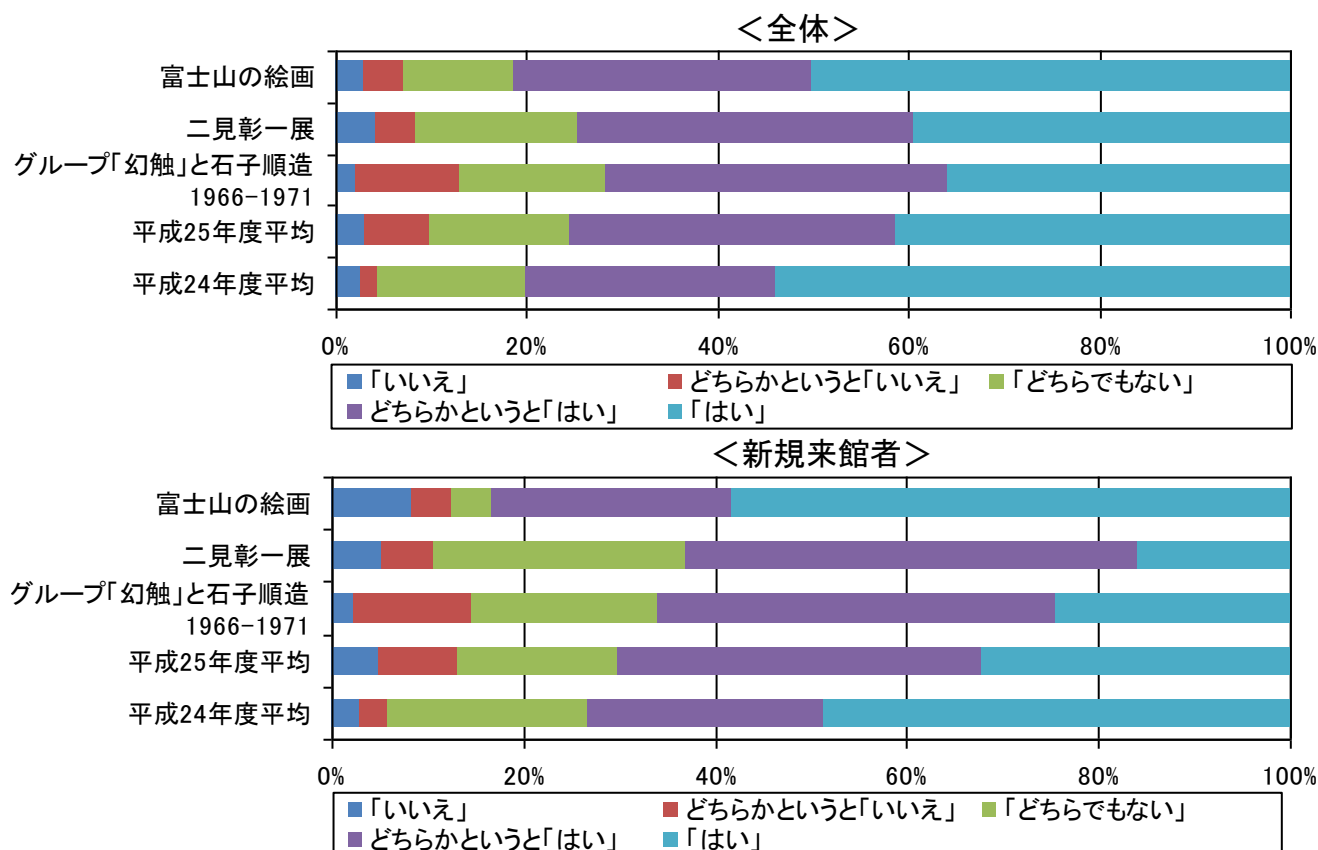
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	70	2.9	4.3	11.4	31.4	50.0
	二見彰一展	71	4.2	4.2	16.9	35.2	39.4
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	92	2.2	10.9	15.2	35.9	35.9
経 年	平成 25 年度全体		3.0	6.9	14.6	34.3	41.2
	平成 24 年度全体		2.5	1.9	15.5	26.2	53.8
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	227	2.6	1.8	18.9	25.1	51.5
	江戸絵画の楽園展	219	3.2	1.8	14.2	26.0	54.8
	川村清雄展	225	1.8	2.2	13.3	27.6	55.1

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	24	8.3	4.2	4.2	25.0	58.3
	二見彰一展	19	5.3	5.3	26.3	47.4	15.8
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	41	2.4	12.2	19.5	41.5	24.4
経 年	平成 25 年度全体		4.8	8.3	16.7	38.1	32.1
	平成 24 年度全体		2.9	2.9	21.0	24.6	48.6
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	61	1.6	1.6	21.3	24.6	50.8
	江戸絵画の楽園展	36	5.6	0.0	19.4	30.6	44.4
	川村清雄展	41	2.4	7.3	22.0	19.5	48.8

単位：％



公共交通機関の利用はスムーズであったかについて〈全体〉は、平成 25 年度は「どちらかという はい」「はい」を合わせた肯定的評価が 75.5%となっている。肯定的評価は『富士山の絵画』81.4%、『二見彰一展』74.6%、『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』71.8%の順になっている。一方、「いいえ」「どちらかというといいえ」を合わせた否定的評価は 9.9%となっている。

〈新規来館者〉は、平成 25 年度は肯定的評価が 70.2%となっている。肯定的評価は『富士山の絵画』83.3%、『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』65.9%、『二見彰一展』63.2%の順になっている。否定的評価は 13.1%となっている。

評価指標 35

公共交通機関で来館した人のアクセス満足度

美術館カルテ 26

公共交通機関で来館した人のアクセス満足度

平成 25 年度	富士山の絵画	81.4
	二見彰一展	74.6
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	71.8
経 年	平成 25 年度全体	75.5
	平成 24 年度全体	80.0
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	76.6
	江戸絵画の楽園展	80.8
	川村清雄展	82.7

単位：％

⑥ー３ 自家用車の利用はスムーズであったか
全体

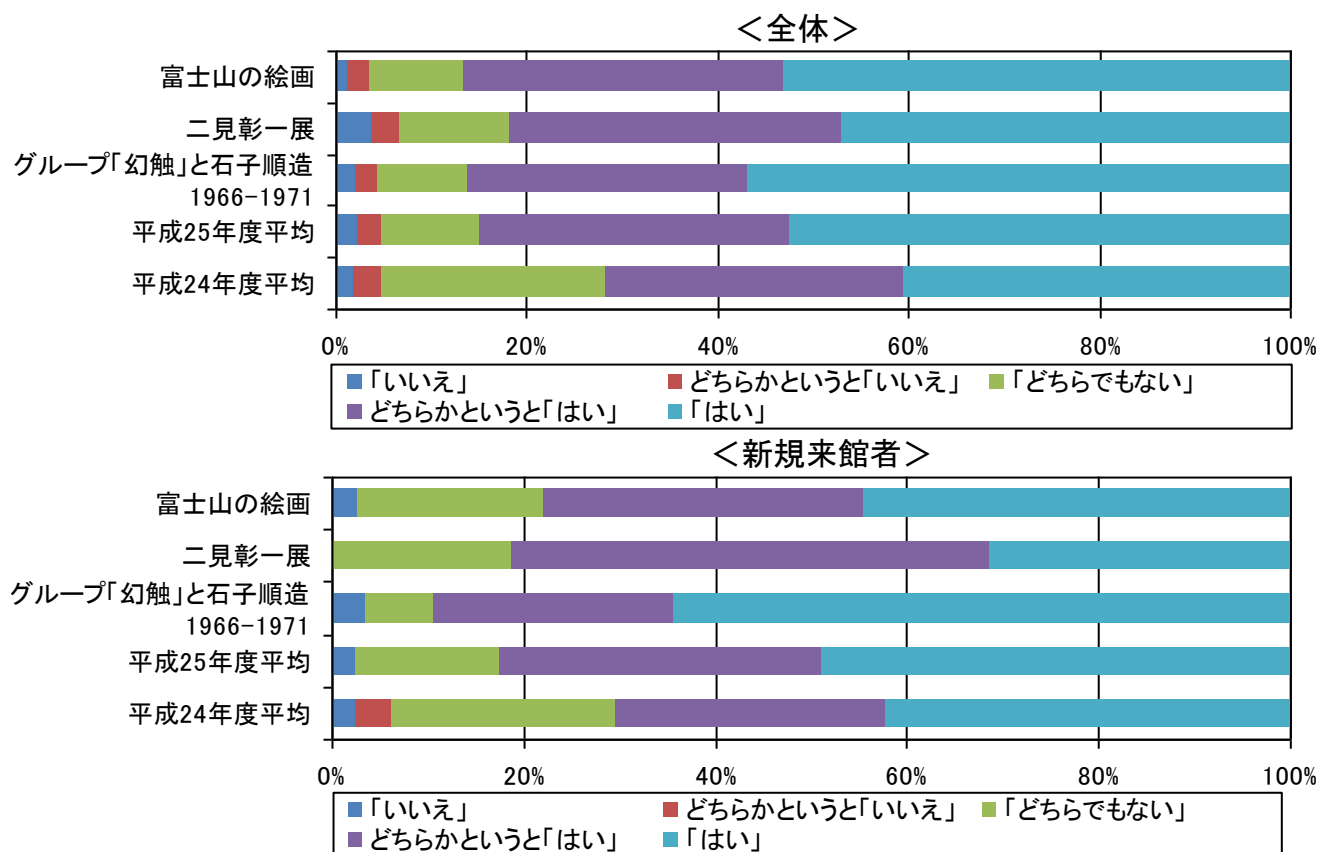
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	164	1.2	2.4	9.8	33.5	53.0
	二見彰一展	132	3.8	3.0	11.4	34.8	47.0
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	137	2.2	2.2	9.5	29.2	56.9
経 年	平成 25 年度全体		2.3	2.5	10.2	32.6	52.4
	平成 24 年度全体		1.2	1.4	14.3	26.1	57.0
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	147	2.7	2.0	20.4	21.1	53.7
	江戸絵画の楽園展	131	0.8	1.5	12.2	29.0	56.5
	川村清雄展	143	0.0	0.7	9.8	28.7	60.8

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	36	2.8	0.0	19.4	33.3	44.4
	二見彰一展	16	0.0	0.0	18.8	50.0	31.3
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	28	3.6	0.0	7.1	25.0	64.3
経 年	平成 25 年度全体		2.5	0.0	15.0	33.8	48.8
	平成 24 年度全体		0.0	1.3	19.2	25.6	53.8
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	39	0.0	2.6	23.1	20.5	53.8
	江戸絵画の楽園展	20	0.0	0.0	10.0	35.0	55.0
	川村清雄展	19	0.0	0.0	21.1	26.3	52.6

単位：％



自家用車の利用はスムーズであったかについて〈全体〉は、平成 25 年度は「どちらかというと「はい」「はい」を合わせた肯定的評価が 85.0%となっている。肯定的評価は『富士山の絵画』86.5%、『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』86.1%、『二見彰一展』81.8%の順になっている。一方、「いいえ」「どちらかというと「いいえ」を合わせた否定的評価は 4.8%となっている。

〈新規来館者〉は、平成 25 年度は肯定的評価が 82.6%となっている。肯定的評価は『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』89.3%、『二見彰一展』81.3%、『富士山の絵画』77.7%の順になっている。否定的評価は 2.5%となっている。

評価指標 35

自家用車で来館した人のアクセス満足度

美術館カルテ 27

自家用車で来館した人のアクセス満足度

平成 25 年度	富士山の絵画	86.5
	二見彰一展	81.8
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	86.1
経 年	平成 25 年度全体	85.0
	平成 24 年度全体	83.1
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	74.8
	江戸絵画の楽園展	85.5
	川村清雄展	89.5

単位：％

⑦ 全体的に見て、今回の来館は満足いただけたか（総合満足度）

全体

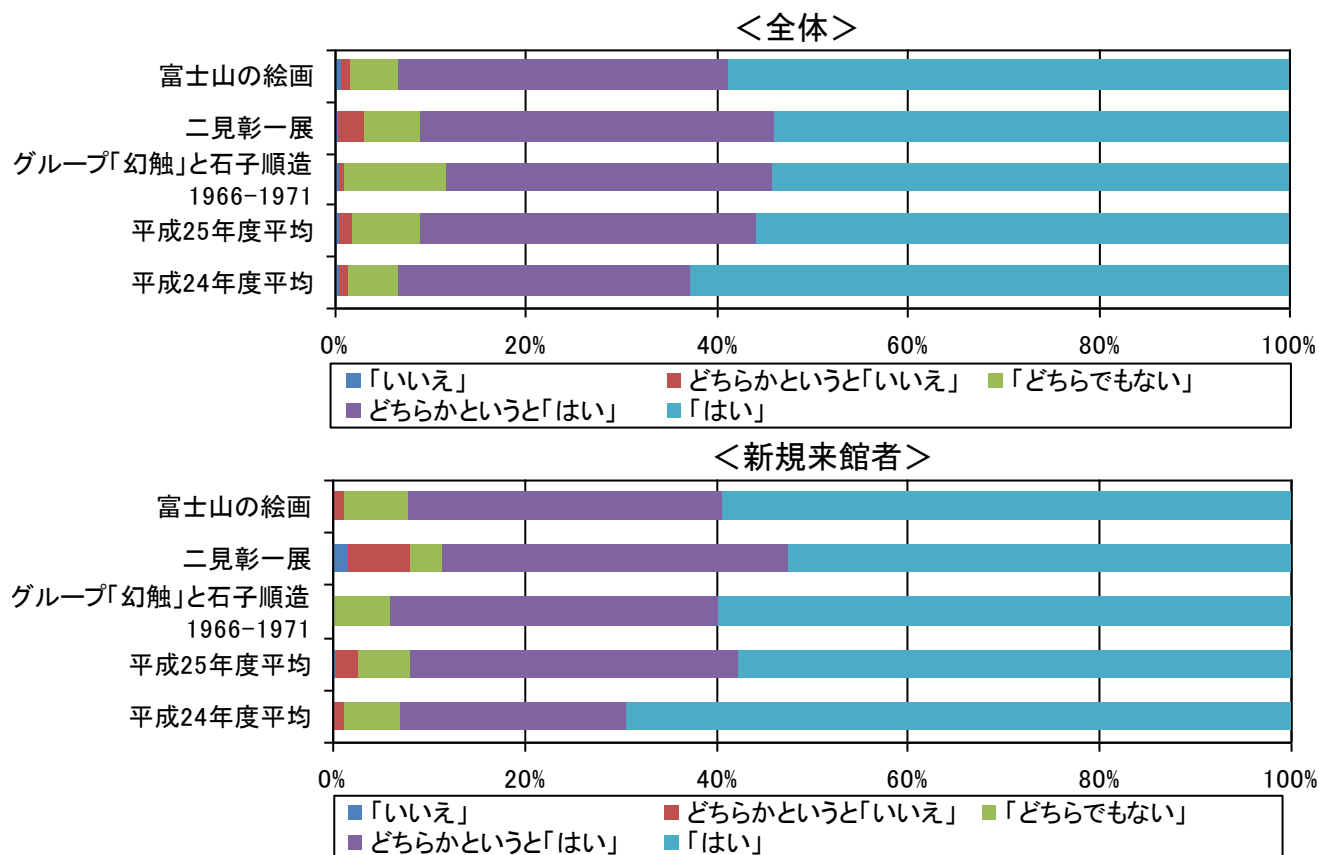
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	315	0.6	1.0	5.1	34.6	58.7
	二見彰一展	256	0.4	2.7	5.9	37.1	53.9
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	288	0.3	0.7	10.8	34.0	54.2
経 年	平成 25 年度全体		0.5	1.4	7.2	35.2	55.8
	平成 24 年度全体		0.4	1.1	5.2	30.6	62.7
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	272	0.0	1.8	4.8	27.6	65.8
	江戸絵画の楽園展	268	0.7	1.1	6.0	30.6	61.6
	川村清雄展	264	0.4	0.4	4.9	33.7	60.6

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	76	0.0	1.3	6.6	32.9	59.2
	二見彰一展	61	1.6	6.6	3.3	36.1	52.5
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	82	0.0	0.0	6.1	34.1	59.8
経 年	平成 25 年度全体		0.5	2.3	5.5	34.2	57.5
	平成 24 年度全体		0.0	1.3	5.7	23.6	69.4
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	69	0.0	1.4	5.8	24.6	68.1
	江戸絵画の楽園展	42	0.0	0.0	9.5	21.4	69.0
	川村清雄展	46	0.0	2.2	2.2	23.9	71.7

単位：％



総合満足度について〈全体〉は、平成 25 年度は「どちらかという はい」「はい」を合わせた肯定的評価が 91.0%となっている。肯定的評価は『富士山の絵画』93.3%、『二見彰一展』91.0%、『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』88.2%の順になっている。一方、「いいえ」「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は 1.9%となっている。

〈新規来館者〉は、平成 25 年度は肯定的評価が 91.7%となっている。肯定的評価は『グループ「幻触」と石子順造 1966-1971』93.9%、『富士山の絵画』92.1%、『二見彰一展』88.6%の順になっている。否定的評価は 2.8%となっている。

美術館カルテ 5

展示会の満足度

美術館カルテ 52

展示会における新規観覧者の満足度

		展示会の満足度	展示会の満足度 (新規来館者)
平成 25 年度	富士山の絵画	93.3	92.1
	二見彰一展	91.0	88.6
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	88.2	93.9
経 年	平成 25 年度全体	91.0	91.7
	平成 24 年度全体	93.3	93.0
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	93.4	92.7
	江戸絵画の楽園展	92.2	90.4
	川村清雄展	94.3	95.6

単位：％

⑧ 「風景の美術館」であることを知っているか

全体

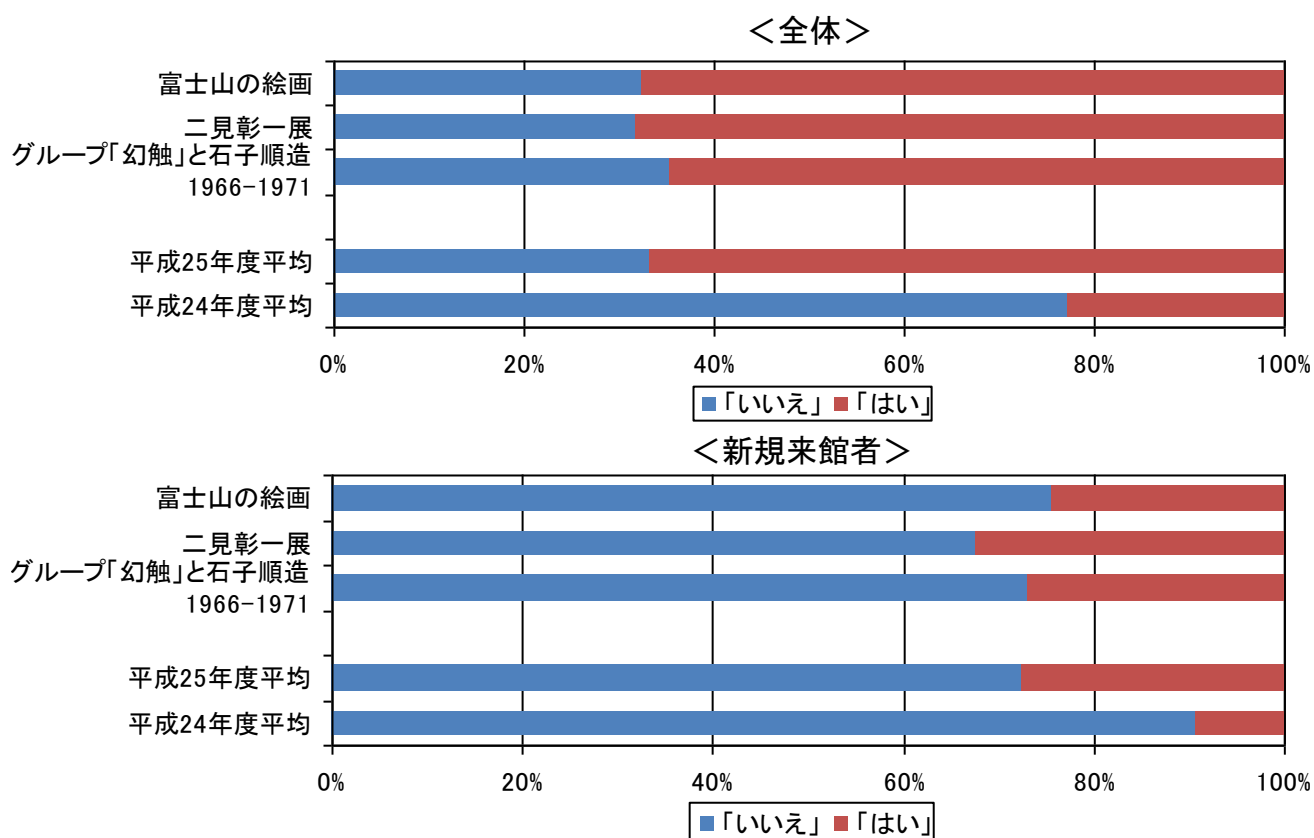
		件数 (件)	「いいえ」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	318	32.4	67.6
	二見彰一展	261	31.8	68.2
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	292	35.3	64.7
経 年	平成 25 年度全体		33.2	66.8
	平成 24 年度全体		77.3	22.7
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	265	81.5	18.5
	江戸絵画の楽園展	260	70.8	29.2
	川村清雄展	258	79.5	20.5

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	「はい」
平成 25 年度	富士山の絵画	78	75.6	24.4
	二見彰一展	62	67.7	32.3
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	82	73.2	26.8
経 年	平成 25 年度全体		72.5	27.5
	平成 24 年度全体		90.7	9.3
平成 24 年度	ユベール・ロベール展	66	90.9	9.1
	江戸絵画の楽園展	43	86.0	14.0
	川村清雄展	42	95.2	4.8

単位：％



「風景とロダンの美術館」の認知について〈全体〉は、平成25年度は「はい」66.8%、「いいえ」33.2%となっている。

〈新規来館者〉は、平成25年度は「はい」27.5%、「いいえ」72.5%となっている。

美術館カルテ 23

風景の美術館としての認知度

平成25年度	富士山の絵画	67.6
	二見彰一展	68.2
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	64.7
経年	平成25年度全体	66.8
	平成24年度全体	22.7
平成24年度	ユベール・ロベール展	18.5
	江戸絵画の楽園展	29.2
	川村清雄展	20.5

単位：％

5 レストランアンケート結果

(1) 実施数 (回答数)

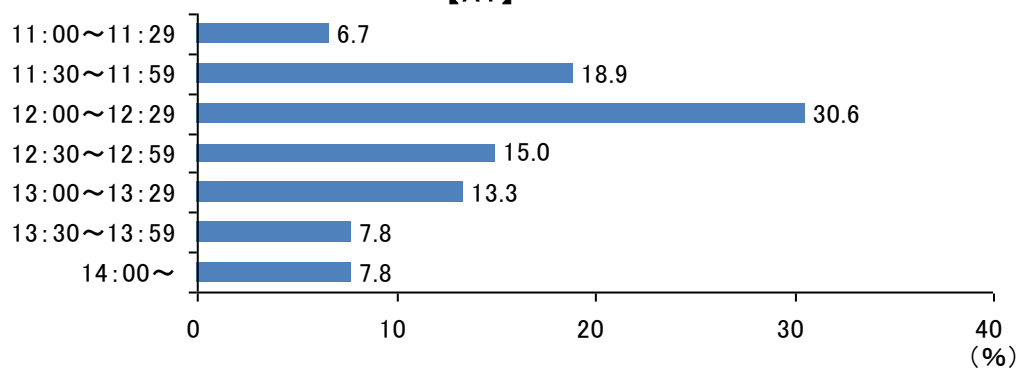
富士山の絵画	79 件
二見彰一展	48 件
グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	53 件
合計	180 件

(2) アンケート結果

A 1 入店時刻

		全 体	11 : 00 ~11 : 29	11 : 30 ~11 : 59	12 : 00 ~12 : 29	12 : 30 ~12 : 59	13 : 00 ~13 : 29	13 : 30 ~13 : 59	14 : 00 ~
平成 25 年度	回答数 (件)	180	12	34	55	27	24	14	14
	割合 (%)	100.0	6.7	18.9	30.6	15.0	13.3	7.8	7.8
平成 24 年度	回答数 (件)	158	19	34	51	28	11	9	6
	割合 (%)	100.0	12.0	21.5	32.3	17.7	7.0	5.7	3.8

【A1】



A 2 注文内容

注文した料理	回答数 (件)	注文した料理	回答数 (件)
エスタセット	101 件	ランチセット	3 件
ロダンセット	18 件	ケーキ	2 件
本日のパスタ	18 件	デザートセット	2 件
県産ビーフとポークのハンバーグステーキ	10 件	本日の鮮魚のアクアパッツァ	1 件
コーヒー	9 件	アイス	1 件
エスタ特製海老・カニクリームコロッケとオムライス	7 件	サラダ	1 件
ミュゼスペシャリテ	7 件	スープ	1 件
ケーキセット	6 件	ポタージュ	1 件
静岡牛ランプ肉のグリル	6 件	カフェオレ	1 件
お子様オムライス	4 件	ビール	1 件
オードブル盛り合わせ	4 件	ワイン	1 件

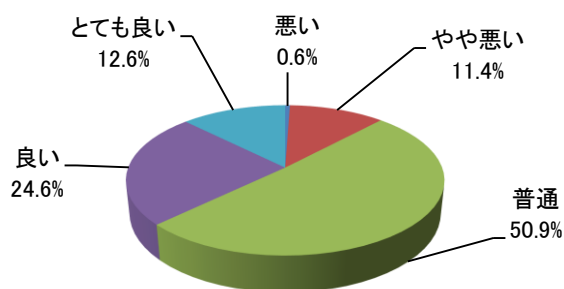
A 3 案内表示のわかりやすさ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 25 年度	回答数（件）	175	1	20	89	43	22
	割合（％）	100.0	0.6	11.4	50.9	24.6	12.6
平成 24 年度	回答数（件）	154	5	7	59	57	26
	割合（％）	100.0	3.2	4.5	38.3	37.0	16.9

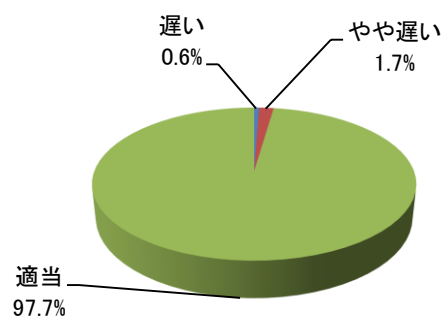
A 4 席に案内するまでの時間

		全体	遅い	やや遅い	適当
平成 25 年度	回答数（件）	175	1	3	171
	割合（％）	100.0	0.6	1.7	97.7
平成 24 年度	回答数（件）	152	3	1	148
	割合（％）	100.0	2.0	0.7	97.4

【A3】



【A4】



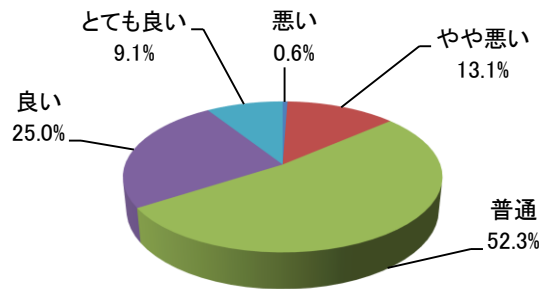
A 5 メニューの種類

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 25 年度	回答数（件）	176	1	23	92	44	16
	割合（％）	100.0	0.6	13.1	52.3	25.0	9.1
平成 24 年度	回答数（件）	157	0	6	61	66	24
	割合（％）	100.0	0.0	3.8	38.9	42.0	15.3

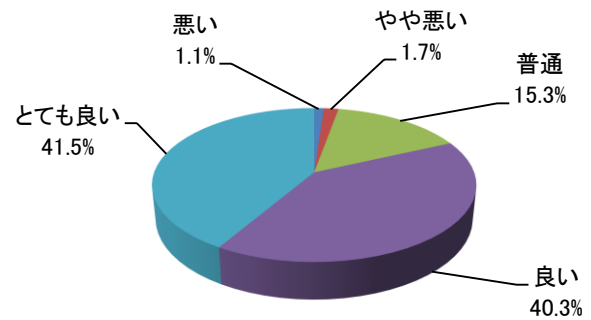
A 6 味

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 25 年度	回答数（件）	176	2	3	27	71	73
	割合（％）	100.0	1.1	1.7	15.3	40.3	41.5
平成 24 年度	回答数（件）	157	0	4	28	75	50
	割合（％）	100.0	0.0	2.5	17.8	47.8	31.8

【A5】



【A6】



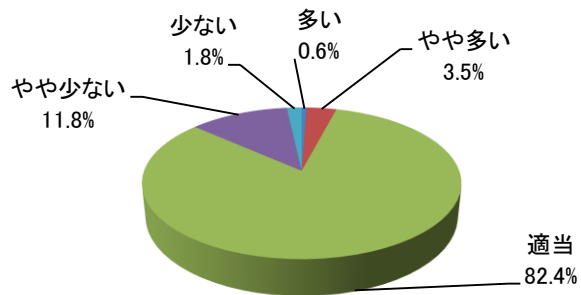
A 7 量

		全体	多い	やや多い	適当	やや少ない	少ない
平成 25年度	回答数(件)	170	1	6	140	20	3
	割合(%)	100.0	0.6	3.5	82.4	11.8	1.8
平成 24年度	回答数(件)	155	2	14	128	10	1
	割合(%)	100.0	1.3	9.0	82.6	6.5	0.6

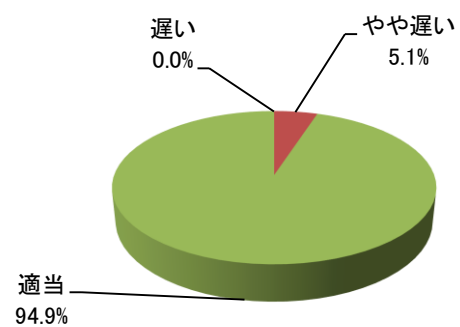
A 8 料理が出るまでの時間

		全体	遅い	やや遅い	適当
平成 25年度	回答数(件)	178	0	9	169
	割合(%)	100.0	0.0	5.1	94.9
平成 24年度	回答数(件)	157	0	8	149
	割合(%)	100.0	0.0	5.1	94.9

【A7】



【A8】



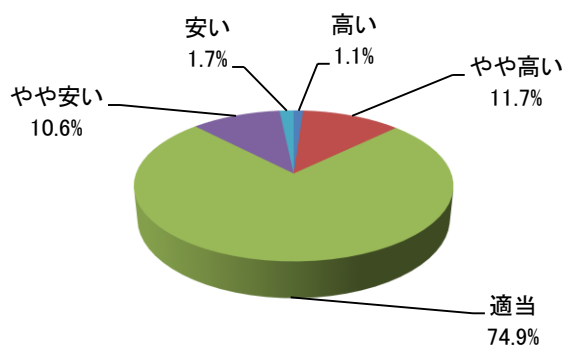
A 9 値段

		全体	高い	やや高い	適当	やや安い	安い
平成 25年度	回答数(件)	179	2	21	134	19	3
	割合(%)	100.0	1.1	11.7	74.9	10.6	1.7
平成 24年度	回答数(件)	158	2	17	123	6	10
	割合(%)	100.0	1.3	10.8	77.8	3.8	6.3

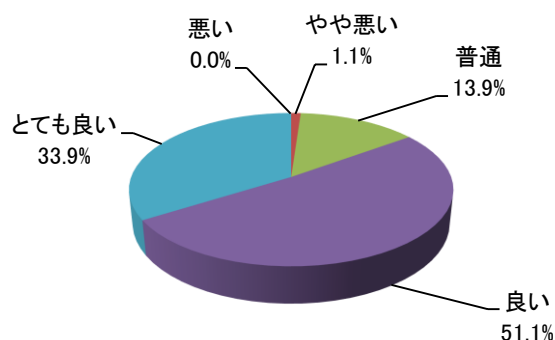
A10 店の雰囲気、清潔さ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 25 年度	回答数（件）	180	0	2	25	92	61
	割合（％）	100.0	0.0	1.1	13.9	51.1	33.9
平成 24 年度	回答数（件）	156	0	2	25	62	67
	割合（％）	100.0	0.0	1.3	16.0	39.7	42.9

【A9】



【A10】



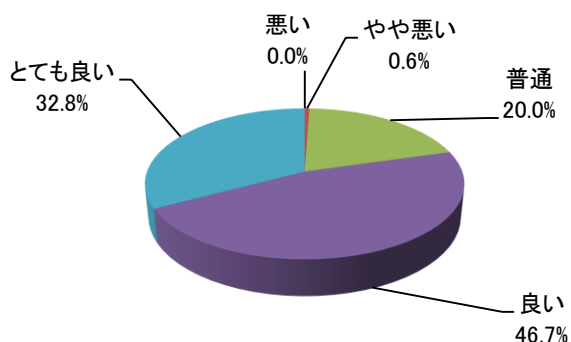
A11 従業員の言葉遣いや態度

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 25 年度	回答数（件）	180	0	1	36	84	59
	割合（％）	100.0	0.0	0.6	20.0	46.7	32.8
平成 24 年度	回答数（件）	157	3	3	25	73	53
	割合（％）	100.0	1.9	1.9	15.9	46.5	33.8

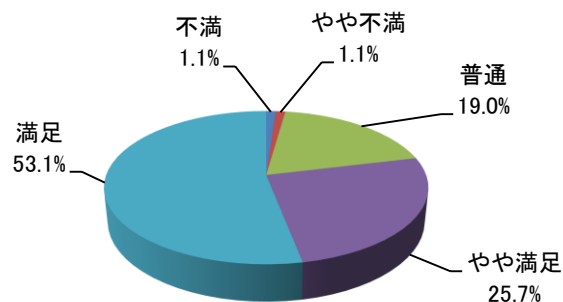
A12 満足度

		全体	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
平成 25 年度	回答数（件）	179	2	2	34	46	95
	割合（％）	100.0	1.1	1.1	19.0	25.7	53.1
平成 24 年度	回答数（件）	156	0	5	25	39	87
	割合（％）	100.0	0.0	3.2	16.0	25.0	55.8

【A11】



【A12】



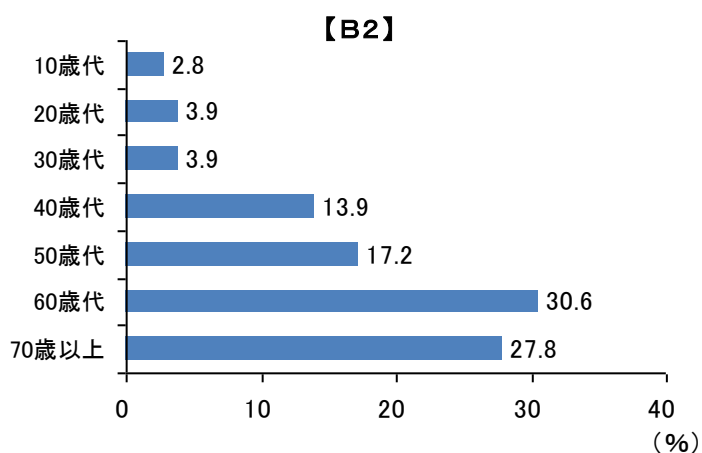
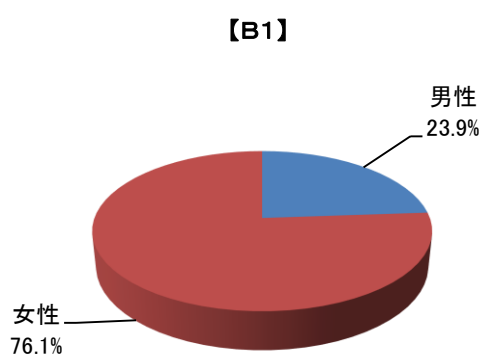
A13 不満や改善点（略）

B 1 性 別

		全体	男性	女性
平成 25 年度	回答数（件）	180	43	137
	割合（％）	100.0	23.9	76.1
平成 24 年度	回答数（件）	158	57	101
	割合（％）	100.0	36.1	63.9

B 2 年 齢

		全体	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
平成 25 年度	回答数（件）	180	5	7	7	25	31	55	50
	割合（％）	100.0	2.8	3.9	3.9	13.9	17.2	30.6	27.8
平成 24 年度	回答数（件）	158	9	5	14	27	30	46	27
	割合（％）	100.0	5.7	3.2	8.9	17.1	19.0	29.1	17.1

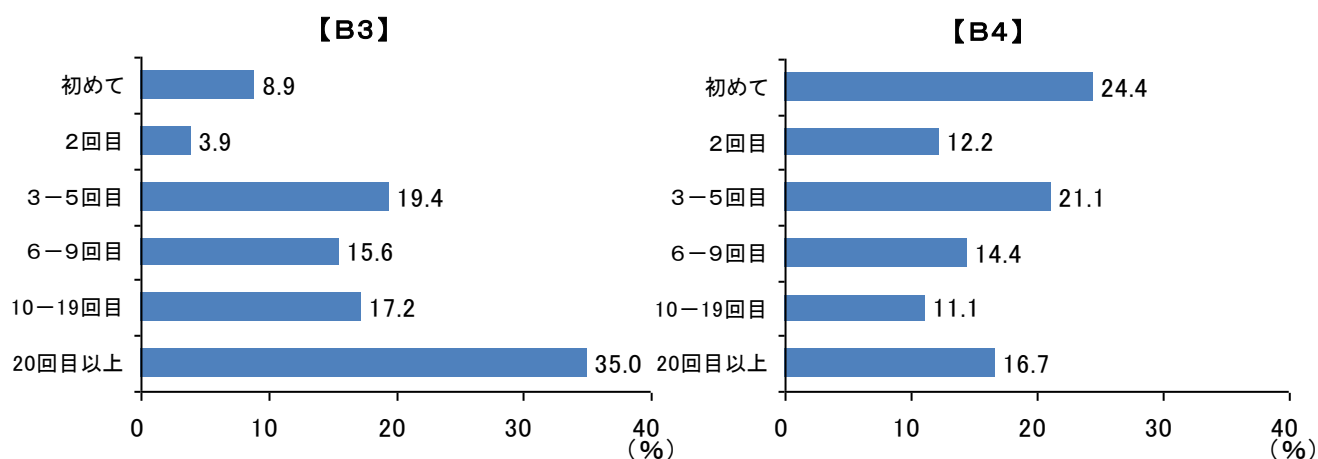


B 3 来館回数

		全体	初めて	2 回目	3－5 回目	6－9 回目	10－19 回目	20 回目以上
平成 25 年度	回答数（件）	180	16	7	35	28	31	63
	割合（％）	100.0	8.9	3.9	19.4	15.6	17.2	35.0
平成 24 年度	回答数（件）	158	19	13	21	28	31	46
	割合（％）	100.0	12.0	8.2	13.3	17.7	19.7	29.1

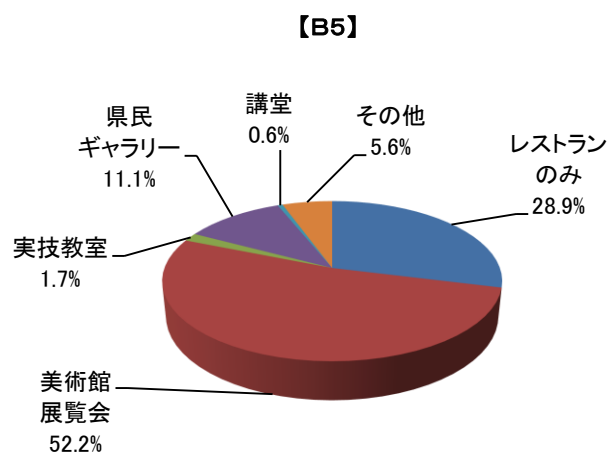
B 4 レストランの利用回数

		全体	初めて	2 回目	3－5 回目	6－9 回目	10－19 回目	20 回目以上
平成 25 年度	回答数（件）	180	44	22	38	26	20	30
	割合（％）	100.0	24.4	12.2	21.1	14.4	11.1	16.7
平成 24 年度	回答数（件）	157	50	15	35	17	17	23
	割合（％）	100.0	31.8	9.6	22.3	10.8	10.8	14.6



B 5 主な来館目的

		全体	レストランのみ	美術館 展覧会	実技教室	県民ギャ ラリー	講堂	その他
平成 25年度	回答数（件）	180	52	94	3	20	1	10
	割合（％）	100.0	28.9	52.2	1.7	11.1	0.6	5.6
平成 24年度	回答数（件）	156	31	107	1	8	0	9
	割合（％）	100.0	19.9	68.6	0.6	5.1	0.0	5.8



6 カフェアンケート結果

(1) 実施数（回答数）

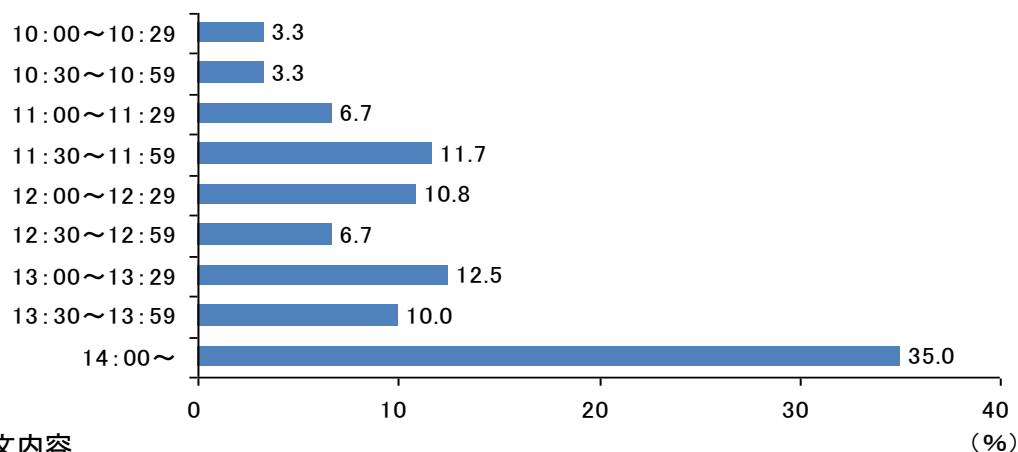
富士山の絵画	49 件
二見彰一展	34 件
グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	37 件
合計	120 件

(2) アンケート結果

A 1 入店時刻

		全体	10:00 ~ 10:29	10:30 ~ 10:59	11:00 ~ 11:29	11:30 ~ 11:59	12:00 ~ 12:29	12:30 ~ 12:59	13:00 ~ 13:29	13:30 ~ 13:59	14:00 ~
平成 25 年度	回答数（件）	120	4	4	8	14	13	8	15	12	42
	割合（％）	100.0	3.3	3.3	6.7	11.7	10.8	6.7	12.5	10.0	35.0
平成 24 年度	回答数（件）	108	0	10	6	16	19	11	11	9	26
	割合（％）	100.0	0.0	9.3	5.6	14.8	17.6	10.2	10.2	8.3	24.1

【A1】



A 2 注文内容

注文した料理	回答数（件）	注文した料理	回答数（件）
コーヒー	57 件	チーズハンバーグサンド	4 件
ケーキ	17 件	シフォンケーキ	4 件
サンドイッチ	15 件	アイ스티ー	3 件
ホットサンド	13 件	グレープフルーツジュース	3 件
パン	10 件	ツナホットサンド	3 件
アイスコーヒー	9 件	クロワッサン	2 件
ドリンクセット	9 件	日替わりサンド	2 件
オレンジジュース	8 件	シナモンロール	1 件
紅茶	8 件	スモークサーモンとポテトサラダのクロワッサンサンド	1 件
カフェラテ	7 件	ペッパーポークとポテトサラダのベーグルサンド	1 件
ミックスチーズサンド	7 件	ペッパーポークホットサンド	1 件
プリン	6 件	ポークデニッシュ	1 件
県産豚のリエット	5 件	ミルクティー	1 件
ジュース	4 件	レモンティー	1 件

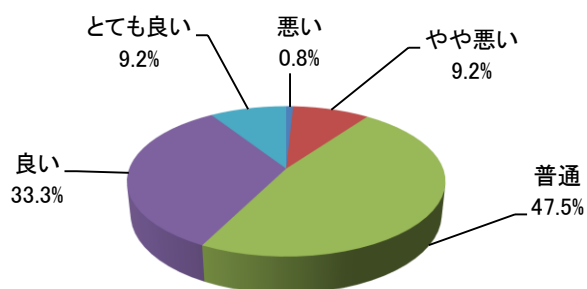
A 3 案内表示のわかりやすさ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 25 年度	回答数（件）	120	1	11	57	40	11
	割合（％）	100.0	0.8	9.2	47.5	33.3	9.2
平成 24 年度	回答数（件）	107	0	4	50	37	16
	割合（％）	100.0	0.0	3.7	46.7	34.6	15.0

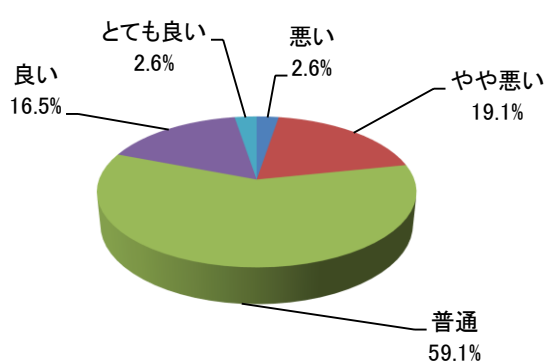
A 4 メニューの種類

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 25 年度	回答数（件）	115	3	22	68	19	3
	割合（％）	100.0	2.6	19.1	59.1	16.5	2.6
平成 24 年度	回答数（件）	107	0	9	64	26	8
	割合（％）	100.0	0.0	8.4	59.8	24.3	7.5

【A3】



【A4】

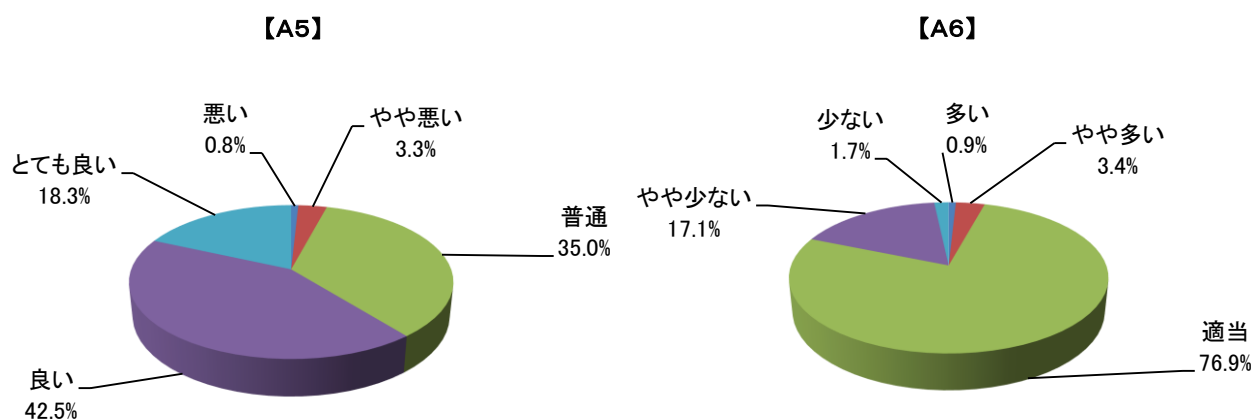


A 5 味

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 25 年度	回答数（件）	120	1	4	42	51	22
	割合（％）	100.0	0.8	3.3	35.0	42.5	18.3
平成 24 年度	回答数（件）	107	0	3	30	49	25
	割合（％）	100.0	0.0	2.8	28.0	45.8	23.4

A 6 量

		全体	多い	やや多い	適当	やや少ない	少ない
平成 25 年度	回答数（件）	117	1	4	90	20	2
	割合（％）	100.0	0.9	3.4	76.9	17.1	1.7
平成 24 年度	回答数（件）	107	0	0	90	16	1
	割合（％）	100.0	0.0	0.0	84.1	15.0	0.9

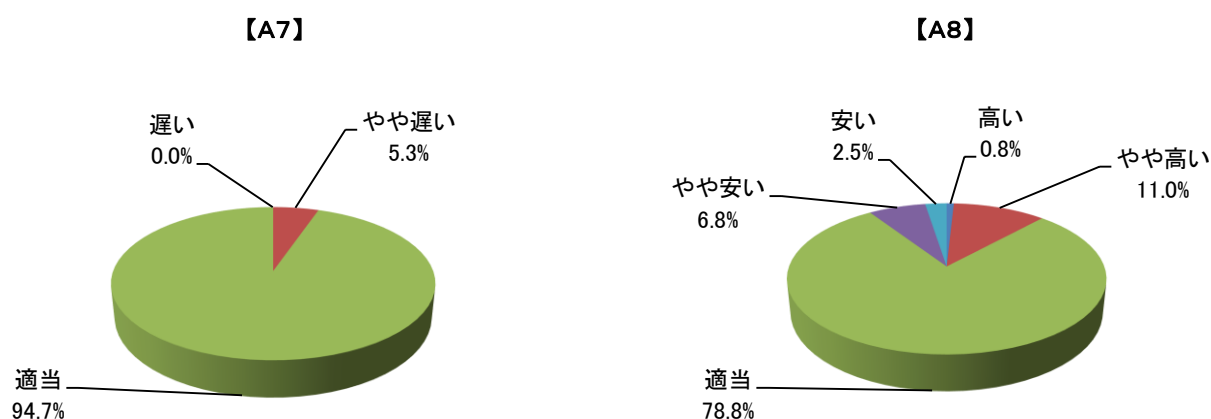


A 7 料理が出るまでの時間

		全体	遅い	やや遅い	適当
平成 25 年度	回答数 (件)	113	0	6	107
	割合 (%)	100.0	0.0	5.3	94.7
平成 24 年度	回答数 (件)	107	1	2	104
	割合 (%)	100.0	0.9	1.9	97.2

A 8 値段

		全体	高い	やや高い	適当	やや安い	安い
平成 25 年度	回答数 (件)	118	1	13	93	8	3
	割合 (%)	100.0	0.8	11.0	78.8	6.8	2.5
平成 24 年度	回答数 (件)	107	0	10	83	9	5
	割合 (%)	100.0	0.0	9.3	77.6	8.4	4.7



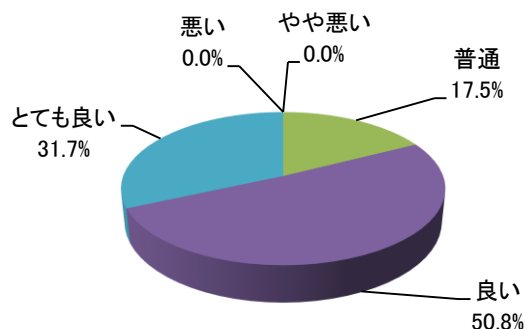
A 9 店の雰囲気、清潔さ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 25 年度	回答数 (件)	120	0	0	21	61	38
	割合 (%)	100.0	0.0	0.0	17.5	50.8	31.7
平成 24 年度	回答数 (件)	108	0	0	17	54	37
	割合 (%)	100.0	0.0	0.0	15.7	50.0	34.3

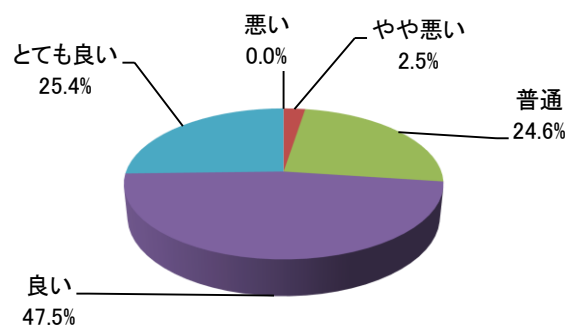
A10 従業員の言葉遣いや態度

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 25 年度	回答数 (件)	118	0	3	29	56	30
	割合 (%)	100.0	0.0	2.5	24.6	47.5	25.4
平成 24 年度	回答数 (件)	107	0	0	22	51	34
	割合 (%)	100.0	0.0	0.0	20.6	47.7	31.8

【A9】



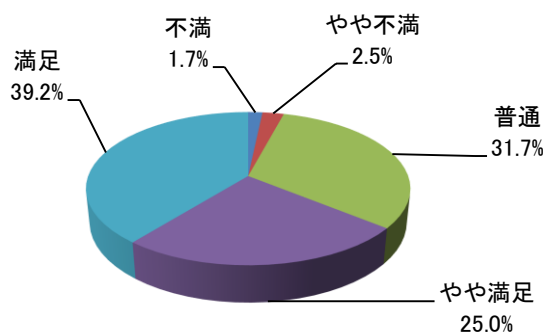
【A10】



A11 満足度

		全体	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
平成 25 年度	回答数 (件)	120	2	3	38	30	47
	割合 (%)	100.0	1.7	2.5	31.7	25.0	39.2
平成 24 年度	回答数 (件)	107	0	1	18	32	56
	割合 (%)	100.0	0.0	0.9	16.8	29.9	52.3

【A11】



A12 不満や改善点 (略)

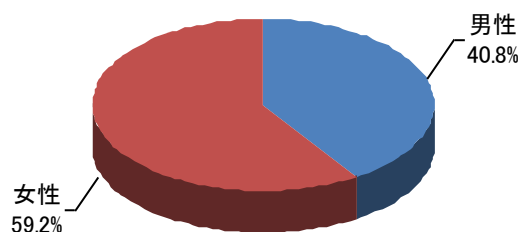
B 1 性 別

		全体	男性	女性
平成 25 年度	回答数 (件)	120	49	71
	割合 (%)	100.0	40.8	59.2
平成 24 年度	回答数 (件)	108	43	65
	割合 (%)	100.0	39.8	60.2

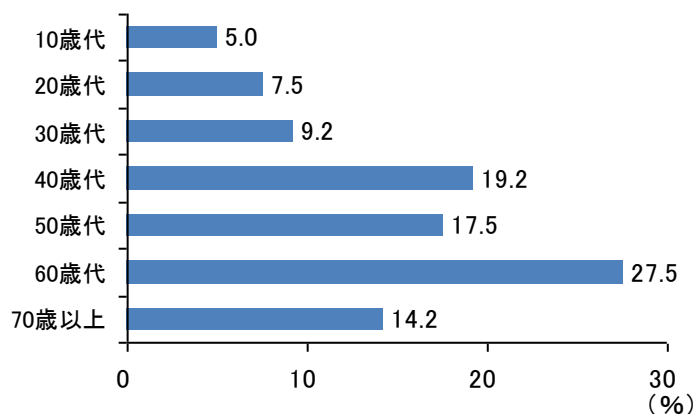
B 2 年 齢

		全体	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
平成 25 年度	回答数 (件)	120	6	9	11	23	21	33	17
	割合 (%)	100.0	5.0	7.5	9.2	19.2	17.5	27.5	14.2
平成 24 年度	回答数 (件)	108	3	10	12	11	25	28	19
	割合 (%)	100.0	2.8	9.3	11.1	10.2	23.1	25.9	17.6

【B1】



【B2】



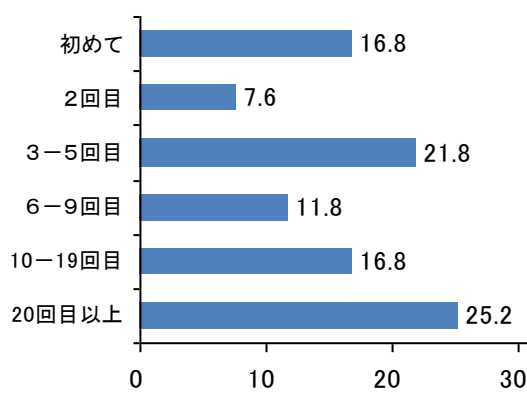
B 3 来館回数

		全体	初めて	2 回目	3－5 回目	6－9 回目	10－19 回目	20 回目以上
平成 25 年度	回答数 (件)	119	20	9	26	14	20	30
	割合 (%)	100.0	16.8	7.6	21.8	11.8	16.8	25.2
平成 24 年度	回答数 (件)	108	15	12	13	18	29	21
	割合 (%)	100.0	13.9	11.1	12.0	16.7	26.9	19.4

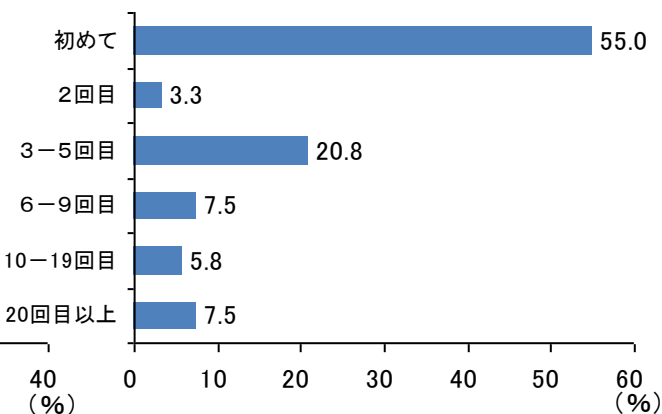
B 4 カフェの利用回数

		全体	初めて	2 回目	3－5 回目	6－9 回目	10－19 回目	20 回目以上
平成 25 年度	回答数 (件)	120	66	4	25	9	7	9
	割合 (%)	100.0	55.0	3.3	20.8	7.5	5.8	7.5
平成 24 年度	回答数 (件)	107	42	22	31	2	5	5
	割合 (%)	100.0	39.3	20.6	29.0	1.9	4.7	4.7

【B3】



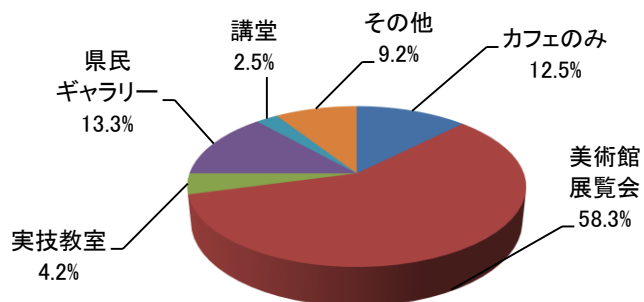
【B4】



B 5 主な来館目的

		全体	カフェのみ	美術館 展覧会	実技教室	県民ギャ ラリー	講堂	その他
平成 25 年度	回答数（件）	120	15	70	5	16	3	11
	割合（％）	100.0	12.5	58.3	4.2	13.3	2.5	9.2
平成 24 年度	回答数（件）	108	4	78	4	11	5	6
	割合（％）	100.0	3.7	72.2	3.7	10.2	4.6	5.6

【B5】



7 ミュージアム・ショップアンケート結果

(1) 実施数(回答数)

富士山の絵画	77 件
二見彰一展	42 件
グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	50 件
合計	169 件

(2) アンケート結果

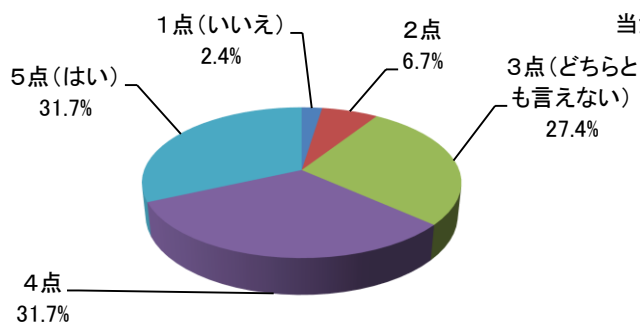
A 1 品揃えの充実

		全体	1 点 (いいえ)	2 点	3 点 (どちらとも言えない)	4 点	5 点 (はい)
平成 25 年度	回答数(件)	164	4	11	45	52	52
	割合(%)	100.0	2.4	6.7	27.4	31.7	31.7
平成 24 年度	回答数(件)	151	2	6	38	61	44
	割合(%)	100.0	1.3	4.0	25.2	40.4	29.1

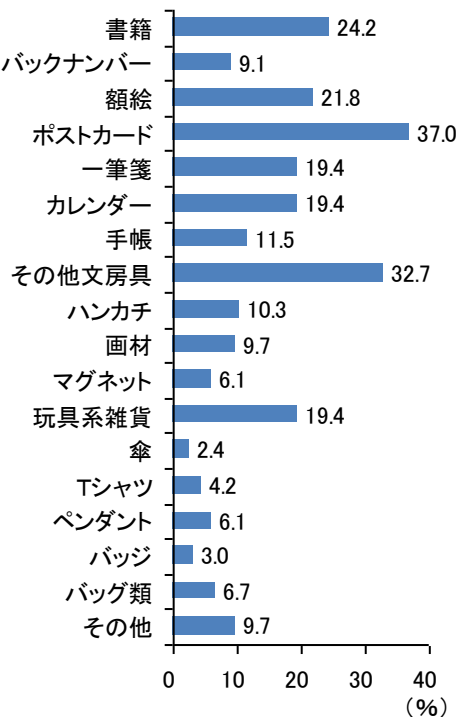
A 2 充実してほしい商品(複数回答)

		全体	書籍	当館 図録 のバ ック ナン バー	額絵	ポス トカ ード	一筆 箋	カレ ンダ ー	手帳	その 他文 房具	ハン カチ
平成 25 年度	回答数(件)	165	40	15	36	61	32	32	19	54	17
	割合(%)	100.0	24.2	9.1	21.8	37.0	19.4	19.4	11.5	32.7	10.3
平成 24 年度	回答数(件)	155	50	19	13	68	24	23		23	10
	割合(%)	100.0	32.3	12.3	8.4	43.9	15.5	14.8		14.8	6.5
			画材	マグ ネッ ト	玩具 系雑 貨	傘	Tシ ャツ	ベン ダン ト	バッ ジ	バッ グ類	その 他
平成 25 年度	回答数(件)		16	10	32	4	7	10	5	11	16
	割合(%)		9.7	6.1	19.4	2.4	4.2	6.1	3.0	6.7	9.7
平成 24 年度	回答数(件)		13	14	27	3	8	11	5		13
	割合(%)		8.4	9.0	17.4	1.9	5.2	7.1	3.2		8.4

【A1】



【A2】



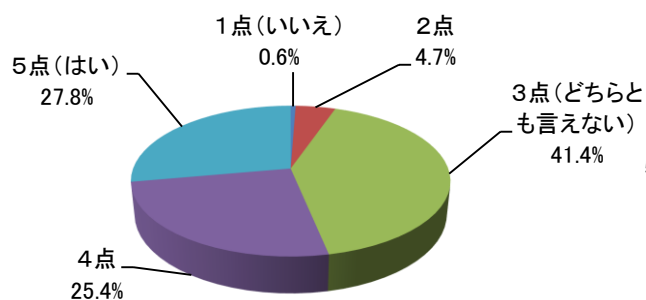
A 3 価格は適当か

		全体	1点 (いいえ)	2点	3点 (どちらとも言えない)	4点	5点 (はい)
平成 25年度	回答数(件)	169	1	8	70	43	47
	割合(%)	100.0	0.6	4.7	41.4	25.4	27.8
平成 24年度	回答数(件)	160	0	4	59	60	37
	割合(%)	100.0	0.0	2.5	36.9	37.5	23.1

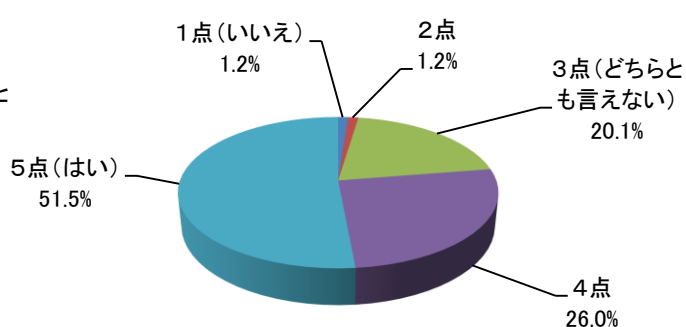
A 4 従業員の対応

		全体	1点 (いいえ)	2点	3点 (どちらとも言えない)	4点	5点 (はい)
平成 25年度	回答数(件)	169	2	2	34	44	87
	割合(%)	100.0	1.2	1.2	20.1	26.0	51.5
平成 24年度	回答数(件)	158	0	6	36	39	77
	割合(%)	100.0	0.0	3.8	22.8	24.7	48.7

【A3】



【A4】



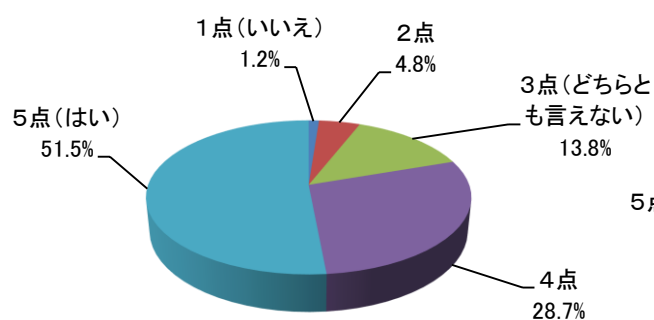
A 5 静岡美術館にふさわしい雰囲気か

		全体	1点 (いいえ)	2点	3点 (どちらとも 言えない)	4点	5点 (はい)
平成 25年度	回答数(件)	167	2	8	23	48	86
	割合(%)	100.0	1.2	4.8	13.8	28.7	51.5
平成 24年度	回答数(件)	160	1	2	26	53	78
	割合(%)	100.0	0.6	1.3	16.3	33.1	48.8

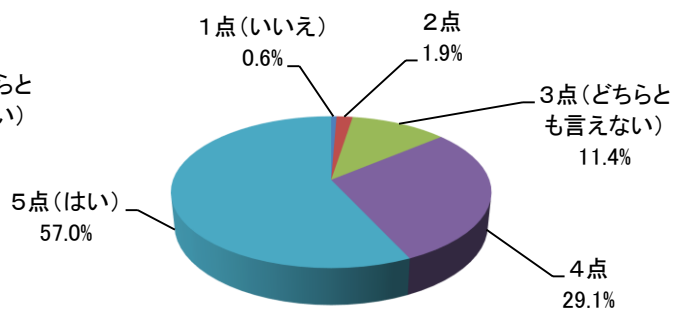
A 6 次回も来店したいか(満足度)

		全体	1点 (いいえ)	2点	3点 (どちらとも 言えない)	4点	5点 (はい)
平成 25年度	回答数(件)	158	1	3	18	46	90
	割合(%)	100.0	0.6	1.9	11.4	29.1	57.0
平成 24年度	回答数(件)	152	1	2	23	44	82
	割合(%)	100.0	0.7	1.3	15.1	28.9	53.9

【A5】



【A6】



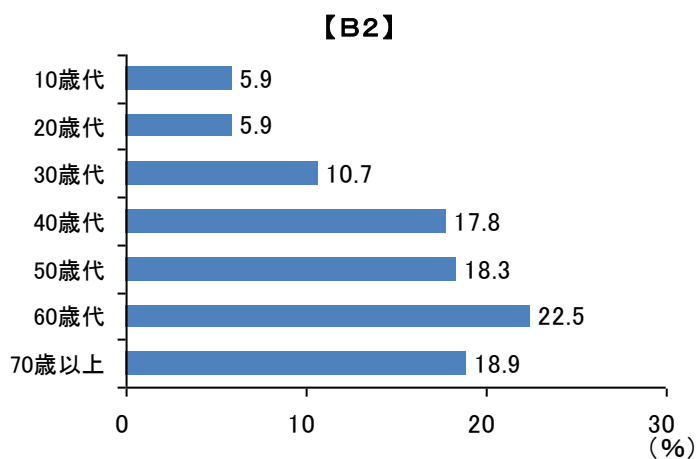
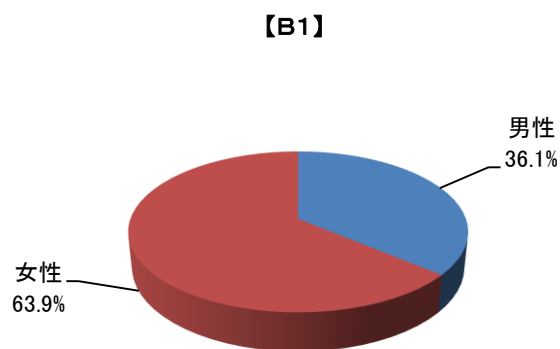
A 7 ご意見・ご感想(略)

B 1 性別

		全体	男性	女性
平成 25年度	回答数(件)	169	61	108
	割合(%)	100.0	36.1	63.9
平成 24年度	回答数(件)	160	51	109
	割合(%)	100.0	31.9	68.1

B 2 年齢

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
平成 25年度	回答数(件)	169	10	10	18	30	31	38	32
	割合(%)	100.0	5.9	5.9	10.7	17.8	18.3	22.5	18.9
平成 24年度	回答数(件)	160	15	9	28	37	29	24	18
	割合(%)	100.0	9.4	5.6	17.5	23.1	18.1	15.0	11.3

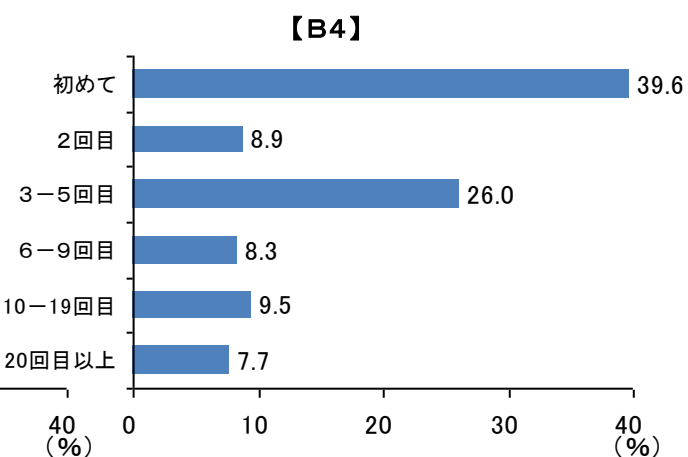
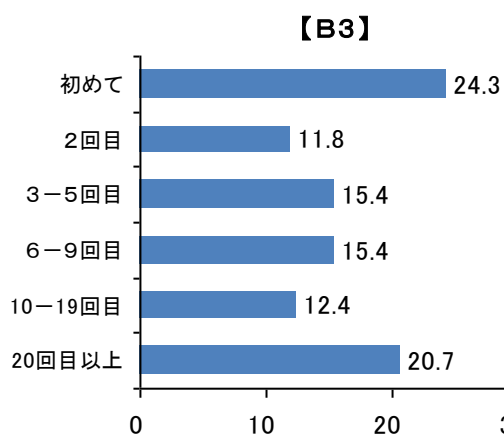


B 3 来館回数

		全体	初めて	2回目	3－5回目	6－9回目	10－19回目	20回目以上
平成25年度	回答数(件)	169	41	20	26	26	21	35
	割合(%)	100.0	24.3	11.8	15.4	15.4	12.4	20.7
平成24年度	回答数(件)	160	19	10	34	25	35	37
	割合(%)	100.0	11.9	6.3	21.3	15.6	21.9	23.1

B 4 ミュージアム・ショップの利用回数

		全体	初めて	2回目	3－5回目	6－9回目	10－19回目	20回目以上
平成25年度	回答数(件)	169	67	15	44	14	16	13
	割合(%)	100.0	39.6	8.9	26.0	8.3	9.5	7.7
平成24年度	回答数(件)	158	31	17	41	22	27	20
	割合(%)	100.0	19.6	10.8	25.9	13.9	17.1	12.7



8 美術館ホームページアンケート結果

(1) 実施数（回答数）

188 件

(2) アンケート結果

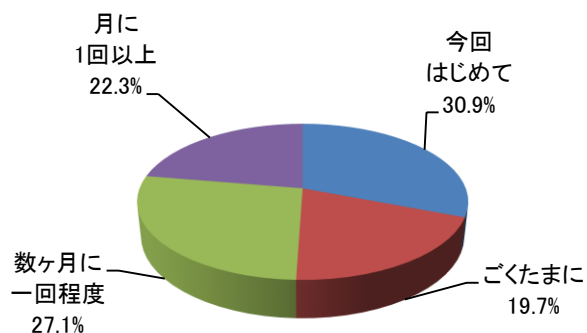
問1. 当ホームページをどのくらいの頻度でご覧になりますか？

		全体	今回 はじめて	ごくたまに	数ヶ月に 1回程度	月に1回 以上	無回答
平成 25年度	回答数（件）	188	58	37	51	42	0
	割合（％）	100.0	30.9	19.7	27.1	22.3	0.0
平成 24年度	回答数（件）	197	55	29	65	45	3
	割合（％）	100.0	27.9	14.7	33.0	22.8	1.5

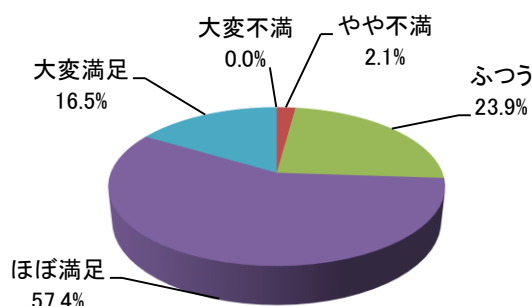
問2. 当ホームページの情報内容について

		全体	大変不満	やや不満	ふつう	ほぼ満足	大変満足	無回答
平成 25年度	回答数（件）	188	0	4	45	108	31	0
	割合（％）	100.0	0.0	2.1	23.9	57.4	16.5	0.0
平成 24年度	回答数（件）	197	0	13	40	119	22	3
	割合（％）	100.0	0.0	6.6	20.3	60.4	11.2	1.5

【問1】



【問2】



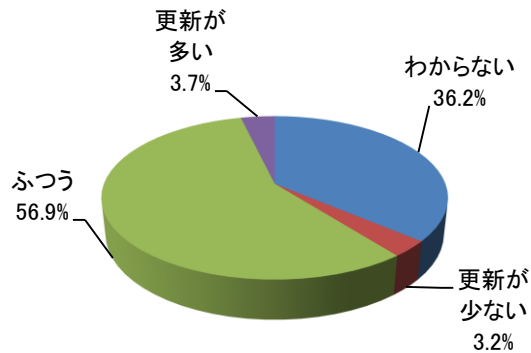
問3. 当ホームページの更新頻度について

		全体	わからない	更新が少ない	ふつう	更新が多い	無回答
平成 25年度	回答数（件）	188	68	6	107	7	0
	割合（％）	100.0	36.2	3.2	56.9	3.7	0.0
平成 24年度	回答数（件）	197	64	8	112	7	6
	割合（％）	100.0	32.5	4.1	56.9	3.6	3.0

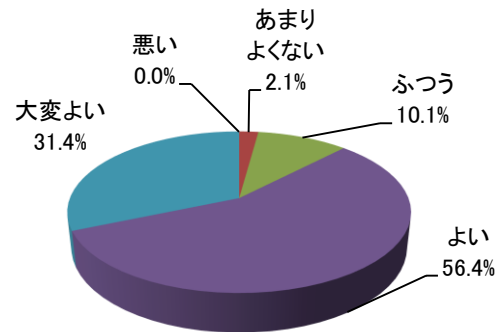
問4. 当ホームページのデザインについて

		全体	悪い	あまり よくない	ふつう	よい	大変よい	無回答
平成 25年度	回答数（件）	188	0	4	19	106	59	0
	割合（％）	100.0	0.0	2.1	10.1	56.4	31.4	0.0
平成 24年度	回答数（件）	197	0	0	38	106	50	3
	割合（％）	100.0	0.0	0.0	19.3	53.8	25.4	1.5

【問3】



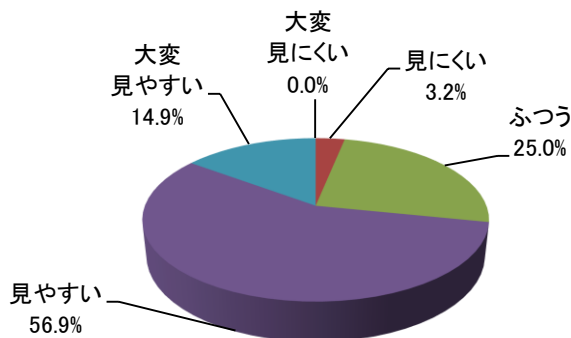
【問4】



問5. 当ホームページの見やすさについて

		全体	大変見にくい	見にくい	ふつう	見やすい	大変見やすい	無回答
平成25年度	回答数(件)	188	0	6	47	107	28	0
	割合(%)	100.0	0.0	3.2	25.0	56.9	14.9	0.0
平成24年度	回答数(件)	197	0	7	46	112	29	3
	割合(%)	100.0	0.0	3.6	23.4	56.9	14.7	1.5

【問5】



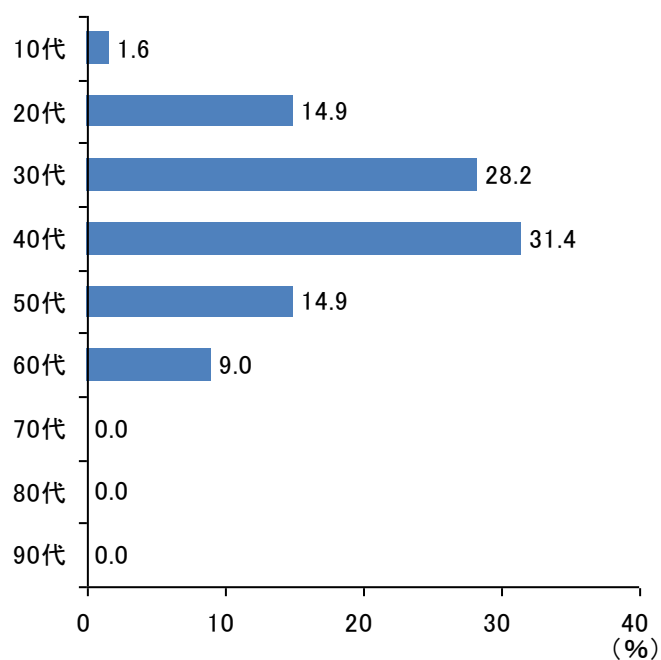
※1 年 齢

		全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
平成25年度	回答数(件)	188	3	28	53	59	28	17	0	0	0	0
	割合(%)	100.0	1.6	14.9	28.2	31.4	14.9	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成24年度	回答数(件)	197	2	18	45	53	54	17	4	1	0	3
	割合(%)	100.0	1.0	9.1	22.8	26.9	27.4	8.6	2.0	0.5	0.0	1.5

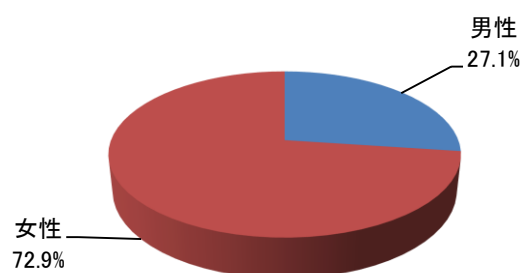
※2 性 別

		全体	男性	女性	無回答
平成25年度	回答数(件)	188	51	137	0
	割合(%)	100.0	27.1	72.9	0.0
平成24年度	回答数(件)	197	66	127	4
	割合(%)	100.0	33.5	64.5	2.0

【※1】
(回答者数=188)



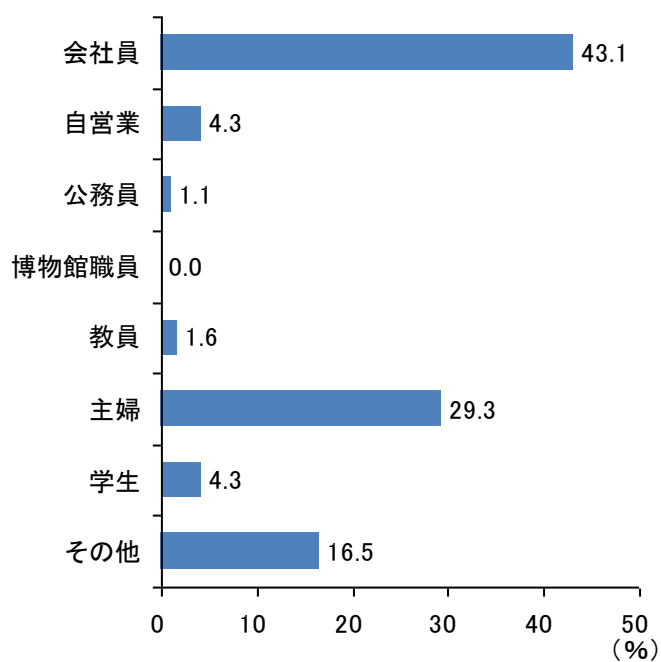
【※2】



※3 職業

		全体	会社員	自営業	公務員	博物館職員	教員	主婦	学生	その他	無回答
平成25年度	回答数(件)	188	81	8	2	0	3	55	8	31	0
	割合(%)	100.0	43.1	4.3	1.1	0.0	1.6	29.3	4.3	16.5	0.0
平成24年度	回答数(件)	197	88	9	8	0	7	51	3	27	4
	割合(%)	100.0	44.7	4.6	4.1	0.0	3.6	25.9	1.5	13.7	2.0

【※3】
(回答者数=188)



9 自由意見

(1) 生活において「美術館」の存在・位置付け

あなたの生活において「美術館」はどのような存在・位置付けですか。とたずねたところ、599 件の自由意見があり掲載する。(重複を割愛)

- 心の癒し。(女性/50 歳代)
- 生活での時間の切り替え。(女性/60 歳代)
- 考えを豊かにするもの。(女性/30 歳代)
- 生活の中の楽しみ。(男性/60 歳代)
- 彩りをそえるもの。(男性/30 歳代)
- 心を洗う場所。(女性/30 歳代)
- リフレッシュする場。新しく発見をする場。(女性/20 歳代)
- 現実とは異なった知らない世界を知ることができる場所。(女性/50 歳代)
- 散歩道。(男性/40 歳代)
- 余暇時間の一部。(男性/70 歳以上)
- 美術作品は好きで、折に触れ見たい。(女性/70 歳以上)
- 一人になれる。(男性/70 歳以上)
- 子どもに少しでも興味を持ってもらいたい。また、自分の知識としても役に立てたい。(女性/30 歳代)
- 何となく遠い場所。いろいろな世界を見せてくれる。(女性/13～19 歳)
- 日常生活より離れた別世界の中に身を置ける場所です。(男性/70 歳以上)
- 少しでも情想を豊かに、老後の糧と思い楽しみにしています。(女性/70 歳以上)
- 定期的に訪れるもの。インスピレーションをもらえる場所。日常では気付かない、考えないようなことに出会える場所。居心地の良い場所。(女性/20 歳代)
- 見ていると心が和みます。(男性/50 歳代)
- 日常から精神を飛翔させてくれる所。(男性/70 歳以上)
- 絵を見て勉強する場。(女性/13～19 歳)
- 部活の一環で自分が描く絵がいろいろと広がる場所。(女性/13～19 歳)
- 時々心の掃除に来てみたい。(女性/70 歳以上)
- あまり身近には感じられない特別なもの。(女性/70 歳以上)
- 時々来て良いものに触れて気分転換をしたいが、忙しくてなかなか来られない。(女性/40 歳代)
- 精神的な楽しみ。(女性/70 歳以上)
- 心を磨く所。(女性/50 歳代)
- 栃木の美術館を散歩コースにしています。(女性/60 歳代)
- たまに行くとおもしろい。(男性/30 歳代)
- 名古屋に住んでいますが、興味深い作品を近くの美術館に見に行ったり、名古屋市ボストン美術館の会員となってよく見に行っています。(女性/50 歳代)
- 頻繁に足が向くものであってほしい。ロダン館スペースを活用したミニコンサート、オペラアリアなど多く開催されると嬉しい。ロダン館は常設で変化がないだけに、交流スペースとなるのが良いのでは。(男性/50 歳代)
- 様々な文化に身近に触れられる場所です。(男性/20 歳代)

- 自分との対話空間。小学校教員なので教材開発の場。心のエネルギーを得る場。(男性/40 歳代)
- 知的な娯楽を提供してくれる所。(女性/20 歳代)
- 良い作品、企画があれば、足を向けるようにしています。(女性/50 歳代)
- 静岡で良い催し物があれば必ず行きます。(女性/60 歳代)
- 時間があれば来てみたい所。(女性/50 歳代)
- 手軽に見れて、良いものを企画してくれる。生活の楽しみ、アクセントになる。(女性/60 歳代)
- 気持ちが晴れる。元気になる。(男性/50 歳代)
- 一時の心の安らぎ。(男性/40 歳代)
- 心に栄養を与えてくださる場所。(女性/40 歳代)
- 企画展をチェックしておいて、天気の良い日に都合が良ければ行く。(女性/50 歳代)
- ちょっと特別な時間を過ごせる場所。(女性/40 歳代)
- 休日の楽しみ。(男性/40 歳代)
- 静かな空間で頭の中をクリアにできるので、時々来て癒されたい。(女性/30 歳代)
- 作品自体の細かい内容まではわからないが、それらから受ける印象を大切にしたいといつも感じます。
(男性/30 歳代)
- 少し遠い。楽しい。(男性/13～19 歳)
- 普段の生活の中のスケジュールに必ず入っています。(女性/50 歳代)
- 毎回、原画展を楽しみにしています。(男性/60 歳代)
- 芸術には特に興味がある訳ではないので、題材によりけりです。(女性/50 歳代)
- 時々気軽に日常的に楽しめる場所。(男性/50 歳代)
- 本物が近くにあり見ることができる機会は参加したい。(女性/70 歳以上)
- 月曜が休みの仕事なので、なかなか来れなくて残念です。(女性/60 歳代)
- 重要な施設。国内外に出かけた時は時間の許す限り立ち寄るよう心がけている。(男性/70 歳以上)
- 知識・教養を深める場。(男性/20 歳代)
- 知識の探求、知的時間の楽しみ。(女性/70 歳以上)
- 身近な存在。毎日の生活で忘れかけたものを思い出させてくれる場所。(女性/30 歳代)
- 心のゆとりを得る。(女性/50 歳代)
- レポートを書ける所。作品のきっかけになる所。(男性/13～19 歳)
- 自分の感性を広げる存在。(男性/20 歳代)
- 良い意味で刺激をもらえる場所。また、心を落ち着かせてゆっくりと思考を深める事のできる場所。
(女性/20 歳代)
- 知らないことを知ることができる。(男性/60 歳代)
- 旅行先での心の安らぎを得る。(男性/60 歳代)
- 心洗われる所。時々無性に來たくなる。(女性/40 歳代)
- 気分をかえたりする時に気軽に訪れることができる喫茶店のような所。(男性/40 歳代)
- 彫刻を趣味にしているから大いに興味がある。(男性/70 歳以上)
- 心身が落ち着いて、リフレッシュできる所です。(女性/30 歳代)
- 生活を豊かにして心なごむ場所。見聞を広めることができる。(男性/70 歳以上)
- 美術鑑賞をしていると時間を忘れられる。リフレッシュできる存在。(男性/30 歳代)
- 心の平安。(女性/50 歳代)

- 若い頃はよく通っていましたが、忙しくて今はなかなか行けなくなっていました。一度行くとパンフレットなどがあり続けて通うが、一度行かなくなると再開に時間かかる。(女性/30 歳代)
- 暇つぶし。(男性/70 歳以上)
- 時間があつた時の楽しみ。(女性/70 歳以上)
- 通常の生活からほっと一息入れるようなもの。(男性/60 歳代)
- 気分転換。周囲の環境も好き。(女性/60 歳代)
- 自分を高める。心の洗濯。(女性/40 歳代)
- その時代を思いながら美術品を見る。(女性/40 歳代)
- 自分の好きな絵画に出会える場。(男性/70 歳以上)
- 時々来たい場所。美術、特に絵画を見て心豊かになります。(女性/70 歳以上)
- 常に頭の中に入っていて、訪ねてみたいと思う。(女性/70 歳以上)
- 絵を描く立場から、非常に勉強になります。(男性/70 歳以上)
- 憩いのひととき。(男性/50 歳代)
- 主人と出かけるコース。(女性/40 歳代)
- 心が穏やかになる場所。富士山に感謝したい気持ちになりました。(女性/60 歳代)
- 趣味として美術観賞の一環。(男性/70 歳以上)
- 日常生活の中で一服する所。(女性/60 歳代)
- 美や歴史の感性が満足できるので、日常生活からの気分転換。(男性/60 歳代)
- 休日の娯楽。(女性/60 歳代)
- のんびりできる。元気が出る。(女性/40 歳代)
- 良い作品を見て、気分を変える場所。同じ市内でも遠いので、ちょっと遠出した気持ちになる。(女性/30 歳代)
- 心の栄養源になること。美に対して強く感じられる心を培うため。(女性/70 歳以上)
- 日常から離れた心地よい場所。(女性/60 歳代)
- 平凡な日常に時々夢を与えてくれます。(女性/60 歳代)
- 心の潤い。未知への興味。(男性/70 歳以上)
- 過去との出会い。心のオアシス。(女性/60 歳代)
- 生活の源。ストレス解消。(男性/60 歳代)
- 2009 年にルーヴル美術館に行き、興味がわき、それ以降 BS テレビ等で絵画を放送しているというになり、今回も世界遺産になった富士山、三保の松原の絵画が見たくなり、とてもよい目の保養になりました。(女性/50 歳代)
- 趣味。日常味わえない様々なことを味わえる場所。(女性/50 歳代)
- 静かで落ち着ける場所。(男性/30 歳代)
- たまに、また来たい所。(男性/20 歳代)
- 自分だけのビューポイントを模索する旅。(女性/20 歳代)
- リフレッシュする場。適度な緊張感を楽しむ。(女性/20 歳代)
- 知識が豊かになるので満足している。(男性/60 歳代)
- 向上心、興味の刺激。(女性/60 歳代)
- あちこちの美術館に出かけていますので、生活の一部といった感じ。(男性/50 歳代)
- 近くにあって、心を豊かに時折刺激をもらう所。(女性/60 歳代)

- リセット。(男性/40 歳代)
- マンネリの生活に気分転換。来館した日は1日中さわやかです。(女性/70 歳以上)
- 良いイベントが開催された時に見に行く。(女性/50 歳代)
- たまには文化を感じたい。(男性/60 歳代)
- 心のリフレッシュ。(男性/50 歳代)
- 感性を磨く所。(男性/20 歳代)
- ゆとりある生活をしたいと思うのですが、機会を作ってなるべく足をのばしたいと思っています。(女性/60 歳代)
- 日々の雑事から離れて、美しいものに会い、心を休ませる場所です。(男性/30 歳代)
- 日常的な楽しみ、趣味を満喫できる場所。(男性/50 歳代)
- 息抜きと充電。(女性/50 歳代)
- 普段なかなか行けない所。(女性/20 歳代)
- 急に思い出したように来なくなる場所。(女性/60 歳代)
- 年に数回訪れる気分転換の場。空間全体が良い。(男性/50 歳代)
- 美しいもの、美しい美術品を見て、心豊かな安らいだ気持ちを取り戻し、パワースポットのような存在。(女性/50 歳代)
- 異空間でリフレッシュできる存在。(女性/20 歳代)
- たまには訪れて、有名・無名を問わず、いろいろな作品に触れることで少し日常の生活から離れて、様々な物、国などに思いをめぐらせることができるので、年に数回は行きたいと思っていますが、現実にはなかなかそうもいかず残念です。(女性/40 歳代)
- 母と過ごすひととき。(女性/40 歳代)
- 少し近寄りがたいイメージです。(女性/13～19 歳)
- 日常生活から離れてゆっくりする所。(男性/40 歳代)
- 興味の対象。(女性/13～19 歳)
- 気持ち良く過ごすことができる場所。(男性/50 歳代)
- いろいろな美術館に行っている。(男性/40 歳代)
- 生活の潤い。(女性/40 歳代)
- 家の次に落ち着く場所。(女性/20 歳代)
- 見ることに集中する場所。(女性/20 歳代)
- すばらしかったです。空間がゆっくり安心できました。美術館デザインが良かったです。(女性/60 歳代)
- 旅先ではほとんど美術館に行くようにしている。(男性/60 歳代)
- リラックスしたい時に訪れたくなる存在。(女性/40 歳代)
- 自分の美的センスを磨く所。(女性/13～19 歳)
- 自分のセンスを高めてくれる所。(女性/13～19 歳)
- たまに来る場所。リラックスして、いろいろなことを感じる心をよみがえらせる場所。(女性/40 歳代)
- 私自身美術が好きで、絵を描いているので、自分の好きな絵をじっくり鑑賞したり、絵の勉強ができる所。(女性/13～19 歳)
- いろいろな人の考えやセンス、技術などを見ることのできる場所。世界の芸術作品を生で間近で見れる。(女性/13～19 歳)

- 自分の制作に刺激を与えてくれたり、勉強になる場。(女性/13～19 歳)
- 好きな作家、画家の作品を見に行く所。自分にとって落ち着く所。(女性/13～19 歳)
- くつろぐ場所。(女性/40 歳代)
- 目に見えない部分を 50 代になって感じるようになりました。絵はその部分を考え、教えられます。(男性/50 歳代)
- 自分を見つめる場所。(男性/60 歳代)
- 生活に必要な文化施設。(男性/70 歳以上)
- 作品に触れて楽しむ所です。教科書や画集で見ていた作品を直接見ることができるのは、新たな発見もあり自分の生活にも刺激を与えてくれます。(女性/30 歳代)
- 自分の世界を拡げてくれるかな。老後にはまっています。(男性/60 歳代)
- 時々足を運んで日常とは異なる空間に身を置くのが好きです。日常生活を送る上に必要な活力剤です。(女性/50 歳代)
- 興味のある作家や話題の展覧会に行ってみようとしている。話題の共有の場。(女性/60 歳代)
- 時間をつくって出かけた所。(女性/60 歳代)
- 心に余裕を与えてくれる物。(女性/40 歳代)
- なかなか見れない物が来た時に見る。(女性/40 歳代)
- 美にふれて明日への希望を得る場所。(女性/60 歳代)
- 頭と気持ちの整理をつけるために必須です。(男性/40 歳代)
- 実生活を離れて、自分の心や創作意欲を開放する時間となります。作者の人と歴史または展示の意図などを知り、社会や人間の生命の移り方や自分の身を離れて高い位置から見つめることができます。デッサンや水彩画に取り組んでいるので、良いヒントも具体的に得ることもできます。“人が表現するもの”とは美術だけでなく、自己肯定感、自分の存在を励ましてくれるものであり、私にとって本当に大切なもの、時間です。(女性/50 歳代)
- 色を楽しむ場所。頭の体操。(女性/50 歳代)
- 日常生活で汚れたり疲れた心を洗い流してくれる。(女性/50 歳代)
- 教育の青少年の健全のため。(男性/60 歳代)
- 本物に触れ、感性を磨く。(男性/50 歳代)
- 休息と楽しみ。好奇心。(女性/20 歳代)
- 見聞、趣味を広げられる場。心に落ち着き、深みを与えてくれる存在。(男性/50 歳代)
- デート。(女性/30 歳代)
- 家が近いため、時間がある時など気軽に訪れることができ、一人で見ている時間や自分の想像をふくらませる時がとても好きです。(女性/13～19 歳)
- 気軽に來ることができて、心を落ち着かせられる。(女性/13～19 歳)
- 年に 1～2 回訪れたくなる場所。(男性/50 歳代)
- 美術館はとても奥深く感じる作品がたくさんある所。(男性/13～19 歳)
- 自分とはかけ離れた存在でもあり、行ってみたいと思う存在。(男性/13～19 歳)
- 自分とはあまり関わりがなく、今までにない感じのする所。(男性/13～19 歳)
- 今まで一度も来たことがなかったけれど、興味を持ちました。(男性/13～19 歳)
- 脳が休まる、心は解放される。(女性/30 歳代)
- 気に入った画家さんの展示があれば足を運んでいます。(女性/50 歳代)

- 心と頭がクリアになる場所。インスピレーションが生まれる場所。(女性/30 歳代)
- 日常を忘れさせてくれる存在。(男性/20 歳代)
- 別世界。連れていかれたら行く程度。(女性/40 歳代)
- 日常生活に潤いを与えてくれる場所。(女性/60 歳代)
- ほっとできる場所。今、夫の介護をしていて気晴しのできる場所となっている。周りの風景も素敵です。今日は紅葉もきれいでした。(女性/60 歳代)
- 気分転換したい時やのんびりした時間を過ごしたい時に最適。(女性/60 歳代)
- 公園。散歩。(女性/20 歳代)
- おもしろい作品がたくさんある。(女性/13～19 歳)
- インスピレーションを得るため。調べている事柄の実物を見るため。(男性/40 歳代)
- とても楽しく、いろいろな技法を学べる所。これからたくさん来たいと思う。(女性/13～19 歳)
- 絵を描く上で技法や考え方を学び参考にしています。(男性/30 歳代)
- 心のオアシス。エネルギーのもと。(女性/60 歳代)
- 特に県立美術館は、坂道を上がってくる所からワクワクさせられ気持ちが良いので好きです。(女性/60 歳代)
- 時間ができた時に妻と二人で心を再生する場。(男性/60 歳代)
- 日常を忘れて、心穏やかにのんびりできる場所。(女性/40 歳代)
- 水と大気。(男性/50 歳代)
- 気持ちのゆとり、安らぎ。(女性/40 歳代)
- 生活の一部。近くでいつもすばらしいものが見られるので大好きです。2ヶ月に一度は来て癒されています。(女性/20 歳代)
- 日常からの開放のような感じです。定期的に行きます。(女性/20 歳代)
- リラックスする場所。(女性/30 歳代)
- 「静」の時間なのでとても大切。(女性/50 歳代)
- 休日にはできるだけアートに触れたいと思っています。(男性/50 歳代)
- 休日のひとやすみをする場所。(女性/20 歳代)
- 特別な時間。(女性/30 歳代)
- ヒーリング。(男性/40 歳代)
- たまに来ると楽しい所。(女性/20 歳代)
- 心の休日。(男性/50 歳代)
- 生涯学習。(女性/20 歳代)
- ひらめきをほしい時に来る場所。(男性/60 歳代)
- 日常から離れ、美に接する機会。(男性/50 歳代)
- 経験する場所です。(女性/20 歳代)
- 県立美術館開館当時より友の会会員となり、展覧会のほとんどを見えています。美術の知識は乏しくよくわかりませんが、美術館に来ると気分が安らぎます。私の癒しの場所です。(男性/70 歳以上)
- 新たな興味のわく場所。普段使っていない脳の部分を活性化させる所。(女性/20 歳代)
- 普段の生活からは離れているため、興味があっても足を運ぶ機会がなかなかない。(男性/20 歳代)
- 良くも悪くもハレの場。それがそのまま存在意義となっているように思います。(男性/50 歳代)
- インスピレーションがうまれる場所。(女性/20 歳代)

- 美術作品を鑑賞して、癒しをもらったり、のんびり見てストレスを解消できるような場所。いろいろと勉強になり、たくさんの美術の知識を得られる場所。(女性/20 歳代)
- 文化的な場所。(女性/13～19 歳)
- 自分の心の中にある言葉では表現できないものを具現化したものが“美術”であり、それを探すもの。(女性/13～19 歳)
- 時々、静かに自分自身や世界と向きあう場。(女性/30 歳代)
- 日常で忘れていた“感性”を思い出せる場所。リラックスして過ごせる場所。(女性/20 歳代)
- 芸術に触れることができる場所。自分とは異なるイメージ、発想を感じられる機会。(女性/20 歳代)
- 感性を豊かにしてくれる。一人で来て落ち着ける場所。(女性/20 歳代)
- 知的に自由になれる。(女性/70 歳以上)
- 興味のある企画展が開催されている時は、時間の許す限り通いたい場所。忙しい毎日の中で心を落ち着かせたい時に来る場所。(女性/40 歳代)
- 自分は写真を撮影するので、ジャンルが片寄らないように注意している。(男性/50 歳代)
- 人生に必要な不可欠な物。(女性/50 歳代)
- 心にプラスになる、今後の生き方の糧となると信じて美術館に訪れています。(男性/60 歳代)
- 心安らぐ場所。大切にしたい場所です。こちらの美術館はプロムナードも美しく、地元民の財産。(女性/50 歳代)
- 新しい刺激。本物との触れ合い。(男性/40 歳代)
- 未知への興味。(男性/70 歳以上)
- 心をリラックスさせる。新たな刺激がある。自分と対話できる。(男性/30 歳代)
- どこでどんな展示会をしているのか気になっています。あちらこちらに行けないため、TV や新聞で行った気分になっています。(女性/40 歳代)
- 生活の中でテレビを観たり作品の紹介があると実物に接したいと思い、時間がとれる時は出かけて行きます。(女性/70 歳以上)
- 非日常感を楽しむ場所。(女性/20 歳代)
- 私の最も好きなことは、日常の生活以外で大切な読書と本物の絵を見ること、これからも続けていきたい。(女性/70 歳以上)
- 絵などを見るのは好きなのでよく来ます。書はあまり興味ないです。刃物やエジプト、ナスカも好きです。見たものの全てを覚えていないので位置付けはよくわかりません。(女性/30 歳代)
- ゆらゆらしたくなる時に来る所。他の人の世界を覗ける場所。ほっと一息つける場所。(男性/30 歳代)
- 時間を忘れる、感じる、考えることのできる場所。(女性/40 歳代)
- 発想の根源。(男性/60 歳代)
- 世の中を捉える場所であり、自分を見直す場所。想像力を駆使する場所。(男性/20 歳代)
- 静かに自分の時間を楽しめる場所。アイデアやイメージのきっかけをもらえる所。(女性/40 歳代)
- 美術の仕事をしていますので関心があります。(女性/70 歳以上)
- 身近な物であるようで遠い感覚があります。身近なアーティストもしくはアーティストを目指す者、子どもへのアプローチが大変弱いと思います。(男性/40 歳代)
- 生活に潤いを与えてもらおう。自分の作品作りの参考。(男性/60 歳代)
- 気持ちの切替え。(男性/60 歳代)
- 芸術の世界を味わうことができ、心が落ち着くようになる。(女性/20 歳代)

- 芸術を感じられる所です。自分の生活と違うものを見られる所です。(女性/20 歳代)
- 美を体験できる、とても重要な所です。(女性/20 歳代)
- 若い頃美術史を勉強したいと思っていましたが、諸般の事情でできませんでした。これから実現させたいと思っているので、欠くことのできない存在です。(女性/60 歳代)
- めったに行けない遠い存在といった印象でしたが、今回の来場でイメージが少し近く感じました。また来たいと思いました。(男性/40 歳代)
- 行ってみたいけれど敷居が高い。(女性/30 歳代)
- 知的な空間。(女性/40 歳代)
- 大切にしたい。(男性/30 歳代)
- 休みの日に出かける先の一つ。(男性/30 歳代)
- 自分にはない物を見つけられる。(女性/30 歳代)
- 静かに何かと向き合う場所。(男性/30 歳代)
- 趣味の世界。(男性/60 歳代)
- 日常から少し離れてリラックスできる場所。(女性/30 歳代)
- 新しい出会い。(男性/30 歳代)
- 日常とは違う時間を過ごせる心にゆとりのできる時間を与えてくれる場所。(女性/20 歳代)
- 美術を見て感じる所。(男性/20 歳代)
- 自分の感性を高める存在。(男性/13～19 歳)
- 人間の作る世界が見られる所。(男性/13～19 歳)
- 昔の人が作った作品が集まった所。(女性/13～19 歳)
- 普段の生活では体験できないことがたくさんある所。新鮮で楽しい。(女性/13～19 歳)
- 偉い人がいる所。(女性/13～19 歳)
- 穏やかで静かな所。(女性/13～19 歳)
- ポスターで見た時に、自分が気になる作品や興味を持てる作品があれば行きたいと思う。また、静かで落ち着き、来て良かったと心から思うことのできる場所。(女性/13～19 歳)
- 近いので心地良い場所。美術館のまわりも良い。(女性/60 歳代)
- 毎日の生活の一部。(男性/70 歳以上)
- 見た後、自分も描きたいと思う。(男性/12 歳以下)
- 癒しと同時に向上のため。(女性/50 歳代)
- 内省する場所。(男性/20 歳代)
- 特別な存在。よそゆきという感じ。(女性/40 歳代)
- 仕事で忙しい中での時々与えられる癒しの時。(女性/60 歳代)
- 何気なく行こうと思って行く所。時々思い立って来る所。(女性/50 歳代)
- 気持ちが安らぎ何となく落ち着く時間です。(女性/60 歳代)
- あるプロジェクトの再現。(男性/30 歳代)
- 崇高な場。(女性/40 歳代)
- 静かにいろいろ向き合う場所。(男性/20 歳代)
- 精神的な糧。(女性/50 歳代)
- 気分を変える場所。(男性/13～19 歳)
- 感性を広げられる重要な場所。(男性/30 歳代)

- 習慣。(女性/30 歳代)
- くつろぎの場所。(男性/50 歳代)
- 絵が飾ってあって、技法を学べる場所。(女性/13～19 歳)
- ゆっくりした時間を過ごせる所。(女性/30 歳代)
- 人にとって身近な場所であってほしい場所。(女性/13～19 歳)
- 心が和やかになる場所。(女性/40 歳代)
- 自分の中に何か新しく目覚める物、見れていなかった物を見る場所。(男性/20 歳代)
- 心の保養。目の保養。アートの流れを知る。(男性/30 歳代)
- 心の潤いを補充するために来る場所。(女性/40 歳代)
- 美術館に行くのは好きではあるが、県立美術館の企画は窮屈な印象がある。一般的すぎてつまらない。一般に媚びない展示も美術館の役目なのではないでしょうか。(女性/50 歳代)
- なくてはならない場所。(女性/30 歳代)
- 時間のゆっくり流れる所。(男性/20 歳代)
- 興味を持ったことについて深める所。(女性/20 歳代)
- 絵を見る所。静かな所。(女性/20 歳代)
- 芸術に親しみやすい場。(女性/13～19 歳)
- 振り返る場所。考える場所。(男性/13～19 歳)
- 視野を広めるきっかけ作りになる場所。美術を学んでいるため身近である。図版では感じられない本物との出会いがでいる場所。(女性/20 歳代)
- 時々訪れて、視野を広げたり自分の制作への意欲を高める物。(女性/20 歳代)
- 自分の人生の別の世界が見えて心が豊かになります。(男性/70 歳以上)
- 気軽に立ち寄れ精神的にも落ち着きます。(女性/70 歳以上)
- 時々ではありますが、生活を離れて目を養う所。心の保養地。(女性/50 歳代)
- 新しい価値観を発見する場所。(男性/20 歳代)
- 想像力を豊かにさせてくれる所。(男性/13～19 歳)
- 空間と内容を想像しながら楽しめる刺激的な場所。(男性/20 歳代)
- ないと淋しい。(男性/20 歳代)
- 頭の中の普段使わない部分を刺激してくれる楽しみな場所。(女性/40 歳代)
- 日常においてなくてはならない存在。本物を観て心の栄養的存在。(女性/70 歳以上)
- 人生のヒント。感性アップ。(男性/50 歳代)
- これからは気にして見たいと思います。(男性/60 歳代)
- なくてはならない、創造力の源。(男性/20 歳代)
- 好きな場所の一つです。(女性/30 歳代)
- 日常と離れた世界を楽しむ存在。絵を描く趣味があるので、その勉強として。(女性/20 歳代)
- パラダイス。(男性/40 歳代)
- 図版や映像でしか見たことのない作品を見ることができる場所。今まで関心のなかった作家の作品に出会える所。(女性/20 歳代)
- 県民ギャラリーを毎年定期的に借用することもあり、様々な企画展にも進んで参加している一人です。いつも良い雰囲気です。(男性/70 歳以上)
- 美術鑑賞の目が広がる。(女性/70 歳以上)

- 庭。(女性/60 歳代)
- 最近のお気に入りの場所。(女性/30 歳代)
- 精神的な癒し。(男性/60 歳代)
- 日常から離れ気分転換になる大好きな空間。(男性/50 歳代)
- 生活に潤いを与えてくれる所。(男性/60 歳代)
- 日常の生活から離れ、気分が落ち着く、私には一番の場です。(女性/60 歳代)
- 現在何が美術に求められているのかの指標になり、企画サイドの現況がわかる。(男性/60 歳代)
- いつも使いにくい脳の部分を刺激する所です。視野が広がります。(女性/30 歳代)
- 文化に触れることができる場所だと思う。芸術家の作品に触れることが心の耕しになると思っている。
(男性/30 歳代)
- ホームタウン。心の家。(男性/60 歳代)
- 思考のきっかけ。作品はもちろん作者やその思想に触れることは貴重な体験。(男性/20 歳代)
- 主にインスピレーション、きっかけをもらう所。固定概念をぶっ壊すヒントをもらう。息抜き。(男性/20 歳代)
- 作者や作品からのメッセージ・意図を受け、心を豊かにする。(男性/40 歳代)
- 不思議な物がたくさんあった。(女性/12 歳以下)
- 貴重な展示や世界の美術を見る場所。(男性/40 歳代)
- 絵画や彫刻作品を見る最適な場。(女性/30 歳代)
- 自由をすごく楽しめる所。(男性/13～19 歳)
- 好きなので身近なものになっている。(女性/70 歳以上)
- 感動。反省。触発。(女性/70 歳以上)
- 精神的安らぎの場。(男性/60 歳代)
- いろいろな時代や物、なかなか見ることのできない物を見られる所。(女性/13～19 歳)
- 芸術を観て、お気に入りのを見つけようとしたりするが、よくわからないことの方が多い。嫌いではない。
(女性/40 歳代)
- 普段見ることができない作品や絵を味わう場所。異空間。(女性/30 歳代)
- 精神生活の重要な一部。(男性/40 歳代)
- 仕事から解放されてリフレッシュする所。(女性/40 歳代)
- 今まであまり縁がなかった物。もっと来たいと思うようになった物。(男性/30 歳代)
- 新しい発見のある場所。落ち着く空間。(女性/20 歳代)
- 自分を触発する。(女性/50 歳代)
- 見て知識を得られる所、または見たことのない物を見られる所。どちらにしても時代や世界観にのめり込みに行く所です。(女性/30 歳代)
- あまり身近ではないが、ふと来てみたいと思う存在。(女性/20 歳代)
- 子どもとの共通の話題。(男性/50 歳代)
- 様々な絵画に触れて自分の美術に対する気持ちを高めることができる場所。(男性/13～19 歳)
- 食事と同じで、美術や音楽は自分にとってなくてはならない物となっている。(男性/60 歳代)
- 美術への関心が深まる。勉強になる。(女性/13～19 歳)
- 感性を育む場。いろいろな価値観を吸収する場。(男性/30 歳代)
- 新しい作品や画家と出会える所。(女性/13～19 歳)

- 歴史を振り返られる場所。(女性/13～19 歳)
- いろいろな美術品等を鑑賞する所。(女性/13～19 歳)
- 公私ともに知的好奇心を満たしてくれる場所。(女性/30 歳代)
- 自分の美術の勉強になる場所だと思います。また、たくさんのいろいろな絵があるので、いろいろな気持ちになれる場所だと思います。(女性/13～19 歳)
- 有名な人の作品が見られるすばらしい存在。(女性/13～19 歳)
- 想像を楽しむ。(女性/13～19 歳)
- どこでもいいけれど気になる展示があればふらっと行く感じ。おもしろい発見があったりした。(女性/13～19 歳)
- 時間さえあれば行きたい場所。(女性/13～19 歳)
- 感性を豊かにしたり心を落ち着かせたりするために訪れる物。(女性/13～19 歳)
- 目標。(女性/13～19 歳)
- 落ち着いて鑑賞できる存在。(女性/13～19 歳)
- いろいろな空想や自分の知らないことを知ることができる場所。(女性/13～19 歳)
- 部活で作品を作ったり描いたりする時に参考になる。自分にはない価値観を持った人の作品が見られる、わくわくする場所。(女性/13～19 歳)
- 美術作品が私たちに大切なことを教えてくれる。人生にとってとても大切な物。(女性/12 歳以下)

(2) 展覧会または当美術館についてのご指摘やご意見

この展覧会または当美術館についてのご指摘やご意見等がありましたら、ご自由に記入ください。と
たずねたところ、256 件の自由意見があり、分類・性質別に整理をし掲載する。(重複を割愛)

自由意見の分類・性質別件数

	1			2			3			4			5		
	今回の展覧会			企画全般			展示方法			施設・環境			運営・スタッフ		
	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情
富士山の絵画	20	5	0	13	12	0	8	4	0	7	8	12	3	4	0
二見彰一展	24	3	2	7	8	0	1	5	1	11	4	6	1	1	2
グループ「幻触」と 石子順造 1966-1971	21	1	3	6	13	0	0	10	1	6	5	7	4	6	1
全 体	65	9	5	26	33	0	9	19	2	24	17	25	8	11	3

単位：件

【今回の展覧会】 A 感想

- 大変楽しく過ごせました。ありがとうございました。(女性/13～19 歳)
- 今日は休日ですが、子ども連れの姿がなくて寂しい。名画を子ども時代から見られる良い機会だと思います。(男性/70 歳以上)
- また来たいのですが、静岡から引越しをしますので残念ながら最後です。(男性/60 歳代)
- 富士山の企画も良かったです。(女性/50 歳代)
- テーマに興味があり、とても良かったです。(男性/30 歳代)
- こんなにも富士山を描いたものが多くあるとは思わなかった。山頂の様子や途中の石の茶屋など、行かなければわからないものもあり、とても興味深かった。(男性/30 歳代)
- 絵の案内をしてくださった方が説明をしてくださり、とても分かりやすく楽しく拝見できました。ありがとうございました。(女性/50 歳代)
- ずっと観たかった作品に会えてよかった。(女性/30 歳代)
- 大変感動しました。勉強になりました。また来たいと思います。(男性/70 歳以上)
- 以前から拝見したいと思っていた作品を数多く観ることができ大変感謝いたします。(男性/60 歳代)
- 今回、明治以降の作品が 1 点のみで残念でした。(男性/70 歳以上)
- とても良い展覧会でした。(男性/30 歳代)
- 大観以外の日本画家で昭和の前後の日本画家の富士山があってもいいと思った。(女性/40 歳代)
- 日本文化の再発見の機会にしています。(女性/60 歳代)
- とてもきれいでした。(男性/50 歳代)
- 静かに見られて良かったです。(男性/50 歳代)
- 初めて訪れましたが、すばらしい展示でした。(男性/30 歳代)

- 富士山世界文化遺産との関連の説明がもう少しあっても良いかと思った。(男性/50 歳代)
- 二見彰一さんは今まで存じませんでしたが、独特の色合い抽象的な図案など興味深く拝見しました。版画にも少し興味が出まして、将来的にですが、もし時間があったら挑戦してみたいと思いました。(女性/40 歳代)
- 音楽がかかっているのがとても良かったです。今日は二見先生のお話も聞くことができて良かったです。(女性/40 歳代)
- 今日は画伯自らの音声ガイドで予定通りかどうか不安でしたが、間に合って、運が良かった。世界が広がった。絵画の鑑賞が深まった気がした。(女性/50 歳代)
- 会場でかかっていた音楽がとても雰囲気合っていました。音を聴きながら見るのも良いなと思いました。(女性/30 歳代)
- チャンスがあったらまた来たい。(女性/60 歳代)
- 技巧がすばらしい。(男性/50 歳代)
- 今回の展覧会は予想以上に良かった。(女性/30 歳代)
- 二見さんの良い作品がたくさんあり嬉しかった。版も展示されていて分かりやすかった。作品が多過ぎてちょっと疲れたかな。ありがとうございました。(女性/60 歳代)
- がんばって下さい。(女性/13～19 歳)
- 言うことなしです。結構な雰囲気です。(男性/70 歳以上)
- ギャラリートークに参加したのですが、人それぞれちがう見方があり関心が深まりました。(女性/20 歳代)
- 二見彰一さんという方について、今まで名前を聞いたことがありませんでしたが、銅版画という 1 つのジャンルについてこれほどまでに自分の世界をもって作品を制作しているという熱意が伝わり、来てみてとても良かったです。(女性/20 歳代)
- 音楽が作品と良く合っていたと思います。またこういった演出があると嬉しいです。(女性/20 歳代)
- とても良い展覧会だった。来館前に思っていたより満足した。(女性/60 歳代)
- 二見彰一先生については知識ありませんでした。とても素敵でした。ありがとうございます。(女性/50 歳代)
- 作者の事は何も知らない状態でしたので、初めて仕事のむずかしさが判りました。すばらしい色使いでした。(女性/70 歳以上)
- 二見彰一さんはあまり知られていない方ですが、全体的に捉えられていてとても良い展示でした。(女性/70 歳以上)
- 幻触とロダンともに強烈なために具合が悪くなってしまった。(男性/20 歳代)
- 近現代のテーマに取り組んでいて、また来たいと思った。(男性/30 歳代)
- 幻触おもしろかったです。(男性/13～19 歳)
- ゆっくり観られて良かったです。(男性/20 歳代)
- 偶然来て、懐かしい浅川マキの音楽が聴けた。(女性/60 歳代)
- 幻触展、まだ中間報告の生煮え感の強い展示と思いました。まだまだ次の展開がありそうで期待しています。(男性/40 歳代)
- 刺激された。良かった。(男性/20 歳代)
- グループの時代を追いながら作品を見ることができ、表現が変わっていく様子を楽しみながら鑑賞することができた。見たことのない作者の作品ばかりで、また新鮮な表現方法にとっても刺激をもらうこ

とができた。ありがとうございました。(女性/20 歳代)

- 今回の展示とてもおもしろかったです。(女性/20 歳代)
- 今日がたまたま空いていたからか、マイペースで見られてすごく良かったです。(女性/50 歳代)
- グループ「幻触」の展示は友人とまた見に来たいと思う内容でした。(女性/20 歳代)
- トリックアートと間違えて来てしまいました。小学生にはあまり理解できない。(女性/60 歳代)
- 時々来ると満たされます。ありがとうございます。(女性/30 歳代)
- 寺山、横尾、瀧口、赤瀬川を知っていただけに、石子の存在に気付くのが自分としては遅すぎた。すごく感化されました。興味がまた一つ広がったように思います。自宅からは遠いのですが来られて良かったです。(男性/20 歳代)
- とても楽しく見ることができました。美術であんなことしていいんだと思ったり、なんでもやった者勝ちだなと思ったりしました。とても驚きましたが、楽な感じでゆったり見られました。ありがとうございました。(女性/13～19 歳)

【企画全般】 A 感想

- ロダンのすばらしい作品がたくさんあるのには驚きました。(女性/50 歳代)
- 館長のセミナーなど開催され、大変良いですね。(男性/50 歳代)
- ロダン体操がおもしろかったです。シュールでした。(男性/20 歳代)
- いつも楽しく鑑賞しています。学校との連携をこれからもよろしくお願いします。(男性/40 歳代)
- 挿絵展がおもしろかったです。(女性/20 歳代)
- ロダン美術館のためにパリに行ったほどのロダン好きなのに知りませんでした。もっと東京などに富士山世界登録きっかけとして、あわせて見てもらいたい。(女性/40 歳代)
- 東京の展示の巡回。NHK 日曜美術館に取り上げられる作品展を実際に見たい。(女性/70 歳以上)
- 展示品が多く満足しています。(男性/70 歳以上)
- ロダン体操がすごくおもしろくて良かった。ロダンの部屋で文章があったり広く開放的で見やすかった。(女性/30 歳代)
- また、美しいすばらしい物を見せてください。(女性/50 歳代)
- 毎回、すてきな企画をされていると思います。(男性/50 歳代)
- ロダン館が予想以上に良かったです。他県の者ですが、PR を知らなかっただけでしょうか。(女性/40 歳代)
- 内容がよいので、もう少し広告をすればよいのでは。(男性/40 歳代)
- 気になる展示が特集されている。(男性/60 歳代)
- 美術に興味がないと楽しめないと思う。(女性/40 歳代)
- 配置、企画などとても満足しています。毎日楽しみにしています。(女性/60 歳代)
- 企画展、収蔵品展ともいつも気に入っている。(女性/60 歳代)
- 挑戦的な展覧会をまたやって下さい。楽しみにしています。(男性/40 歳代)
- 展示物によって人気の高い時とそうでない時がありますが、地味でも良い物を見せていただけて感謝しております。(女性/50 歳代)
- ロダン館がほっとしました。(女性/30 歳代)

【展示方法】 A 感想

- ガイドの説明があって良かった。(女性/70 歳以上)
- スペースが広いので展示の仕方がいつも良い。(女性/70 歳以上)
- 室温も配置も良く、すみずみまで良い環境だなと感じる部分が多かったです。(女性/20 歳代)
- とても楽しく拝見させて頂きました。作品に添えられているコメントが楽しめ、よく解説されていました。(女性/50 歳代)
- 学芸員さんの作品へのコメントがとっても興味深い。どなたが書いているのか記名にしてもらったらファンになります。(女性/50 歳代)
- 昨年、ボストン美術館展で曾我蕭白の絵にドギモをぬかれ、蕭白の絵を比べてみたい気持ちもあって来館。その意味では蕭白コーナーのような形で蕭白の作品を続けてみられたら、また別の角度から見ることで良かったかもしれない。(男性/50 歳代)
- コメントが読みやすい。物語テイストだと興味のない人でも興味をひかれることがあるかもしれない。(男性/40 歳代)
- それぞれの作品に付されている解説の文章(タイトル、本文) がとても良いと思いました。(女性/30 歳代)
- パリのロダン美術館より展示の仕方は良いと思いました。もっともっと幼稚園から大学生まで学校単位で来るようにしたら良いと思います。ヨーロッパの来訪に比べると少なすぎます。(女性/50 歳代)

【施設・環境】 A 感想

- 首都圏の美術館に比べ、広々としていて見やすかった。また清潔感があつた。(女性/40 歳代)
- 建築はどなたの設計か知りたいです。すばらしい。静かできれい。(男性/70 歳以上)
- インターネットで「県立美術館」で検索すると、数多くある「県立美術館」の中で静岡県立美術館が常に最上位に来ます。ちょっと嬉しくなります。(男性/30 歳代)
- 現状で満足。(男性/60 歳代)
- 時折、私語の多い方もいて少し気にかかった。(女性/60 歳代)
- いつも心地よく鑑賞させていただいています。(男性/50 歳代)
- 建物もきれいでゆっくりできました。(男性/40 歳代)
- 2 階へ上がる階段が大好きです。(女性/50 歳代)
- 立派な美術館でよかったです。ロダン館でデッサン会が開催されるのはすばらしいことだと思います。(女性/50 歳代)
- 初めて訪れましたが、自然の中で気持ちの良い所です。(女性/60 歳代)
- 自然の中ゆったりとした美術館で、中で写している方もいたりとても良い雰囲気でした。(女性/60 歳代)
- イタリアでロダンの考える人に時間の問題で直接出会えなかったのがとても嬉しかったです。(女性/30 歳代)
- 美しい環境と落ち着いて見られる館内でいつも楽しく見えています。(男性/60 歳代)
- 特に県立美術館は、坂道を上がってくるところからワクワクさせられ気持ちが良いので好きです。(女性/60 歳代)
- まだ 2 回目ですので、これから頻回に来られるように願っています。5 回程来たら意見がでると思います。(男性/60 歳代)

- 築 27 年の建物にしてはすばらしい。(男性/70 歳以上)
- 空調音なのか BGM なのかわからないのですが、低い音がしていて、それが二見さんの作品と合っていて観てまわるのが楽しかったです。(女性/20 歳代)
- このおちついた空間をこれからも続けていってほしいと思います。(女性/13～19 歳)
- どの椅子も座り心地がとても良い。特にロダンの横が良い。(男性/60 歳代)
- 美術館自体が清潔感があって好き。(女性/70 歳以上)
- もう少し家が近かったらコンサートなども来たいです。(女性/50 歳代)

【運営・スタッフ】 A 感想

- 裾野にいますが、市にも呼び掛け、多くの方に来るようにしてほしいと今回に限らず思っています。(女性/70 歳以上)
- 系の女性がとても感じが良かった。(女性/40 歳代)
- 質問に快く答えて下さったので、気持ち良く過ごせました。(女性/60 歳代)
- CM してみても。(女性/20 歳代)
- ボランティアの説明があると一段と興味がわきました。(男性/50 歳代)
- 学生無料には驚かされました。ありがとうございました。(男性/20 歳代)

【今回の展覧会】 B 要望

- 自分が三保の近くに住むようになって松原を何度も見てから、三保松原図を見るととても不思議な気持ちになりました。親近感がよりわいてきたようです。とても良い展示でした。ありがとうございました。できれば和田英作などの洋画の富士もまとめて見たかったです。(女性/20 歳代)
- 赤富士の絵が少しほしかった。(男性/70 歳以上)
- 現代的絵画の富士山を観たかった。(女性/70 歳以上)
- 多数の富士山の絵画に満足。欲を言えば和田英作の三保の富士の展示がほしい。(男性/70 歳以上)
- 歳を経てからの版画以外の作品は少し残念な感じがしました。版画だけの構成の方が良かった感じがします。(男性/30 歳代)
- 版画について全くといっていいほど知識がなかったので、どのような工程で作品が作られていくのか知りたくて仕方ありませんでした。「アクアチントって何？」という疑問から始まり、ずっと消化不良のままで出口までついてしまいました。(女性/40 歳代)
- 作家のストーリーが気になります。どんな生い立ちだからこのような作品が生まれたというのがはっきり見えたらいいなと思いました。(男性/30 歳代)
- 今回の展示はかなり異例な特色ある物だったので短時間のビデオ紹介などがあったら嬉しかった。(男性/60 歳代)

【企画全般】 B 要望

- エジプト展などお願いしたい。(男性/60 歳代)
- これからも高水準の展示を続けていって下さい。(男性/40 歳代)
- 都会に負けない企画を。(男性/50 歳代)

- いろいろな作品が楽しみです。和田英作展をやってほしいです。(女性/60 歳代)
- 若い芸術家、アジアの芸術家の作品展をやってほしい。(男性/50 歳代)
- 富士山の世界遺産登録にともない、富士山展をもっとしてほしい。個人的には北斎や広重の浮世絵の富士の特集を組んでもらいたい。(男性/30 歳代)
- 江戸絵画やそれ以前の絵画も扱った展覧会をこれからもやってほしい。(男性/20 歳代)
- これからも現代を含め富士山の絵を充実してほしい。(男性/70 歳以上)
- 地元静岡の歴史や地域をテーマ、モチーフにした展覧会も時々してほしい。(男性/60 歳代)
- 静岡県らしい美術館でいてほしい。県の特徴的なものがあると良いと思います。(女性/50 歳代)
- 静岡市美術館のようにもっとなじみ深い品も展示してほしいと思っています。(女性/60 歳代)
- 林武展をやってほしい。富士山展の中に林武の作品を入れてほしい。(男性/60 歳代)
- 風景画の企画を多くほしい。(男性/70 歳以上)
- 西洋絵画の展示を多くしてほしい。(男性/60 歳代)
- 近代日本画展を開催してほしい。(男性/60 歳代)
- 現代アート展を多くしてほしい。(女性/13～19 歳)
- 古代ギリシャなどエジプトの物を見たいです。(女性/40 歳代)
- 明治→昭和の芸術の変革期がみたい。日本が誇るカルチャー的な展示など。(女性/13～19 歳)
- 立体物の展示があると楽しいので、たまにお願いします。(女性/20 歳代)
- 著名な芸術家展もちろん大切ですが、静岡のアート活動や芸術、デザインの価値を広げる企画があると良いです。(男性/40 歳代)
- 器、写真などの展示を希望する。(男性/20 歳代)
- できるなら美しい花・華・海・波・山・空などのテーマで、普通にきれいと思える展覧会をしてけると嬉しい。(女性/50 歳代)
- 地元の作家さんの作品も展示してほしい。(女性/60 歳代)
- 今後も様々なアートを紹介してほしい。(男性/50 歳代)
- 日本刀や鎧などの展示があつたらずひ見たい。(男性/30 歳代)
- 立体や数字などの数学的な絵を見たい。(男性/13～19 歳)
- 視野を広く多角的な展示企画を期待しています。(男性/60 歳代)
- 写真展などもぜひ実施してほしい。(男性/30 歳代)
- 毎回企画展を楽しみにしています。ワークショップももっとやってほしいです。(女性/13～19 歳)

【展示方法】 B要望

- 解説をしてくださる人がいるともっと楽しい。(女性/50 歳代)
- イヤホンで案内や説明があれば、展示品の理解が深まるのでは。特に年配者は説明文を読むのが苦勞するので、有償でイヤホン貸出を。(男性/70 歳以上)
- 音声ガイドがないのが残念。無知なので説明があると嬉しい。説明書きには難しい言葉があり分からないことも多い。もっと簡単に楽しめたら子どもと一緒に来たいが、子どもが来たがらないのが残念。小学生にも楽しめる美術館であると嬉しい。(女性/40 歳代)
- 版画の作り方、工程などがよく分かるようにしてほしい。(女性/30 歳代)
- 全体的な雰囲気や展示方法は良いと思いましたが、音楽 (BGM) のかかっていない状態でも作品を見てみたいと思いました。作者の方の意図なのかもしれませんが、音楽が作品の見方を限定してしまう

ような気も少ししました。(女性/30 歳代)

- 解説をわかりやすくしてもらいたい。本人の顔写真はどこかに展示してあったのでしょうか、気がつきませんでした。(女性/20 歳代)
- 何度かロダン館に足を運んでいます、地獄の門の製作過程を見たのは初めてでした。もっと目立つ場所で紹介したらいいと思います。(女性/40 歳代)
- 今回は空間が多かったけど、うまく使えてるかと言われたらちょっと難しいかも。絵がおしゃれだから、具体的には分かりませんが、第2展示室はもうちょっとおしゃれだったらよかった。(女性/30 歳代)
- 作品の製作過程が分かれると別の意味でおもしろい。(男性/60 歳代)
- ほとんど知識がないので、もう少し解説文を添えてほしいと思いました。(男性/40 歳代)
- 眼が悪いせいか題目など近くに寄らないと分からない。(男性/60 歳代)
- 写真を撮れたり、もっと自由に観られるようにしてほしい。(男性/20 歳代)
- 作品ごとにノートや何かを置いて、絵を鑑賞する人が意見や感想を間接的に共有できるようになるとおもしろいのではないかな。(男性/13～19 歳)
- 作品の解説のキャプションがあることで作品への理解が深まります。対話型鑑賞のイベントに参加してみたいと思いました。(女性/20 歳代)
- 手で触れられる物もあるといいなと思う。(女性/30 歳代)
- テーマやコンセプトを追求した空間作りを徹底してほしい。(男性/30 歳代)

【施設・環境】 B 要望

- コインロッカーの 100 円が返却されることを明示してほしい。(男性/50 歳代)
- 老眼のため、説明書きや本など、字をもう少し大きくしてほしい。じっくり見て回ると時間がたつのが早いですね。(女性/50 歳代)
- 入口で携帯の電源を切ることの、わかりやすい啓蒙があると良い。(女性/50 歳代)
- 美術館屋根の緑青がうまくでるようにしてほしい。(男性/70 歳以上)
- グッズのクオリティーを上げてほしい。カフェ、レストランをもっとかっこよくしてほしい。(男性/50 歳代)
- 作品保管のためでも、冷房がもう少し暖かい方が良いかも。(女性/20 歳代)
- 1～5 まで駐車場があるとホームページにあるのに、上の 2 つに置けないのはどういうことなのか。利用者をだましているように思える。全ての人が健脚であの坂を登ってくることができないわけではないのだから、職員が下の駐車場に置くようにするべきではないだろうか。ご一考いただきたい。(女性/30 歳代)
- もう少し照明を明るくしてほしいです。(女性/40 歳代)
- 顔がほてるので、もう少し涼しくしておいて頂けるとありがたいです。(女性/30 歳代)
- 初めて来ましたが、とても充実した施設だと思いました。ひとつ、駐車場が一番遠くの第1に停めたため、入口までかなり歩きました。第3が近いことを明記して頂けるとありがたいです。(男性/40 歳代)
- 開館時刻をもう少し早くしてほしい。9:00 や 9:30 頃。(男性/30 歳代)
- 静岡駅および日本平動物園とバスで直結すべきです。現在では県東部から来るのが大変です。(男性/50 歳代)

- 県立大学や草薙駅前にロダンの彫刻を置いてほしい。(男性/20 歳代)
- 駐車場を増やしてほしい。(男性/40 歳代)
- 美術館のイメージがなんとなく暗い。プロムナードも花を植えるなど、もう少し明るい感じにしたら良いと思います。(女性/30 歳代)

【運営・スタッフ】 B 要望

- 地元の人以外にももっともっと大いに PR して、観光客にも多く来館するよう更に心がけてください。(女性/70 歳以上)
- 情報を多くして下さい。(男性/70 歳以上)
- 以前のように 70 才以上の高齢者が無料で入れたらいいなあと思います。(女性/40 歳代)
- 県外から来ると、静岡市の地図もあってほしい。(女性/70 歳以上)
- TV の CM で広告してほしいです。(女性/30 歳代)
- ポイントカードをいつも忘れ、いつも 1 個目のカードがたくさんある。例は思いつかないが、他でサービスを受けられるものがあれば良いと思う。(女性/40 歳代)
- 入場料がもっと安いといいですね。プラド美術館の方が安いし、午後 5 時以降は毎日無料でした。(女性/40 歳代)
- いつもお世話になります。県民ギャラリーで公募などの場合、我々一般からも賞を出したいものがあります。投票させて下さい。(男性/70 歳以上)
- ウェブサイトがもう少し見やすいととても嬉しいです。(女性/30 歳代)
- ロダン体操は若い人々にウケると思うのでネット展開してほしい。(男性/13～19 歳)
- インターネットをやらないし地方紙もとっていないので、地方紙のみでなく全国紙新聞にもたくさん情報を出してほしい。(女性/60 歳代)

【今回の展覧会】 C 苦情

- パンフレットにのっている人の作品も見られると思ったのですが、ちがったので残念でした。思ったより見るものが少なかった感じでした。(女性/40 歳代)
- 作品の前面ガラスにまわりがうつりこみ見にくかった。きれいな色なので残念。(女性/60 歳代)
- この展覧会のポスターのデザインはちょっとわかりにくいのではないかな。(男性/50 歳代)
- 「幻触」がどのような作品なのかチラシでは分かりにくかった。(女性/13～19 歳)
- ポスターがこの幻触のすごさを伝えるには弱いと思います。(女性/30 歳代)

【展示方法】 C 苦情

- ロダン館の作品が見づらい。(女性/20 歳代)
- 解説の字が小さいので見えない。(男性/70 歳以上)

【施設・環境】 C 苦情

- 少し暗い。明るい場所が少ない。休みたい。(男性/70 歳以上)
- 少し冷房がききすぎている感じ。(女性/70 歳以上)
- ミュージアムが館に不適切なほどスペースや品揃えが少ない。前庭の池の水がこのところ以前にはなかった程汚れすぎ気になっている。(男性/70 歳以上)
- マナーが悪い人がいた。携帯を使用していた。(男性/70 歳以上)

- 駐車場から坂を登るのが大変です。(男性/70 歳以上)
- ただそこに建物があるだけでワクワクしない。階段が多すぎて中に入る前に疲れて美術品を見てもどうでもよくなる。(女性/40 歳代)
- 客が少しうるさかった。(女性/13～19 歳)
- 冬、外が寒いので厚着してくると館内が暖かすぎて上着を脱いでも汗が出る。(女性/50 歳代)
- 今回は照度が非常に暗い。意味があるのか。理解できない。作品の良さが暗いため確認できなかった。残念である。(男性/50 歳代)
- 私の目が見えにくいのか、暗くて見づらかった。絵に素人の私にはよくわからないが、ぼやっと見えるのが良いのでしょうか。(男性/70 歳以上)
- 空調の音が気になる。(男性/60 歳代)
- 駐車場からの距離がやや長い。(男性/30 歳代)
- 駐車場が少ない。(女性/60 歳代)
- ロッカーの存在を教えてほしかった。(女性/70 歳以上)

【運営・スタッフ】 C 苦情

- ギャラリートークの案内だったので待っていたが、集合の時点でツアーになったので予定が立たなくなった。(男性/50 歳代)
- ツアーガイドさんには申し訳ありませんが、期待はずれでした。(女性/50 歳代)
- 貴館にとっての存在意義は何ですか。学生向けの発信があまり上手ではない。空回りしている。地域を巻き込めていない。フットワークが重い。(男性/20 歳代)

10 佐々木先生のレクチャー「評価アンケートの設問設定とデータ活用の方法」

レクチャー「評価アンケートの設問設定とデータ活用の方法」の要旨

2013 年 12 月 11 日に静岡県立美術館において、北海道大学大学院文学研究科の佐々木亨先生が「評価アンケートの設問設定とデータ活用の方法」というテーマでレクチャーを行った。以下にレクチャーの要旨を紹介する。

このレクチャーでは、評価アンケートを始めた当初、展覧会アンケートの各設問がそもそもどういう意図で設計されたかを、あらためて説明した。

(1) 設問 A(2) : 2 人以上で来館している人が、誰と来ているか。

展覧会観覧者の 82% がリピーターであり、さらにその 77% (全体の 63%) が 1 年以内のリピーターである。その内訳をみると、47% が 50 歳代以上であることが分かった (平成 14 年度)。展覧会観覧者の中心的なリピーターは高齢な方が多いため、その観覧行動・習慣が次世代に適切に継承されているかどうかは、今後のリピーター維持に重要な要素と考え、この設問を設定した。

したがって、2 人以上で来館している人が、同伴している人の属性% をみるだけでは不十分であり、実態を捉えたのちは、観覧行動・習慣の継承に関する新たな設問が必要である。＜配布資料 p.1 参照 (本報告書 p.65 参照)＞

(2) 設問 A(3) : 展覧会に来た「きっかけ」、「理由」は何か。

広報媒体を探る設問として、現在は主に使われているが、例えば、以下の 2 つの視点を持てば、さらに有益な情報や仮説を得ることができる。

1 つは、展覧会の開幕直後、中間、閉幕直前の 3 つの時期で、展覧会に来た「きっかけ」、「理由」をみることにより、その変化を知ることができる。そうすることにより、会期前半で有効な広報媒体は何で、会期後半では何に取って代わるのかが明確になる (府中市美術館の調査事例を紹介)。＜配布資料 p.2~4 参照 (本報告書 p.66~68 参照)＞

もう 1 つは、消費行動プロセスモデルで読み解く方法である。従来は、「A I D M A 理論」が主流だったが、最近では「A I S A S 理論」が主流になってきている。美術館のケースで考えると従来は、美術館の広報や広告によって、地域住民は美術館の展覧会に注意 (A = attention) や興味 (I = interest) を抱き、美術館に行ってみたい、作品を鑑賞してみたい、または美術館で豊かな時間を過ごしたいという欲求 (D = desire) を持つようになる。そして、その記憶 (M = memory) が持続している間に、さらに注意や興味をひき、欲求を刺激して、記憶が確信に変わり、最終的に美術館に足を運ぶ行動 (A = action) をとると説明されてきた。

ところが、最近では、注意 (A = attention) や興味 (I = interest) を抱いたのち、インターネットなどでその展覧会に関する公式な情報やすでに観覧した人が語る評判を検索 (S = search) し、情報を自ら収集し、美術館に足を運ぶ行動 (A = action) をとる。そして、展覧会観覧後の行動として、その展覧会の評価をインターネット上に流通され、共有 (S = share) するとうモデルが支持されている。いままで「共有」部分は、フェイス・トゥ・フェイスでのクチコミで伝えられたが、最近ではツイッター、フェイスブックなどのソーシャル・メディアを

活用して、意見や見解、評判などが共有されるようになった。

この理論に基づき、当館の状況とその変化を定量的に把握し、今後の広報戦略に役立てる方法が2つめである。

(3) 設問 B(1)～(7)：総合的な満足度とそれを構成する要素

当初は、総合的な満足度とそれを構成する要素との関係を、カテゴリカル回帰分析を用いて分析していた。例えば、現在の設問 B(1)～(7)を使うと、

$$\begin{aligned} (7: \text{総合満足度}) = & a(1: \text{興味・関心}) \\ & + b(2: \text{心地よさ}) \\ & + c(3: \text{スタッフ対応}) \\ & + d(4: \text{来館を勧める}) \\ & + e(5: \text{情報入手}) \\ & + f(6: \text{交通機関}) \end{aligned}$$

のような式で総合的な満足度を表すことになる (a, b, c, d, e, f は係数)。

このような式 (モデル) を手に入れることにより、展覧会の種類 (日本美術、西洋絵画、文明ものなど) や開催時期によって、総合的な満足度に最も影響を及ぼす要素がある程度予想できるので、展覧会の不満を減少させる方策が検討しやすくなる。

ただし、現行の(1)～(6)の要素が、本当に総合的な満足度を構成する要素として相応しいかどうか、精査する必要がある。特に、(4)「展覧会のことを誰かに伝え、来館を勧めるか」という問いは、そもそも総合的な満足度に類似した設問であり、しかも展示を観た際の満足度を構成する要素となっていない。このようなモデル化を進めるのであれば、設問の再検討が必要である。

<配布資料 p.5 参照 (本報告書 p.69 参照)>

(4) 設問 B(9)：生活における美術館の存在・位置付けに関する回答の処理方法

かつては、3年分のデータを集め (約 3,000 件)、テキストマイニングを行ったのちに、クラスター分析やコレスポンデンス分析を行った。

テキストマイニングやその後の多変量解析 (クラスター分析やコレスポンデンス分析など) は難しい手法であるため、簡単には実行できないが、これまでの報告書では、この設問の集計結果すら掲載されていなかった。1,000 サンプル以下であれば、手作業でその傾向を把握することは可能である。そうすることで、来館者および県民と美術館とが現在どのような距離にあり、関係性にあるのかが分かり、展覧会や教育普及プログラムの企画検討時の参考になるはずである。<配布資料 p.6～8 参照 (本報告書 p.70～72 参照)>

(5) 全体を通しての所見

静岡県立美術館の評価活動は、公立ミュージアム界において常に注目されて、着実な成果も収めている。しかし、評価活動を開始してから10年が経過し、この活動自体が形骸化し、数字の形式的な整理に終始しているように思われる。

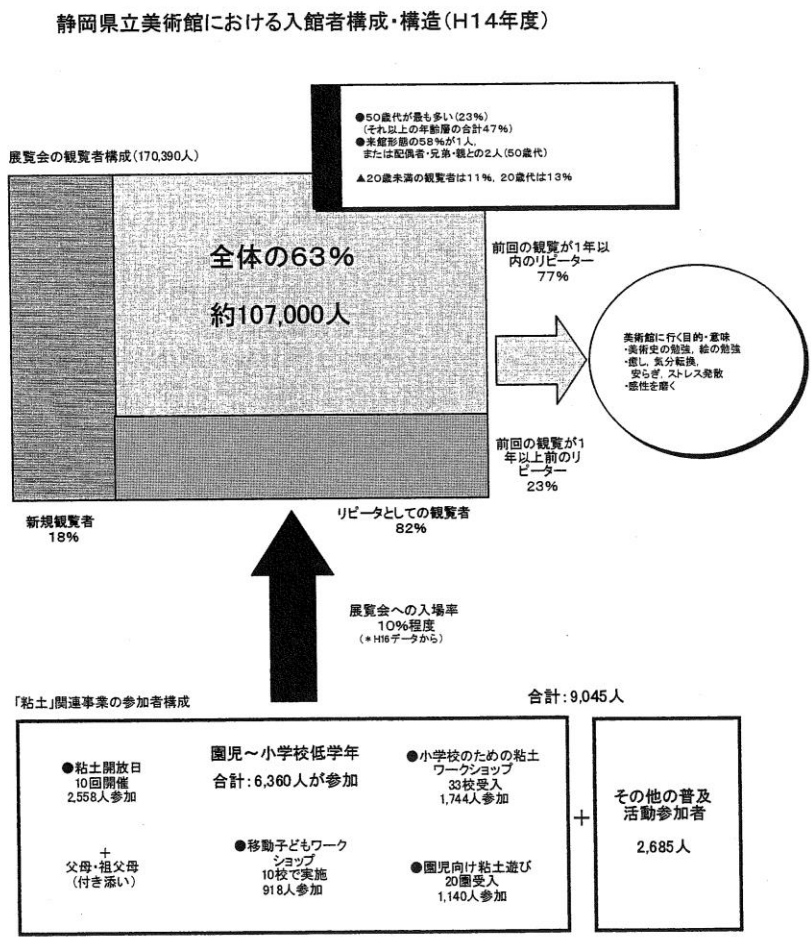
評価の役割は、大きく分けると「説明責任」と「学びと改善」である。前者は十分に達成できているが、後者はどうか疑問である。何のために必要なデータなのかが十分に理解できていなければ、適切なデータの解釈が伴わず、自ずと改善のためのヒントや知見を得ることもできなくなる。

次年度は、評価業務を委託する前に、美術館内で評価の目的をあらためて確認し、その目的に沿ってアンケート設問の見直し、再検討をすることから始めるのがよいと考える。そこができない限り、次年度も数字の形式的な整理に終始してしまう可能性が高いのではないかと考える。

「評価アンケートの設問設定とデータ活用の方法」(佐々木亨)

参照データ集

1. 展覧会アンケート設問A (1)、A (2) と教育プログラム参加者アンケート
(H14, 16 年度のデータ)



2. 展覧会アンケート設問A（3）

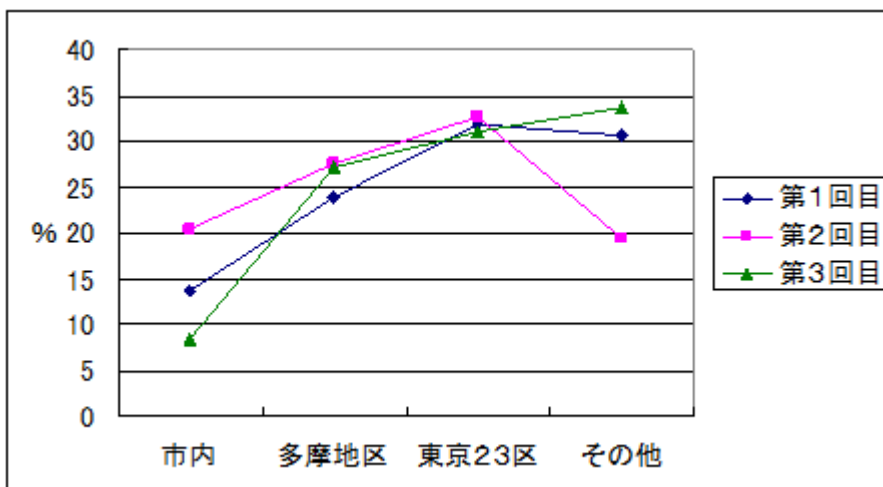
＜府中市美術館でのデータ活用方法＞

府中市美術館における地域別の広報・事業戦略例

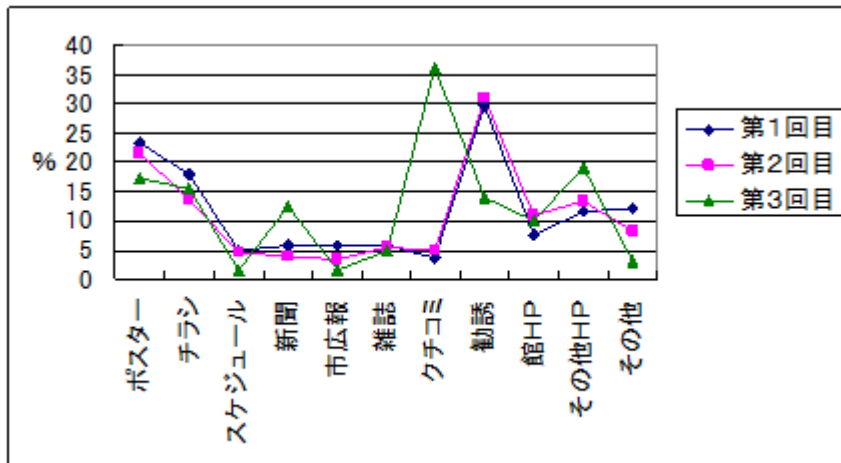
- ・ 来館者を「市内」と「多摩地区」「東京23区」に区分して、対応を検討している。
→理由：数年前からの調査により、以下のことが判明していたため。
 - ・ 建設当時の反対運動もあり、「市内」在住者の多くは美術館にあまり関心がない（冷たい）。「市内」からの来館者の多くはリピーターであるが、「クチコミ+勧誘」率が低い。
 - ・ 一方、「多摩地区」や「東京23区」からの来館者は、新規来館者の割合が高いにもかかわらず、この美術館の良さ・長所を認識している方が多い。また、「クチコミ+勧誘」率が高い。
- ・ 2009年5月23日（土曜日）から7月20日（月曜日・祝日）まで開催した展覧会「純粋なる形象 デイター・ラムスの時代ー機能主義デザイン再考」において、3回のアンケート調査を実施した。
さらに詳細に、3地域からの来館者の現状を分析した。

第1回目アンケート	オープン直後の6日間	179件
第2回目アンケート	その翌週の6日間	215件
第3回目アンケート	会期最終の6日間	456件

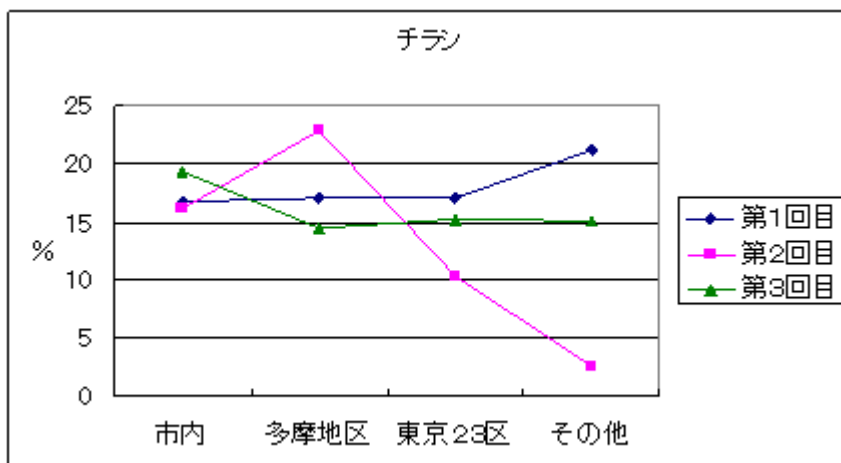
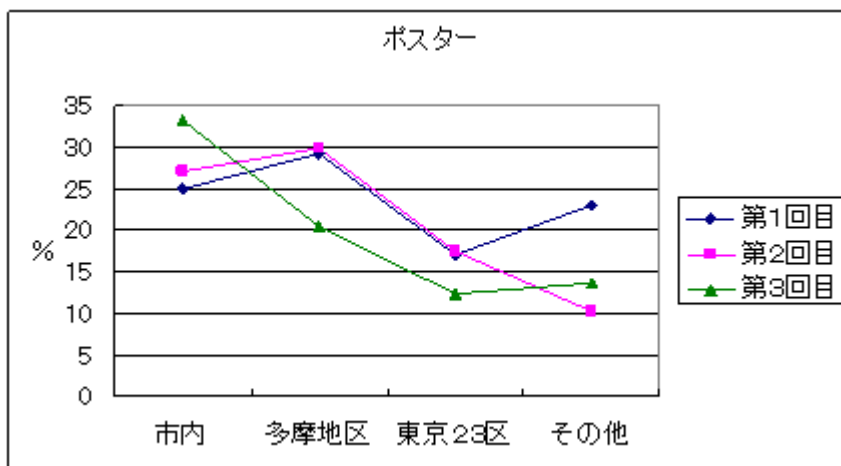
（1）居住地域別の観覧者割合

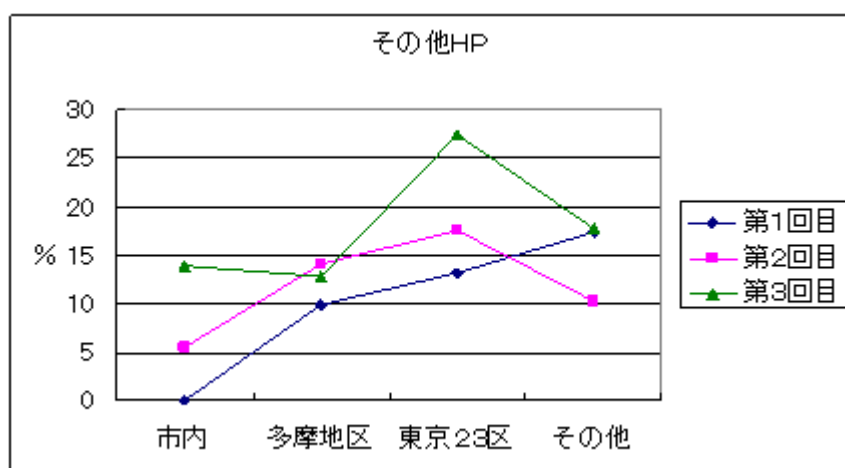
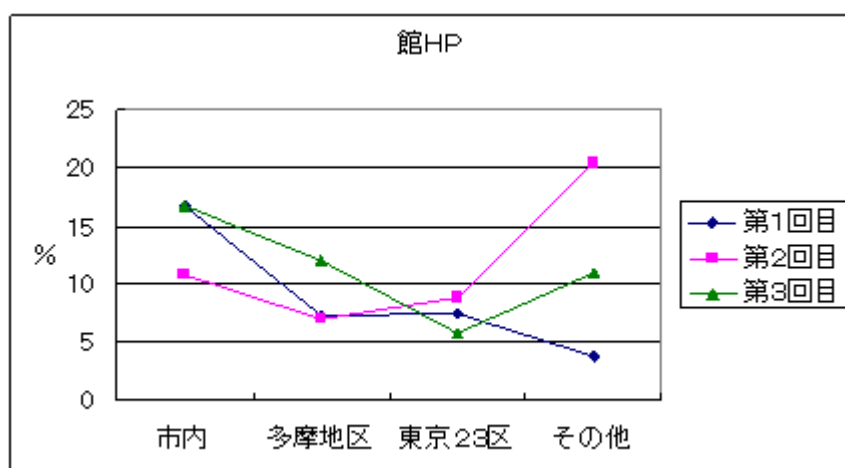
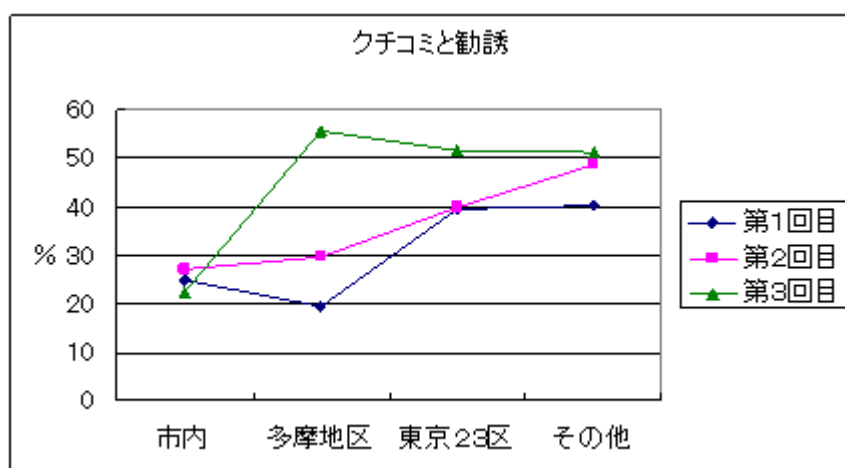


(2) 来館のきっかけとなった広報媒体



媒体ごとに見ると





3. 展覧会アンケート設問B（1）、（2）、（3）、（4）、（5）、（6）、（7）

「評価業務報告書」では、各展覧会の（1）～（6）と総合満足度（7）との相関係数を算出。

<疑問点>

- ・ 総合満足度をどう定義するか？

観覧時の満足度を知りたいのか。

設問B（4）はなにを聞くための問いか。

総合満足度を構成する要素は、ほかにはないのか。

NPS（推奨者の正味比率 Net Promoters Score）を使ってみてはどうか。

- ・ 相関係数を算出して、その後、どう活用するのか。
- ・ カテゴリカル回帰分析を適用できないか。

例えば、

(7：総合満足度) = a(1：興味・関心)

+ b(2：心地よさ)

+ c(3：スタッフ対応)

+ d(4：来館を勧める)

+ e(5：情報入手)

+ f(6：交通機関)

のような式で総合満足度を表す（a, b, c, d, e, f は係数）

(H14, 15, 17 年度のデータ)

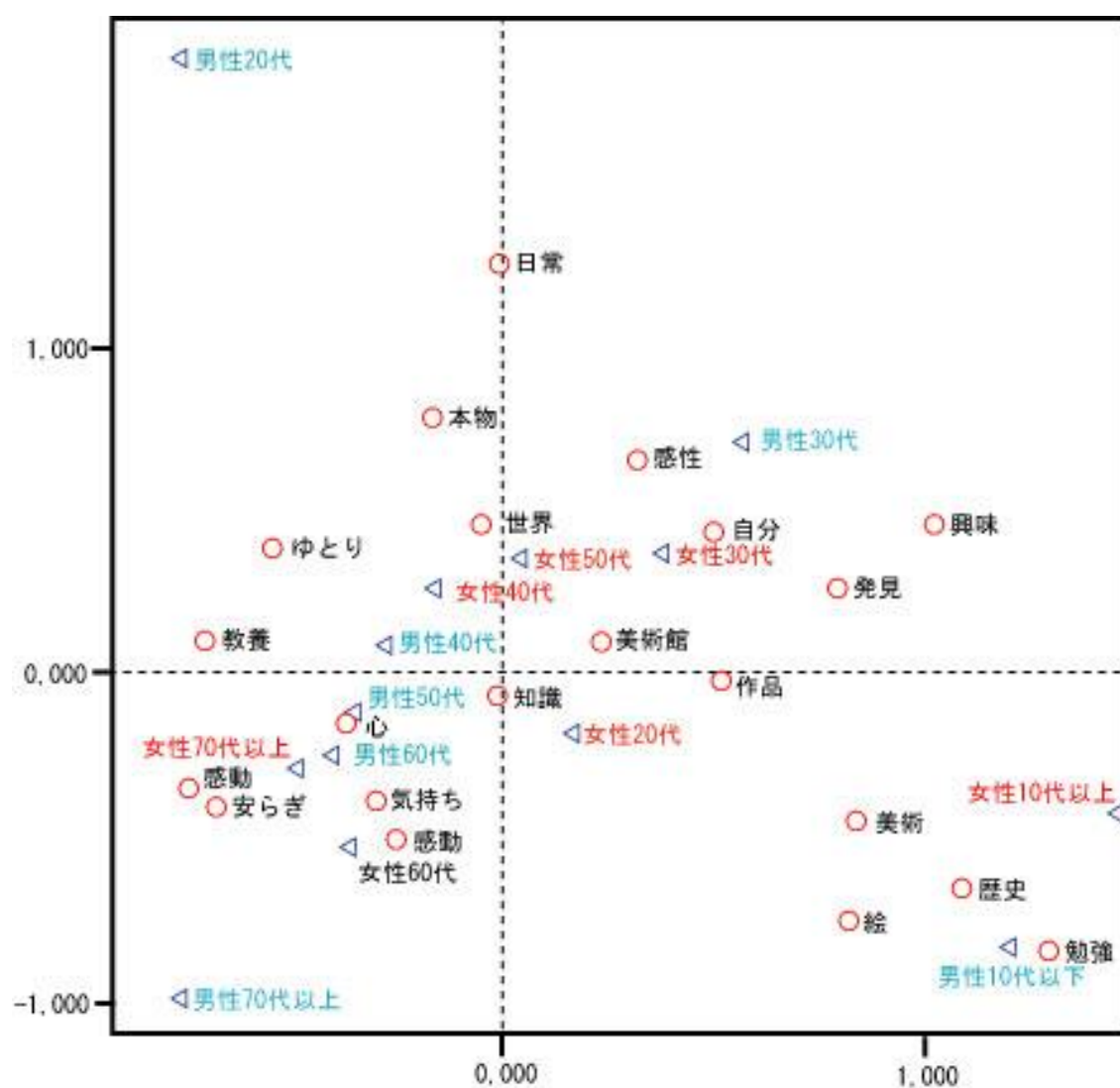
テキストマイニング



クラスター分析

クラスター	比率 (%)	性別(比) (男:女=)	主要語	係り先主要語	このクラスターの主たる傾向
82	25.7	3:7	心	安らぎ 栄養 洗濯 癒し	美術館を、心の安らぎや癒し、リフレッシュなど精神的充足の場としている。
80	10.6	2:8	自分	知る 間 心 感性	美術館を、内省の場として捉えたり、自らの感性を磨く場として位置づけている。
40	4.5	3:7	知識	得る 深める 広める 高める	美術館を、知識を獲得する場と位置づけている。
85	4.3	3:7	気持ち	落ち着く なる なれる リフレッシュ	クラスター82と同様に、美術館を、精神的充足の場としている。
00	3.8	2:8	絵	観る 描く 勉強 好き	美術館におけるアンケート調査であるので、絵を鑑賞する場と位置づけている来館者も多いが、絵の勉強や描き方を学ぼうとする来館者もみられる。他のクラスターに比べ、10代が突出している。
08	3.8	3:7	興味	ある 持つ ない 満たす	美術館を、興味のある場、自らの興味を掻き立てる場として捉えている来館者が最も多い。その他、興味のある企画展の時にのみ来館する場との意見もみられる。初来館や3-5回の来館者が多い。
20	3.7	3:7	生活	一部 中 潤い 離れる	来館者の4割が来館回数20回以上であり、来館者の生活において美術館が、生活の一部として機能していると考えられる。
44	3.6	3:7	文化 ゆとり	文化-触れる 文化-知る ゆとり-持てる ゆ とり-時間	美術館を、文化との接触の場、生活におけるゆとりの時間を過ごす場として捉えている。
04	3.5	6:4	教養	高める 深める つける 向上	全クラスター中、性別構成が唯一、男性が女性を上回っている。教養を高める場として、中高年男性からのニーズがあると考えられる。
24	3.5	4:6	安らぎ 気 分転換	安らぎ-場 安らぎ-得る 安らぎ-求める 気 分転換-ため 気分転換-なる	心の平安、リフレッシュを志向するクラスターと考えられる。
60	3.2	3:7	発見	する ある 求める 感動	新たな発見をする場として美術館を位置づけている。
28	3.1	3:7	勉強	なるため 場 する	美術館を勉強の場として位置づけている。年齢構成は、10代が突出して4割近くにのぼる。
63	3.0	3:7	美術館	行く 来る ある 思う	来館者の生活における美術館の位置づけを問う設問に対する回答のため、「美術館」という単語が多く用いられるのは、当然の結果であると考えられる。
22	2.8	3:7	日常	離れる 忘れる 疲れ はなれる	日常からの乖離を志向したクラスターであり、年齢構成をみると、50代、30代、40代のいわゆる現役世代が全体の7割強を占めている。
48	2.7	2:8	歴史	知る 勉強 感じる 場所	クラスター28と同様に、学習志向のクラスターであり、年齢構成も同じく10代が最上位で3割を占めている。1回から5回の来館者が半数以上。
06	2.7	3:7	作品	観る 触れる ある 楽しむ	作品とのふれあいの場と捉えている。クラスター87における回答者と同じ考えなのではと考えられる。
68	2.6	3:7	感性	磨く 高める 豊かにする 深める	美術館に来館することで、なんらかの感覚を惹起し、感性の向上・研磨の場として捉えている。50代、40代、30代の現役世代が多い。
66	2.5	3:7	世界	知る 広げる 浸る 観る	美術館に来館することで、自らの世界観を広めようとする回答者と世界各国の作品に触れる場として美術館を位置づけている回答者が見出せる。
02	2.3	3:7	感動	得る ある 求める 味わう	感動するための場所として、美術館を位置づけていると考えられる。
87	2.2	3:7	本物	観る 触れる 出会う 美術作品	実物の作品に接触することを望むクラスターと考えられる。現役世代多い。
42	2.2	3:7	癒し	場 求める 空間 場所	クラスター82と同様に、美術館を、精神的充足の場としている。
46	2.1	2:8	目	保養 養う 肥やす 観る	主に作品に対する鑑識眼を養う場ととらえている回答者が多い。
26	1.9	4:6	美術	勉強 こと 観る 関心	年齢構成が、50代に次いで10代が3割を占めている。

コレスポンドンス分析



静岡県立美術館評価業務 報告書

平成 26 年 3 月

発 行 静岡県立美術館

〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2

TEL 054-263-5755

委託先 株式会社浜名湖国際頭脳センター

〒431-1207 浜松市西区村楠町 4598 番地の 9

TEL 053-484-4002
